

平成 21 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

介護老人保健施設の機能を示す情報とこれに関連した
要因に関する調査研究事業
報告書

平成 22 年 3 月

社団法人全国老人保健施設協会

はじめに

平成12年4月1日にスタートした介護保険制度は、この4月でちょうど10年の節目を迎えることになる。過去10年間に対する評価や将来の持続可能性等については、各人の立場で見解が異なるだろうが、要介護状態となっても尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス等に係る給付を行う、との理念に異を唱える人は無いだろう。

一方、老人保健施設は介護保険制度スタートの10余年前、昭和60年8月に表された「中間施設に関する懇談会中間報告」にルーツを遡ることができる。介護保険制度の理念と同様、要介護高齢者の尊厳性、主体性、自立性を基本的な考え方として掲げたこの報告書で、多様化するニーズに的確に対応できる新しい施設類型、医療と福祉の「中間施設」、病院と在宅の「中間施設」として、老人保健施設が提唱されたのである。

以来20年にわたり、老人保健施設は日本の社会保障制度の「実験場」として、また、地域の多様なニーズに対応し良質なリハビリテーションを提供する施設として、障害を持つ高齢者の在宅復帰や在宅生活支援を担ってきた。介護保険制度導入により介護老人保健施設となって以降も、利用者の尊厳と有する能力に応じた自立という不変の目標に向かって、試行錯誤を繰り返しながら地道に努力を重ねてきた。昨今では、認知症高齢者の増加、要介護高齢者の医療依存度の増大、看取りの問題など、利用者のニーズや環境はいつそう多様化しつつある。また、高齢者を支える介護人材確保の問題、社会保障財源の確保など、介護老人保健施設を取り巻く状況は決して楽観視できるものではない。

しかし、そのような状況であればこそ介護保険の理念に立ち返り、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活続けることができるよう、現状把握に取組み、時代の要請に答えながら建設的な提言を行なうための研究に尽力することが重要である。

全老健では平成21年度老人保健推進費等国庫補助事業において次の6つの研究事業に取り組んだ。ここに、各研究事業の報告書(6冊分)をとりまとめたので報告する。

- 1 老健利用者の個別特性と時系列的状態像の指標(機能評価とコーディング)の検証に関する調査研究事業
- 2 効果的な「包括的自立支援プログラム」の運用と効率的なアセスメント方式の設定に関する調査研究事業
- 3 認知症高齢者における維持期のリハビリテーションの効果的かつ適切な提供方法に関する研究事業
- 4 介護老人保健施設の機能を示す情報とこれに関連した要因に関する調査研究事業
- 5 外国人スタッフ雇用に関する課題点の調査研究事業
- 6 介護老人保健施設入所利用者の基礎疾患や合併症等に対する医療の調査研究事業

これらの研究成果が、介護老人保健施設の関係者のみならず、高齢者の生活を支える全ての方々の取り組みの参考となり、高齢者の尊厳の保持と質の高いサービスの提供につながることを願うものである。

平成22年3月

社団法人全国老人保健施設協会 会長 川合 秀治

目 次

第1章 本事業の目的と概要	1
1. 実施事業の趣旨・目的	3
2. 事業の概要	3
(1) 事業の内容	
(2) スケジュール	
(3) 委員一覧	
第2章 アンケート調査結果	5
1. 調査概要	7
(1) 調査目的	
(2) 調査対象	
(3) 調査方法	
(4) 回収状況	
(5) 調査実施時期	
2. 集計結果	8
(1) 回答施設属性	
(2) 施設の概要および稼働状況	
(3) 在宅復帰の動向	
(4) 施設における介護報酬算定状況	
(5) 利用者の受け入れについて	
(6) 施設の医師について	
(7) 施設の医師以外のスタッフについて	
(8) リスクマネジメントについて	
(9) 施設運営上の方針や認識について	
(10) 介護老人保健施設の理念について	
(11) 看取りについて	
3. 相関結果	52
(1) 在宅支援関連項目	
(2) 多職種性（マンパワー）関連項目	
(3) ターミナルケア関連項目	
(4) 訪問関連項目	
(5) その他項目	
4. まとめ	61
第3章 資料編	65
1. 調査票	67
2. 相関係数一覧表	83

第1章 本事業の目的と概要

第1章 本事業の目的と概要

1. 実施事業の趣旨・目的

介護老人保健施設（以下老健施設）は、利用者の多様性に対応するための多機能をもっていることが特長である。各老健施設が「自施設は“良い”、“質の高いケアを提供している”」あるいは逆に「まだ不十分」、「改善の余地がある」等の認識を持っていても、その評価が的確であるとは言い難い。さらに、利用者は様々（利用目的、生活機能、病態等）であり、施設としては不十分であっても、個別ニーズには応えることができた場合にはじめて、利用者にとって十分な機能を有しているといえる。

本調査研究は、「地域ケアにおける老人保健施設の成果（アウトカム：在宅復帰や利用者の改善の数と率）は、施設の在り方（運営理念と現状認識、各種サービス提供力・医療対応力、人・物・金・情報の調整力と量等）と利用者の状態（利用目的、健康状態・生活機能等）が噛み合った場合に発揮される」を仮説とする。その上で今年度は、施設のアウトカム、施設の在り方、そして利用者状態の分布等を多変量モデルで分析し、地域ケアにおける老健施設の機能を総合的に評価するのにふさわしい情報を選定することを目的として実施した。

2. 事業の概要

（1）事業の内容

① 調査研究班の設置及び開催

事業実施に先立ち、専門家・学識経験者・現場担当者・有識者によって構成される調査検討委員会を設置し、必要に応じ開催する。

② 評価基準となると考えられる要因項目の抽出

研究班においてデルファイ法等により、老健施設の多機能を示すにふさわしい基本属性や質問項目、施設の成果等を示すと考えられる情報を選定。

③ アンケート調査の実施

選定された機能と施設の整備状況および利用者状態との関連について、全国老人保健施設協会会員施設を対象に調査を実施。

④ 報告書の作成

(2) スケジュール

平成 21 年 9 月 委員会立上げ、第 1 回委員会開催

平成 22 年 1 月 第 2 回委員会開催

3 月 第 3 回委員会開催

報告書作成

(3) 研究事業班員一覧（敬称略、50 音順、◎は班長）

研究事業班

- | | | |
|---------|-------------------------|-------|
| ◎ 佐藤 龍司 | 介護老人保健施設しょうわ | 理事長 |
| 浦 慶子 | 介護老人保健施設サンガーデン府中 | 主任 |
| 大河内 二郎 | 介護老人保健施設竜間之郷 | 施設長 |
| 折茂 賢一郎 | 西吾妻福祉病院 | 管理者 |
| 瀬間 良礎 | 介護老人保健施設アルボース | 相談室主任 |
| 田宮 菜奈子 | 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 | 教授 |
| 中村 泰之 | ケアセンターいぶき介護老人保健施設 | 管理者 |
| 東 憲太郎 | 介護老人保健施設いこいの森 | 理事長 |
| 平川 博之 | 介護老人保健施設ハートランド・ぐらんぱぐらんま | 理事長 |
| 村木 寛茂 | 介護老人保健施設こもれびの里・高浜 | 施設長 |

第2章 アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、介護老人保健施設のアウトカム（アウトカム：在宅復帰率等）や介護老人保健施設の在り方（運営理念と現状認識、各種サービス提供力等）等を調査し、地域ケアにおける介護老人保健施設の機能を総合的に評価するのにふさわしい情報を選定することを目的として実施した。

(2) 調査対象

平成21年10月末日現在の社団法人全国老人保健施設協会正会員施設。
回答記入者は事務長又は師長等。

(3) 調査方法

対象施設に対して全国老人保健施設協会から直接依頼し、郵送にて回収した。

(4) 回収状況

回収数：1,148件（回収率34.2%）
有効回答：1,110件

(5) 調査実施時期

平成21年12月2日から平成22年1月8日まで

2. 集計結果

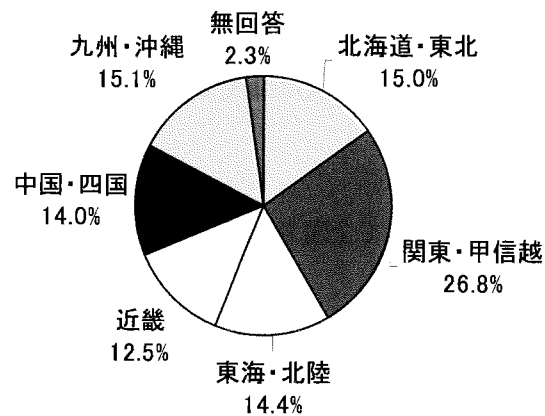
(1) 回答施設属性

① 施設の背景

以下、回答施設の基本属性を記載した。

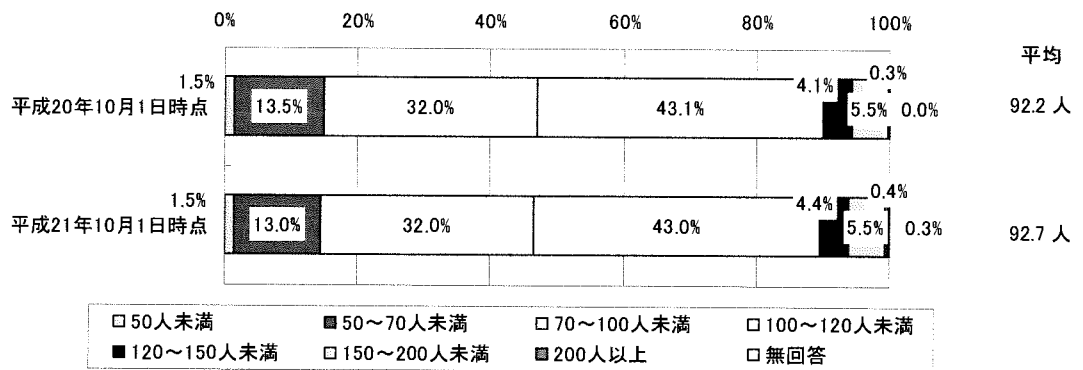
1) 施設の所在地

施設所在地 (n=1110)

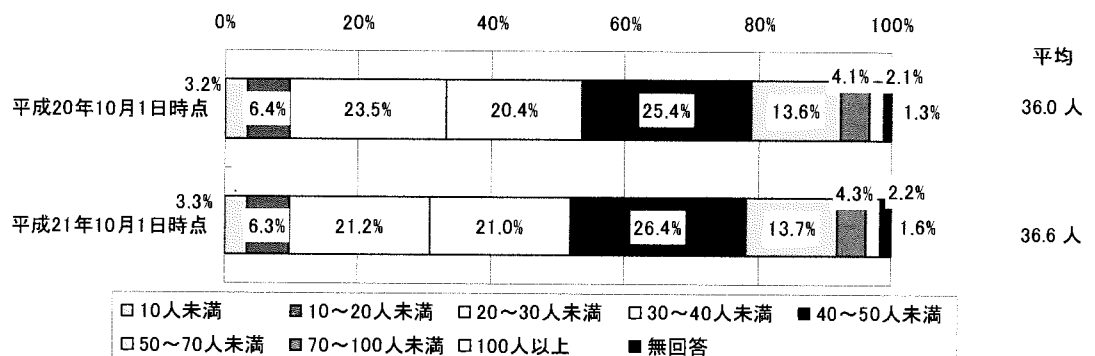


2) 施設の入所・通所定員

施設の入所定員 (n=1110)

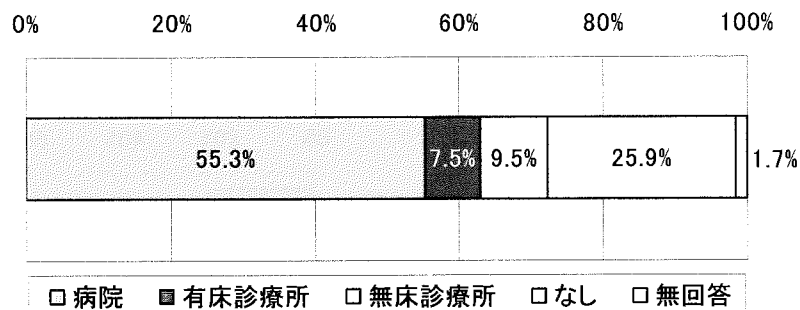


施設の通所定員 (n=1110)

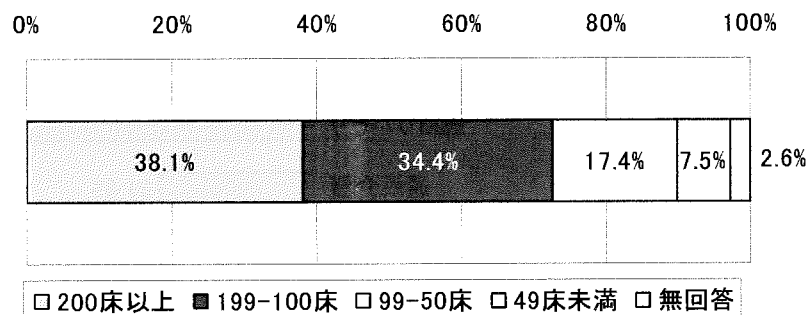


3) 併設・母体医療機関

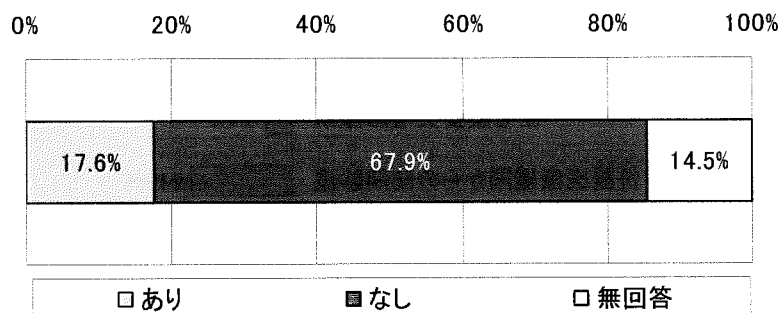
Q1-2 併設・母体医療機関 (n=1110)



Q1-3 併設・母体が病院時の総病床数 (n=614)

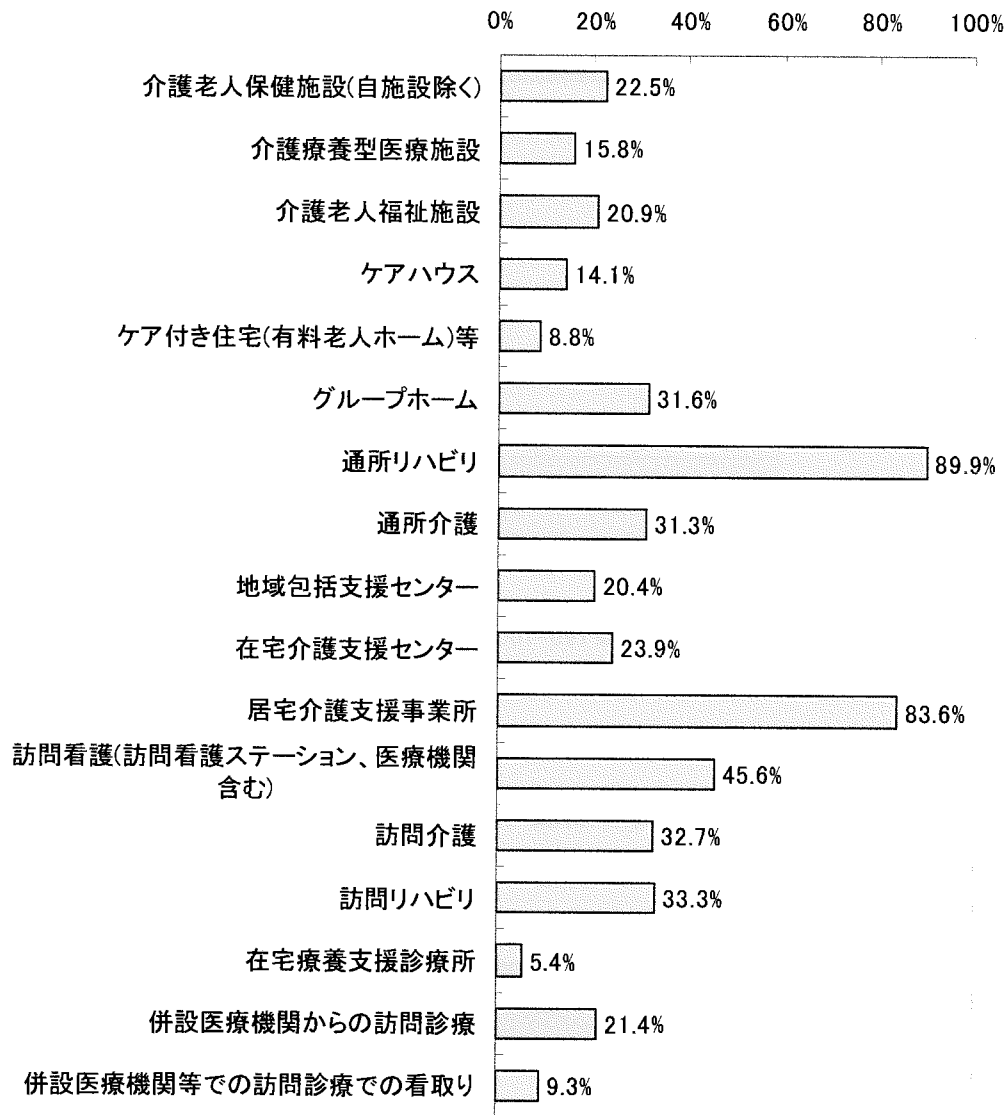


Q1-4 併設・母体の精神科の有無 (n=1110)



② 併設や関連のサービスの有無

Q2-1 介護老人保健施設(自施設除く) (複数回答) (n=1100)



③施設のスタッフ

回答施設のスタッフ数は以下のとおりである。

リハビリテーションスタッフ数については、次ページに平成20年10月1日時点の数字も併記しているが、平成21年10月1日現在のリハビリテーションスタッフ数をみると、平成20年10月1日時点と比較して若干増加していることがわかる。

1) スタッフ数

平成21年10月1日現在のスタッフ数（通所・訪問対応スタッフを含む）

	職種	常勤換算	
		n	平均
1	医師	1082	1.3
2	歯科医師	653	0.0
3	歯科衛生士	686	0.1
8	看護職	1058	12.0
	うち 准看護師	1023	6.8
9	介護職	1029	38.9
	うち 介護福祉士	1028	22.0
	うち ホームヘルパー2級	904	12.0
10	支援相談	1057	2.2
	うち 社会福祉士	621	1.1
11	栄養士	1047	1.6
	うち 管理栄養士	999	1.3
12	介護支援専門員取得者数	1029	4.7
	うち 専任	616	1.5
	うち 兼務	515	2.0

※医師、看護職、介護職、支援相談、栄養士、介護支援専門員取得者数については、平均値算出の際に

「0」の回答を母数から除いて集計した

※リハスタッフ数については次ページに記載

平成 20 年 10 月 1 日時点と平成 21 年 10 月 1 日現在のリハスタッフ数

(通所・訪問対応スタッフを含む)

■常勤換算

	職 種	H20/10/1時点		H21/10/1現在	
		n	平均	n	平均
4	理学療法士（入所・通所・訪問）	1077	2.2	1063	2.4
	うち通所リハビリ配置スタッフ	1036	0.9	994	1.0
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	873	0.2	644	0.2
5	作業療法士（入所・通所・訪問）	1063	1.8	1037	2.0
	うち通所リハビリ配置スタッフ	1004	0.6	941	0.8
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	860	0.1	614	0.2
6	言語聴覚士（入所・通所・訪問）	972	0.3	842	0.4
	うち通所リハビリ配置スタッフ	879	0.1	715	0.2
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	825	0.0	571	0.0
7	その他リハ関連スタッフ（入所・通所・訪問）	955	1.1	759	1.0
	うち通所リハビリ対応スタッフ	875	0.7	658	0.8
	うち訪問リハビリ対応スタッフ	816	0.0	541	0.0

■入所のみスタッフ数

職 種	H20/10/1時点		H21/10/1現在	
	n	平均	n	平均
理学療法士	872	1.2	643	1.3
作業療法士	857	1.1	612	1.2
言語聴覚士	825	0.2	570	0.2
合計		2.5		2.7

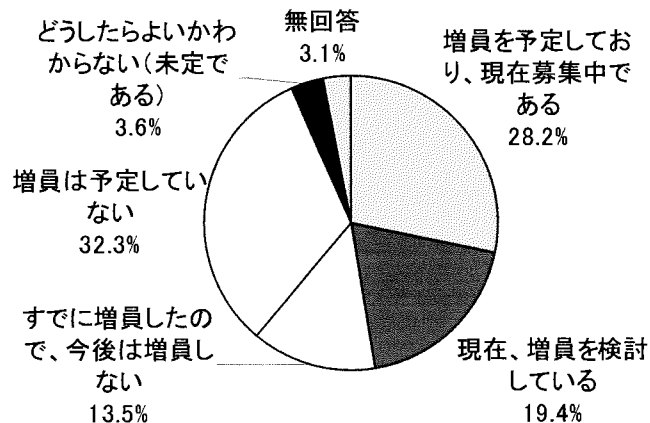
■実人数

	職種	H20/10/1時点		H21/10/1現在	
		n	平均	n	平均
4	理学療法士（入所・通所・訪問）	1099	2.7	1081	3.0
	うち通所リハビリ配置スタッフ	1045	1.8	986	2.1
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	958	0.2	736	0.4
5	作業療法士（入所・通所・訪問）	1099	2.1	1073	2.2
	うち通所リハビリ配置スタッフ	1026	1.3	935	1.5
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	943	0.2	703	0.3
6	言語聴覚士（入所・通所・訪問）	1071	0.4	952	0.5
	うち通所リハビリ配置スタッフ	937	0.3	769	0.4
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	906	0.0	665	0.0
7	その他リハ関連スタッフ（入所・通所・訪問）	1053	1.1	863	1.1
	うち通所リハビリ対応スタッフ	930	0.9	719	0.9
	うち訪問リハビリ対応スタッフ	890	0.0	621	0.0

2) 平成 22 年以降のリハスタッフ（PT・OT・ST）増員の予定

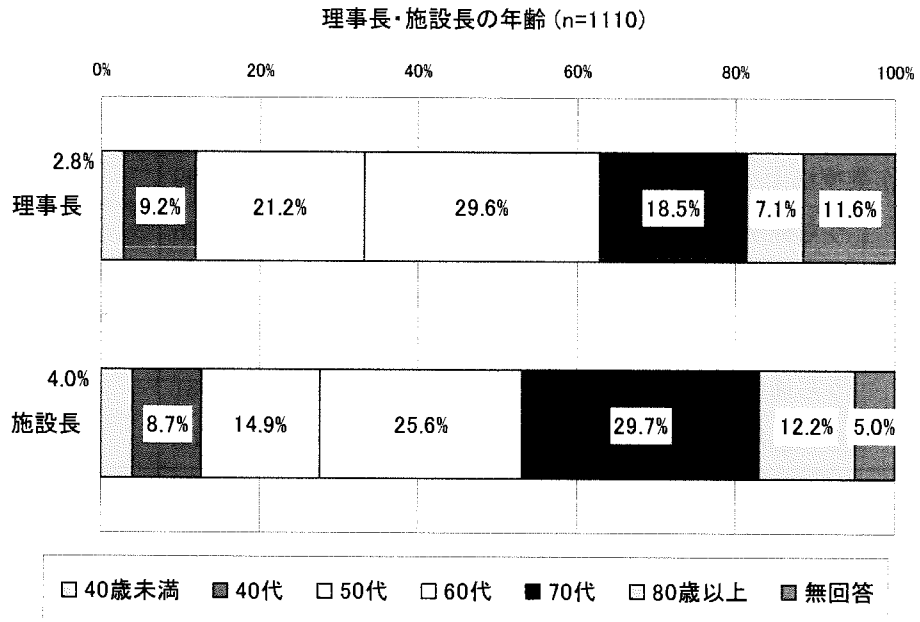
平成 22 年度以降のリハスタッフの増員予定をみると、「増員を予定しており、現在募集中である」が 28.2%、「現在、増員を検討している」（19.4%）と合わせると 47.6%と、ほぼ半数近くの施設がリハスタッフ増員を予定している。

Q3-2-2 リハスタッフの増員予定 (n=1110)



3) 施設の理事長・施設長の年齢

平均年齢 理事長：62.8歳 施設長：65.5歳



(2) 施設の概要および稼働状況

平成20年10月1日時点および21年10月1日時点における利用者の実人数を要介護度別に以下に記載した。

①利用者数

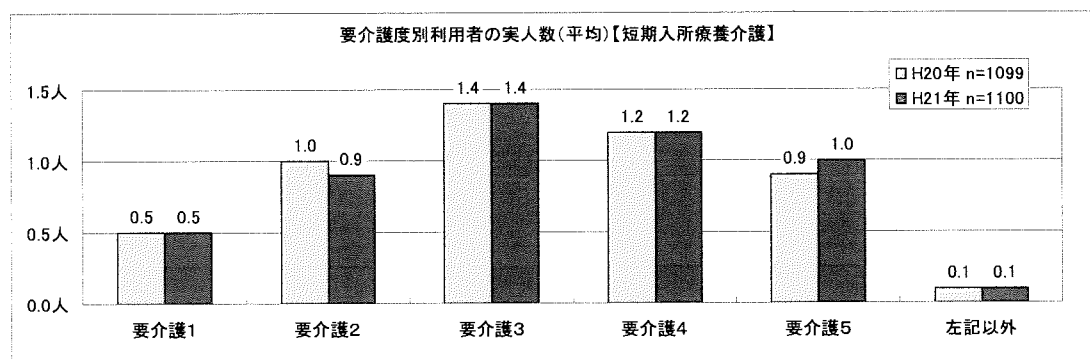
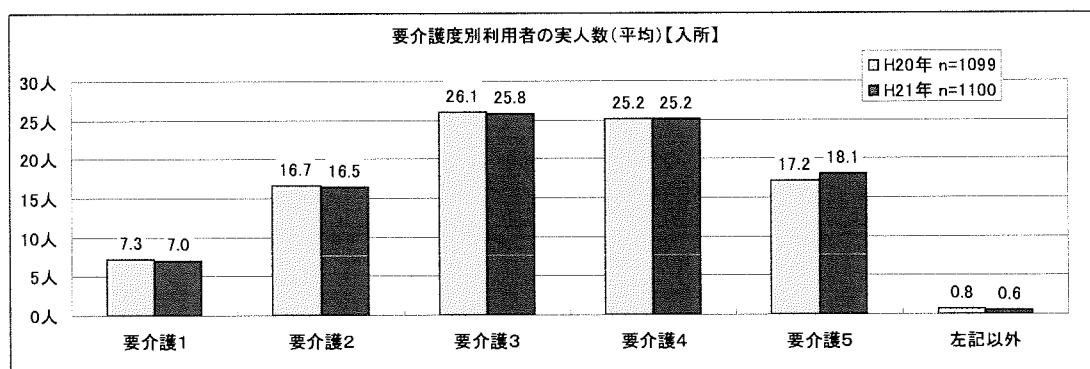
平成20年10月1日時点の利用者の実人数（介護予防の利用者を除く 平均人数）

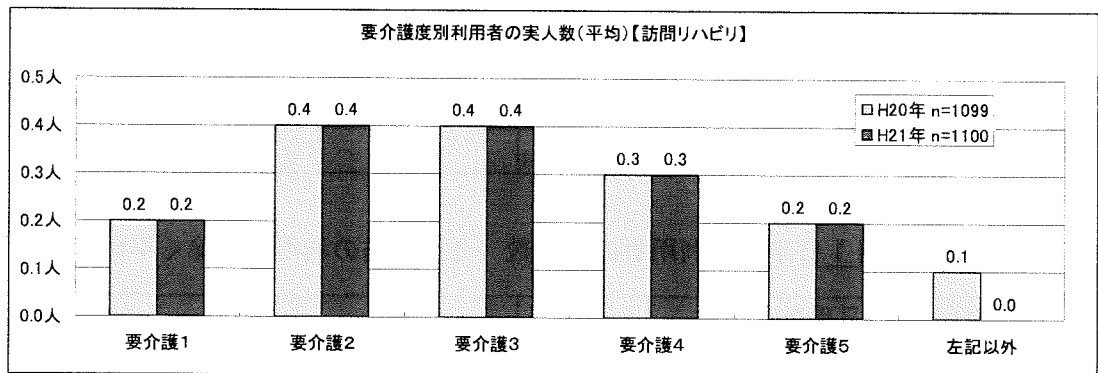
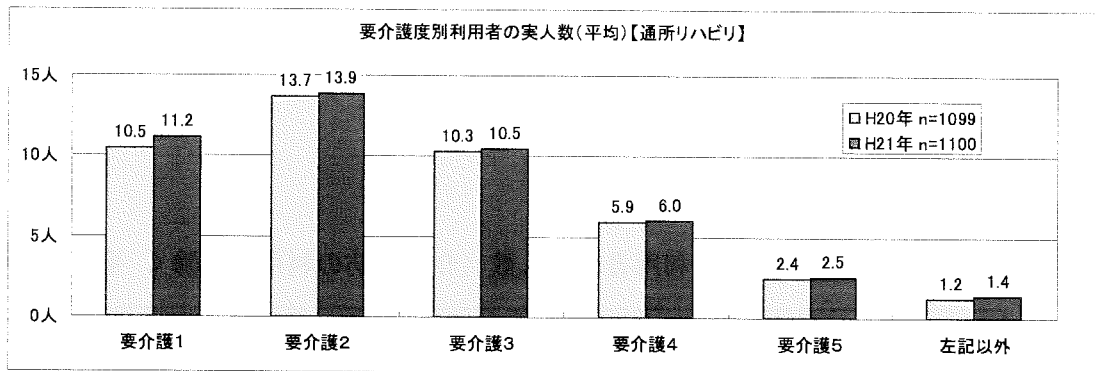
H20年10月1日時点 n=1099	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	平均要介護度
入所	7.3	16.7	26.1	25.2	17.2	0.8	3.3
短期入所療養介護	0.5	1.0	1.4	1.2	0.9	0.1	3.2
通所リハビリ	10.5	13.7	10.3	5.9	2.4	1.2	2.5
訪問リハビリ	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	3.0

平成21年10月1日時点の利用者の実人数（介護予防の利用者を除く平均人数）

H21年10月1日現在 n=1100	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	平均要介護度
入所	7.0	16.5	25.8	25.2	18.1	0.6	3.3
短期入所療養介護	0.5	0.9	1.4	1.2	1.0	0.1	3.2
通所リハビリ	11.2	13.9	10.5	6.0	2.5	1.4	2.5
訪問リハビリ	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2	0.0	2.9

※「入所」には短期入所療養介護を含む。また当日の入退所者を含む。





②利用者負担の段階

平成20年10月1日時点および21年10月1日時点における利用者負担の段階を以下に記載した。

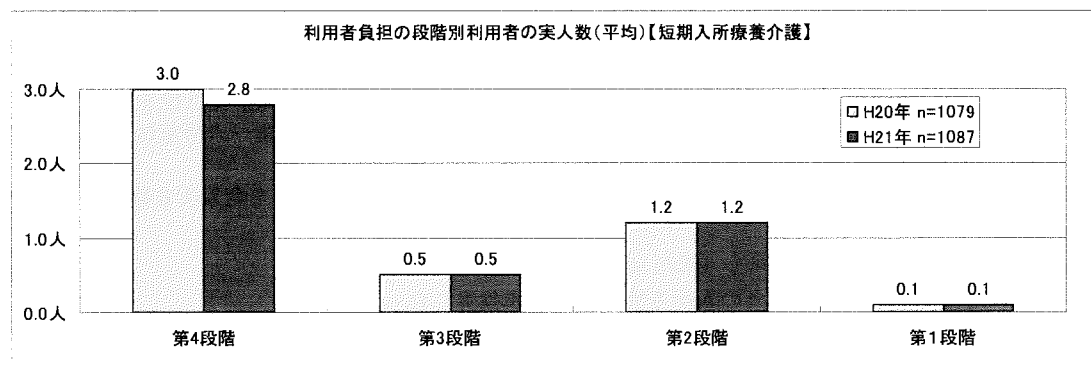
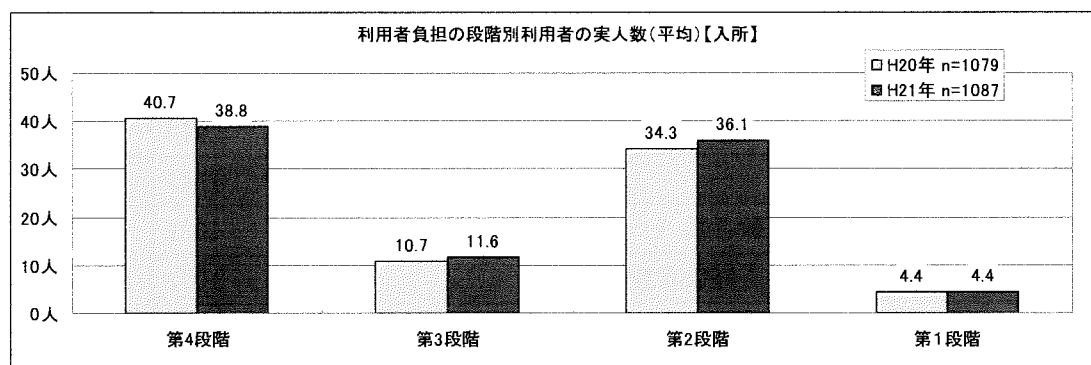
平成20年10月1日時点の利用者負担の段階（介護予防の利用者を除く平均人数）

H20年10月1日時点 n=1079	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
入所	40.7	10.7	34.3	4.4
短期入所療養介護	3.0	0.5	1.2	0.1

平成21年10月1日時点の利用者負担の段階（介護予防の利用者を除く平均人数）

H21年10月1日現在 n=1087	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
入所	38.8	11.6	36.1	4.4
短期入所療養介護	2.8	0.5	1.2	0.1

※「入所」には短期入所療養介護を含む。また当日の入退所者を含む



③利用者の状況

施設における稼働率、入所者・退所者数、在所日数等、施設利用者の状況について、以下に記載した。

利用者の状況（6ヵ月間＝平成21年5月～10月、無記載＝平成21年10月1日時点）

		n	(平均)
1	6ヵ月間の平均入所稼働率（※1	1078	94.5%
2	6ヵ月間の延べ新規入所者数（短期を除く）	1061	46.4人
3	6ヵ月間の延べ退所者数（短期を除く）	1075	50.8人
	同 在宅復帰加算算定施設ベース	87	77.5人
	→うち入所期間が1ヵ月以上あり、在宅復帰後、在宅での生活が1ヵ月以上継続する見込みであることが確認できた退所者	788	12.4人
	同 在宅復帰加算算定施設ベース	87	37.6人
4	平均在所日数（短期を除く）（※2	1073	503.3
5	平均在所日数（短期を含む）（※2	1038	470.3
6	入所待ち数	1092	40.4人
7	6ヵ月間の短期入所延べ利用者数	913	271.4人
8	通所登録者数	1045	101.7人
9	通所登録者中の入所経験者数（1ヶ月以上）	1021	7.2人
10	通所登録者中の短期入所経験者数	1021	20.1人
11	6ヵ月間の平均通所稼働率	1054	63.8%
12	個室の差額を払える人の割合	774	27.9%

※1「稼働率」:6ヵ月間の平均稼働率を求めるために、まず1ヵ月間の平均稼働率を求め、それらの値を使い平均稼働率を算出。

1ヵ月間の平均稼働率:【各月内の延べ入所者数】÷【延べ入所定員数】（小数点第2位を四捨五入）

1月間の延べ入所定員数⇒定員100名で30日の場合、100×30日＝3000人が延べ入所定員

通所者の場合も算出用法は同様

※2「平均在所日数」:平成21年10月1日時点での全入所者の在所期間の合計を全入所者数で割って算出（小数点第2位を四捨五入）

※平均は回答の合計を、無回答を除く（表内n）数で除したもの。

人数については、平成21年10月の入所者数100人規模換算した。

※「在宅復帰加算算定施設ベース」:調査票6-2加算算定状況の13.在宅復帰機能支援加算（Ⅰ）もしくは14.在宅復帰機能支援加算（Ⅱ）で算定した実人数を回答した施設を母数にして算出。

(3) 在宅復帰の動向

平成 21 年 5 月～10 月の 6 ヶ月間における 1 ヶ月平均の人数（入所定員 100 人規模換算）でみた在宅復帰の動向は以下の通りである。

		n	人数（平均）
1	元の自宅や家族の実家への在宅復帰者数（短期除く）	989	14.9 人
2	グループホーム（ケア付住宅等を含む）への退所者数	372	2.3 人
3	他の介護老人保健施設等への退所者数	778	7.4 人
4	ケアハウスへの退所者数	108	2.3 人
5	有料老人ホームへの退所者数	280	3.4 人
6	医療機関等への退所者数	1080	25.9 人
7	医療機関への退所のうちターミナルでの退所者数	216	3.3 人
8	施設内死亡者数	534	3.9 人
9	その他退所者数	490	6.9 人

※平均は回答の合計を、無回答を除く（表内 n）数で除したもの。

人数については、平成 21 年 10 月の入所者数 100 人規模換算した。

(4) 施設における介護報酬算定状況

以下、施設における介護報酬算定状況について、平成20年10月時点、平成21年4月時点、平成21年10月時点の3時点の数字を記載した。

1) 各サービスにおける総請求点数等

	種別			平成20年		平成21年	
				10月	4月	10月	
1	入所	当該月の総レセプト請求枚数	(枚)	98.3枚 n=1074	117.5枚 n=1079	120.6枚 n=1079	
2		当該月の総レセプト請求点数	(点)	3,772,882.4点 n=1076	3,957,264.0点 n=1085	4,137,185.4点 n=1083	
3	短期入所	当該月の総レセプト請求枚数	(枚)	20.3枚 n=976	19.5枚 n=970	21.1枚 n=970	
4		当該月の総レセプト請求点数	(点)	239,288.1点 n=982	228,234.2点 n=976	247,136.4点 n=975	
5	通所リハビリ	当該月の通所リハビリテーション実施日数	(日)	43.2日 n=1015	41.4日 n=1018	43.4日 n=1019	
6		当該月の延べ利用者数	(人)	691.5人 n=1024	666.5人 n=1026	702.1人 n=1025	
7		当該月の総レセプト請求枚数	(枚)	84.7枚 n=1029	86.6枚 n=1031	88.7枚 n=1030	
8		当該月の総レセプト請求点数	(点)	915,277.3点 n=1033	933,298.1点 n=1037	976,701.7点 n=1035	
9	訪問リハ	当該月の総レセプト請求枚数	(枚)	23.1枚 n=116	22.5枚 n=114	24.1枚 n=119	
10		当該月の総レセプト請求点数	(点)	135,473.2点 n=117	139,612.9点 n=115	142,634.4点 n=120	

※レセプト請求点数、枚数、利用者数の平均は回答の合計を、無回答および「0」の回答を除く（表内 n）数で除したもの。

利用者数については、平成21年10月の入所者数100人規模換算した。

2) 加算等算定の状況 (平均値)

	種別			平成 20 年		平成 21 年		
				10 月	4 月	10 月		
1	入 所 サ ー ビ ス	夜勤職員配置加算		算定点数 の合計	(点)	/	61,074.5 点 n=724	63,120.5 点 n=857
2		サービス提供 体制加算	(Ⅰ)	算定点数 の合計	(点)	/	49,778.9 点 n=644	49,770.3 点 n=739
3			(Ⅱ)	算定点数 の合計	(点)	/	26,124.2 点 n=280	30,396.1 点 n=207
4			(Ⅲ)	算定点数 の合計	(点)	/	14,704.8 点 n=128	15,411.7 点 n=115
5		認知症専門ケ ア加算	(Ⅰ)	算定点数 の合計	(点)	/	66,431.0 点 n=39	67,667.1 点 n=42
6			(Ⅱ)	算定点数 の合計	(点)	/	48,774.9 人 n=10	47,758.9 点 n=10
7		初期加算		算定した 実人数	(人)	11.3 人 n=1036	17.6 人 n=1077	15.9 人 n=1065
				算定点数 の合計	(点)	4,096.5 点 n=1040	4,485.7 点 n=1078	4,195.6 点 n=1067
8		リハビリテーショ ンマネジメント加算		算定した 実人数	(人)	79.2 人 n=955	/	/
				算定点数 の合計	(点)	57,593.6 点 n=974	/	/
9		短期集中リハビリテ ーション実施加算		算定した 実人数	(人)	12.1 人 n=734	13.6 人 n=876	14.6 人 n=905
				算定点数 の合計	(点)	7,706.9 点 n=737	32,438.1 点 n=880	36,533.5 点 n=911
10		認知症短期集中リハ ビリテーション実施 加算		算定した 実人数	(人)	6.2 人 n=143	7.5 人 n=232	7.7 人 n=354
				算定点数 の合計	(点)	5,802.6 点 n=143	13,763.3 点 n=232	15,404.7 点 n=353
11	ターミナルケア加算 (1) (死亡日前15~30日)		算定した 実人数	(人)	/	1.0 人 n=30	1.2 人 n=84	
			算定点数 の合計	(点)	/	2,034.2 点 n=30	3,147.7 点 n=83	
12	ターミナルケア加算 (2) (死亡日前~14日)		算定した 実人数	(人)	/	1.2 人 n=56	1.3 人 n=106	
			算定点数 の合計	(点)	/	3,572.6 点 n=57	4,610.1 点 n=107	
13	在宅復帰機能支援加 算(Ⅰ)(50%以上)		算定した 実人数	(人)	178.0 人 n=23	80.2 人 n=26	77.7 人 n=32	
			算定点数 の合計	(点)	20,409.2 点 n=23	29,623.5 点 n=26	29,535.7 点 n=33	
14	在宅復帰機能支援加 算(Ⅱ)(30%以上)		算定した 実人数	(人)	/	208.3 人 n=45	183.7 人 n=61	
			算定点数 の合計	(点)	/	10,873.2 点 n=45	11,917.2 点 n=61	

15	入所サービス	認知症情報提供加算	算定した実人数	(人)		3.0人 n=1	1.3人 n=4
			算定点数の合計	(点)		1500.0点 n=1	550.0点 n=4
16	サービス	若年性認知症入所者受入加算	算定した実人数	(人)		2.4人 n=27	2.1人 n=37
			算定点数の合計	(点)		6,476.9点 n=29	6,341.7点 n=40
17	サービス	緊急時施設療養費	算定した実人数	(人)	3.2人 n=221	3.4人 n=218	17.4人 n=222
			算定点数の合計	(点)	3,255.7点 n=222	3,667.7点 n=220	2,956.3点 n=223
18	短期入所療養介護	リハビリテーション機能強化加算	算定した実人数	(人)	20.7人 n=605	20.0人 n=801	21.1人 n=840
			算定点数の合計	(点)	5,641.2点 n=594	4,258.5点 n=802	5,059.4点 n=838
19	短期入所療養介護	個別リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)		9.7人 n=714	27.5人 n=810
			算定点数の合計	(点)		7,673.2点 n=713	9,149.9点 n=809
20	短期入所療養介護	認知症行動・心理症状緊急対応加算	算定した実人数	(人)		1.0人 n=3	1.5人 n=2
			算定点数の合計	(点)		1200.0点 n=3	1300.0点 n=2
21	短期入所療養介護	若年性認知症入所者受入加算	算定した実人数	(人)		1.3人 n=9	2.5人 n=11
			算定点数の合計	(点)		1,236.0点 n=10	2,720.0点 n=12
22	短期入所療養介護	緊急短期入所ネットワーク加算	算定した実人数	(人)	0.0人 n=0	1.0人 n=2	1.0人 n=2
			算定点数の合計	(点)	0.0点 n=0	275.0点 n=2	75.5点 n=2
23	通所リハビリテーション	1時間以上2時間未満の通所リハビリテーション	算定した実人数	(人)		2.9人 n=58	3.1人 n=94
			算定点数の合計	(点)		2,422.1点 n=59	3,674.5点 n=93
24	通所リハビリテーション	リハビリテーションマネジメント加算	算定した実人数	(人)	73.2人 n=947	45.1人 n=973	49.0人 n=994
			算定点数の合計	(点)	10,957.1点 n=951	10,796.7点 n=975	11,840.6点 n=997
25	通所リハビリテーション	短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)	32.2人 n=743	13.2人 n=740	10.5人 n=806
			算定点数の合計	(点)	15,687.1点 n=745	6,140.3点 n=742	6,351.9点 n=811

26	通所リハビリテーション	個別リハビリテーション加算	算定した実人数	(人)	52.0人 n=454	44.0人 n=907	51.4人 n=947
			算定点数の合計	(点)	27,046.4点 n=452	23,744.1点 n=911	27,579.8点 n=952
27		認知症短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)		2.5人 n=51	2.3人 n=81
			算定点数の合計	(点)		2,423.5点 n=51	2,942.2点 n=81
28		若年性認知症利用者受入加算	算定した実人数	(人)		1.2人 n=19	1.5人 n=22
			算定点数の合計	(点)		597.0点 n=20	683.5点 n=23
29	訪問リハ	リハビリテーションマネジメント加算	算定した実人数	(人)	21.2人 n=97	24.9人 n=18	26.9人 n=17
			算定点数の合計	(点)	20,518.0点 n=97	47,330.8点 n=15	51,748.0点 n=15
30		短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)	3.8人 n=44	3.2人 n=44	3.2人 n=44
			算定点数の合計	(点)	3,776.3点 n=43	4,113.9点 n=43	3,846.5点 n=44

※加算点数、算定人数の平均は回答の合計を、無回答および「0」の回答を除く（表内 n）数で除したものの。
人数については、平成 21 年 10 月の入所者数 100 人規模換算した。

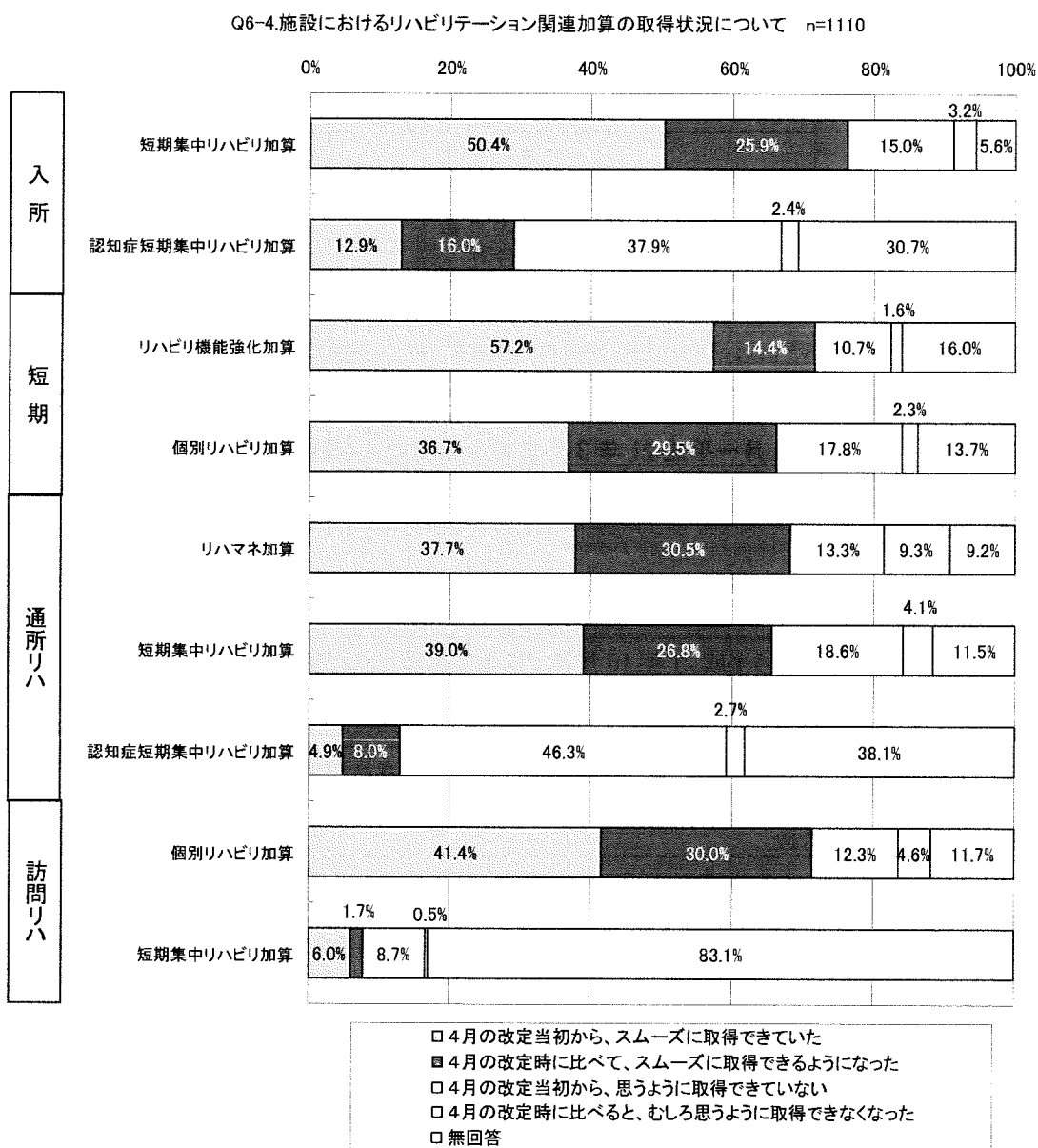
3) 成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月まで 1 年間に、(身体及び認知症) 短期集中リハビリテーション実施加算を算定された入所者の状況 (平均人数)

		n	人数 (平均)
1	(身体) 短期集中リハビリテーション実施加算のみを算定した延べ入所者数	821	76.0 人
	うち平成 21 年 10 月までに在宅復帰された延べ退所者数	889	17.6 人
2	認知症短期集中リハビリテーション実施加算のみを算定した延べ入所者数	852	6.9 人
	うち平成 21 年 10 月までに在宅復帰された延べ退所者数	746	0.6 人
3	上記、(身体及び認知症) 短期集中リハビリ実施加算を両方算定した延べ入所者数	831	14.5 人
	うち平成 21 年 10 月までに在宅復帰された延べ退所者数	747	3.3 人

※人数の平均は回答の合計を、無回答および「0」の回答を除く（表内 n）数で除したものの。
人数については、平成 21 年 10 月の入所者数 100 人規模換算した。

4) 入所・短期入所・通所利用者に対するリハビリテーション関連加算の取得状況は、4月の介護報酬改定時と現在では変化があったと感じるかについて

以下のリハビリテーション関連加算について、4月の介護報酬改定時と現在の取得状況をみると、改定当初からスムーズに取得できた割合では、短期の「リハビリ機能強化加算」が57.2%と最も高く、以下、入所の「短期集中リハビリ加算」(50.4%)、通所リハの「個別リハビリ加算」(41.4%)の順となっている。改定時に比較してスムーズになった割合では、通所リハの「リハマネ加算」が30.5%と最も高く、以下、通所リハの「個別リハビリ加算」(30.0%)、短期の「個別リハビリ加算」(29.5%)と続いている。

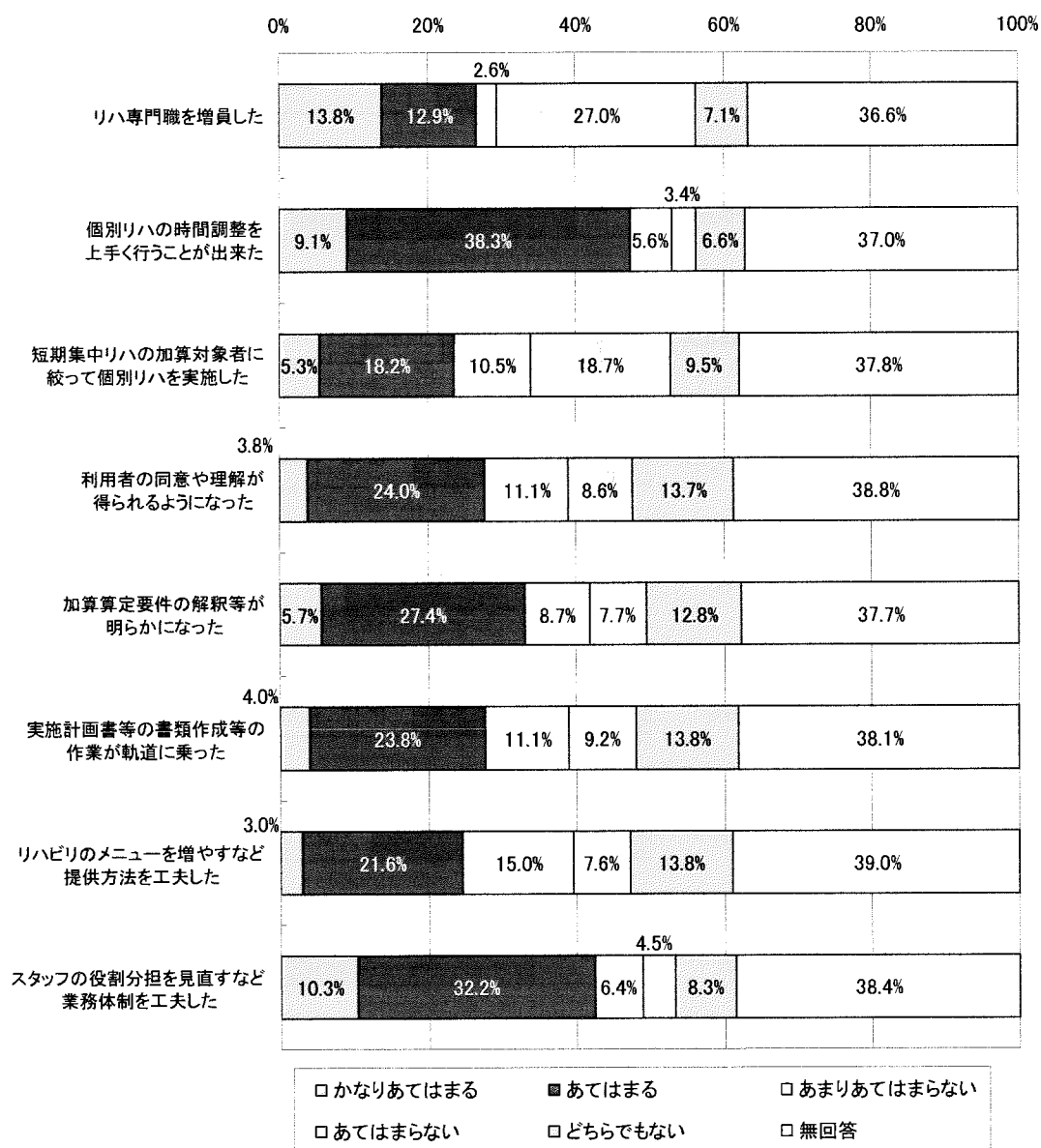


5) 4月改訂当初に比べて「取得できるようになった」理由

a. 【入所】短期集中リハビリ加算

4月改訂当初と比べて、入所の短期集中リハビリ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合でみると、「個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た」が47.4%と最も多く、以下「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」(42.5%)、「加算算定要件の解釈等が明らかになった」(33.1%)の順となっている。

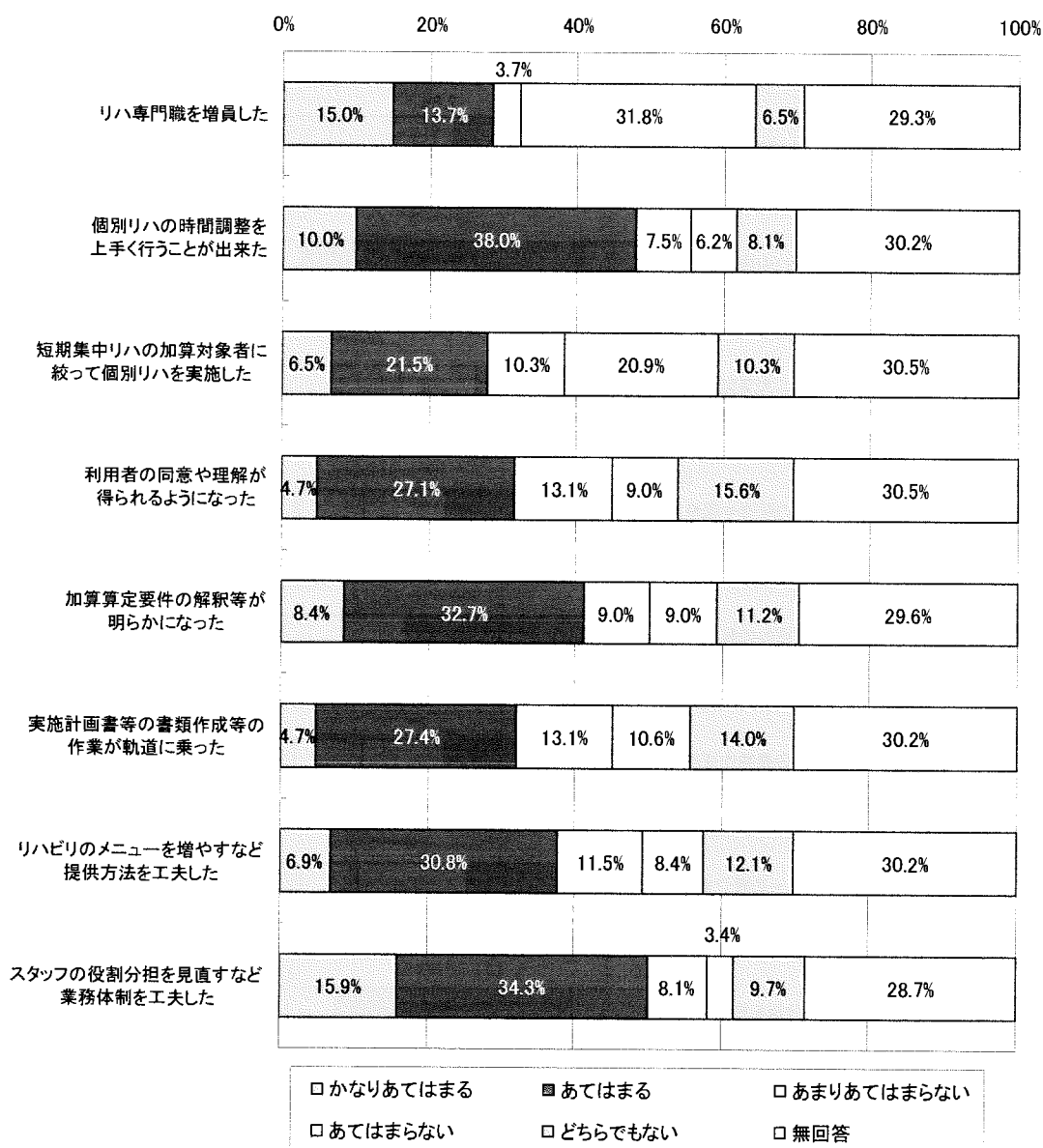
4月改訂当初に比べて【入所】短期集中リハ加算を取得できるようになった理由 n=846



b. 【入所】認知症短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、入所の認知症短期集中リハビリ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合でみると、「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」が50.2%と最も多く、以下「個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た」(48.0%)、「加算算定要件の解釈等が明らかになった」(41.1%)の順となっている。

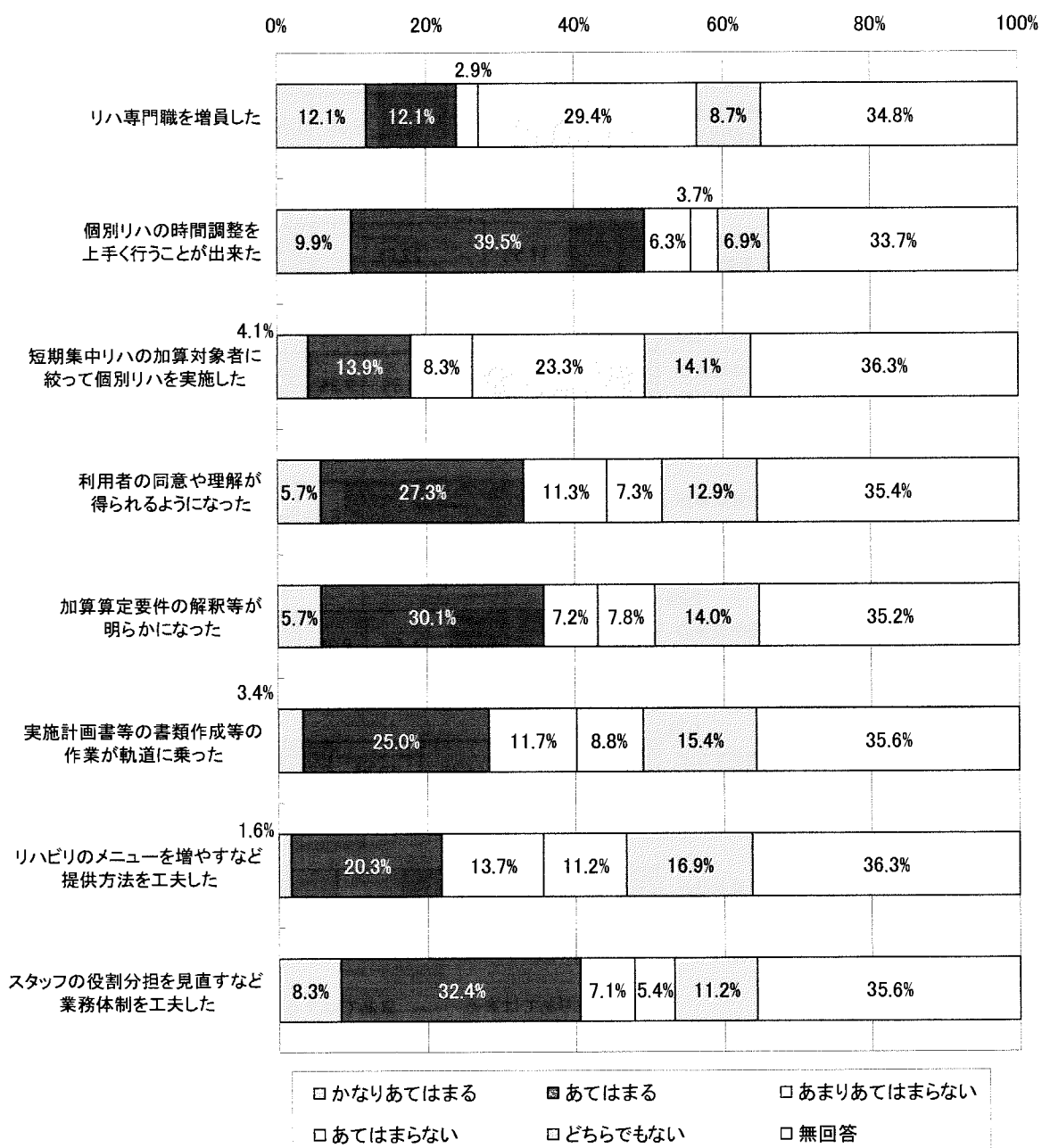
4月改定当初に比べて【入所】認知症短期集中リハビリ加算が取得できるようになった理由 n=321



c. 【短期】個別リハビリ加算

4月改定当初と比べて、短期の個別リハビリ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合でみると、「個別リハの時間調整を上手に行うことが出来た」が49.4%と最も多く、以下「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」(40.7%)、「加算算定要件の解釈等が明らかになった」(35.8%)の順となっている。

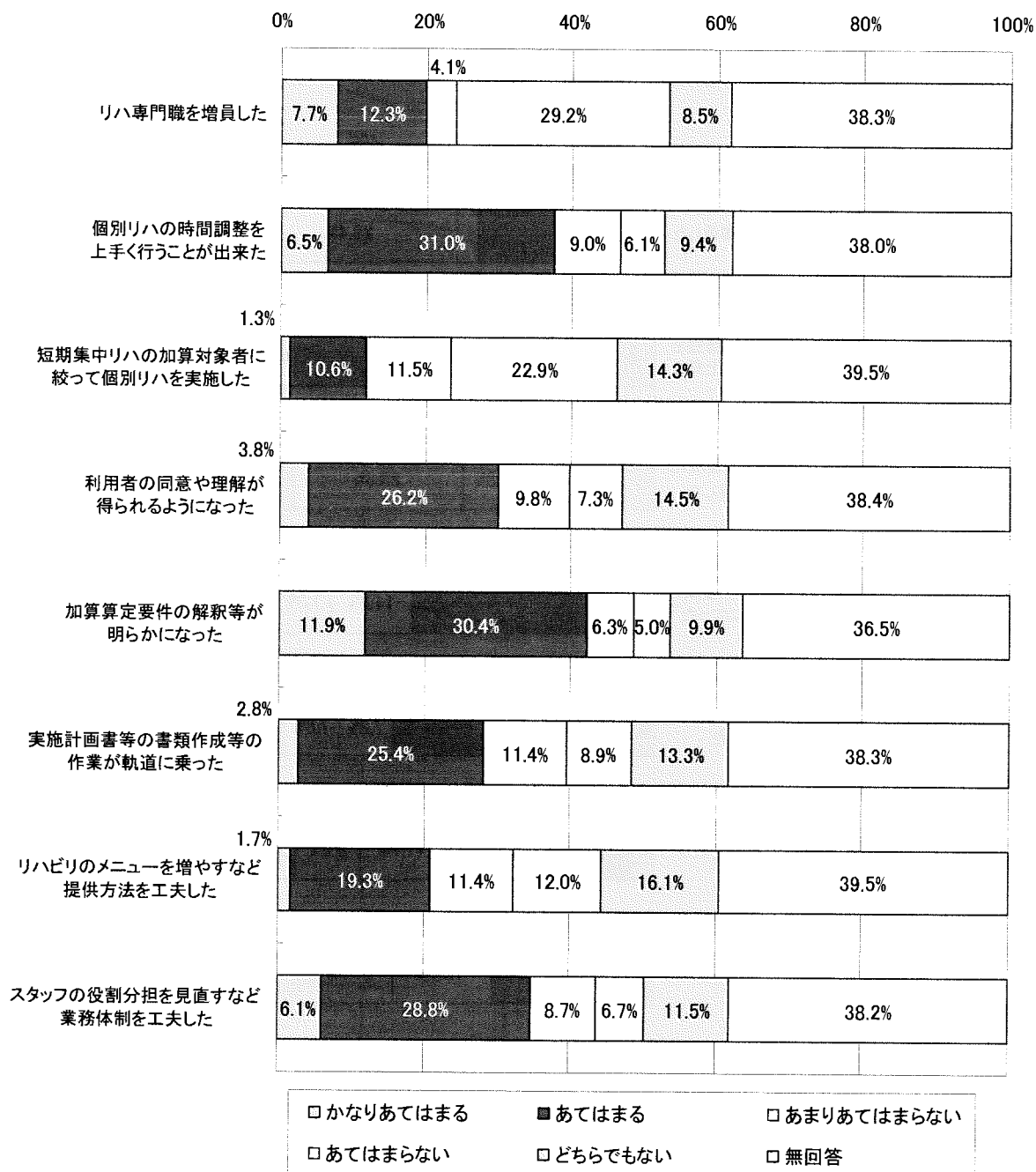
4月改定当初に比べて【短期】個別リハビリ加算が取得できるようになった理由 n=735



d. 【通所リハ】リハマネ加算

4月改定当初と比べて、通所リハのリハマネ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合でみると、「加算算定要件の解釈等が明らかになった」が42.3%と最も多く、以下「個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た」(37.5%)、「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」(34.9%)の順となっている。

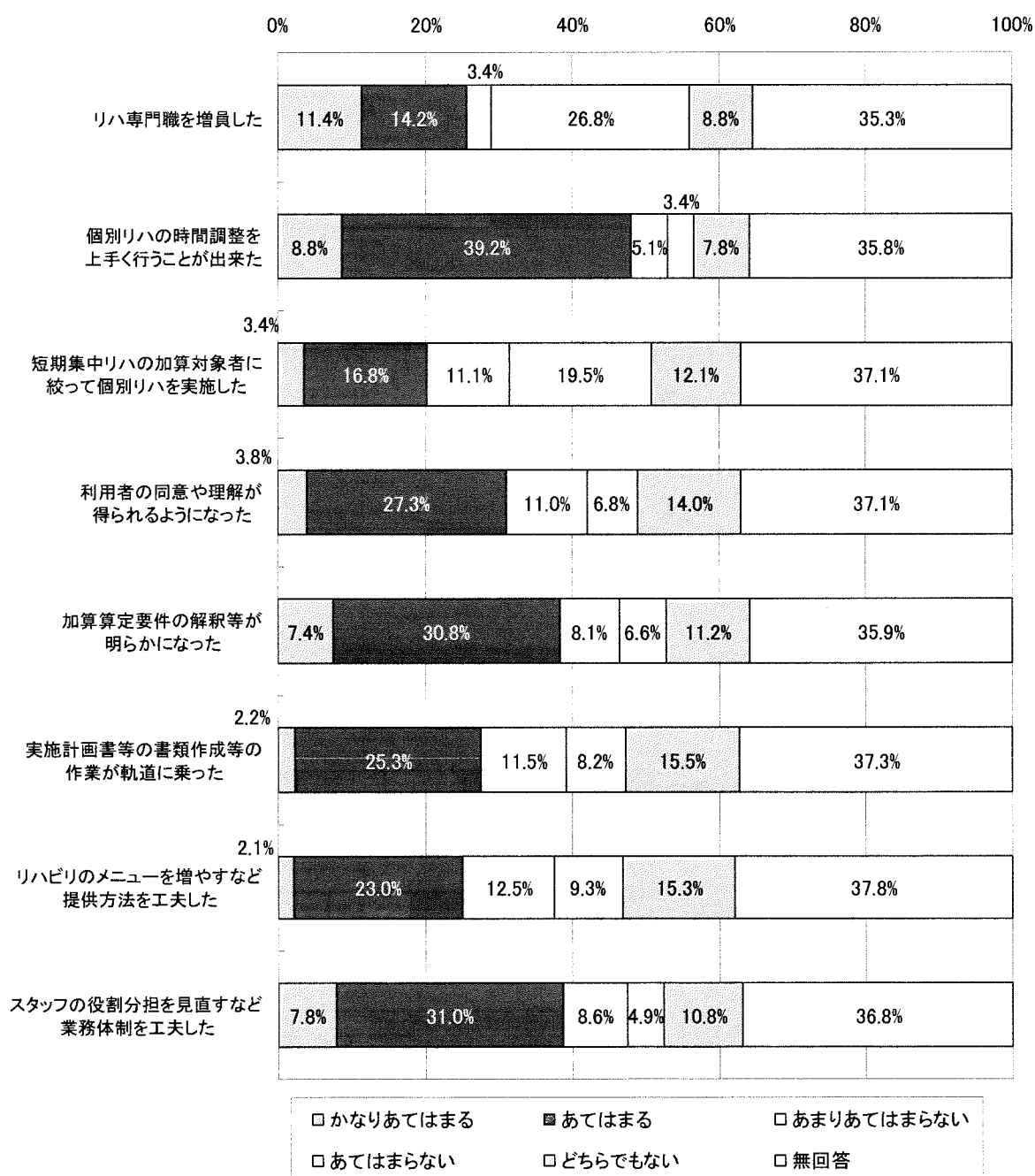
4月改定当初に比べて【通所リハ】リハマネ加算を取得できるようになった理由 n=757



e. 【通所リハ】短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、通所リハの短期集中リハビリ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合でみると、「個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た」が48.0%と最も多く、以下「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」(38.8%)、「加算算定要件の解釈等が明らかになった」(38.2%)の順となっている。

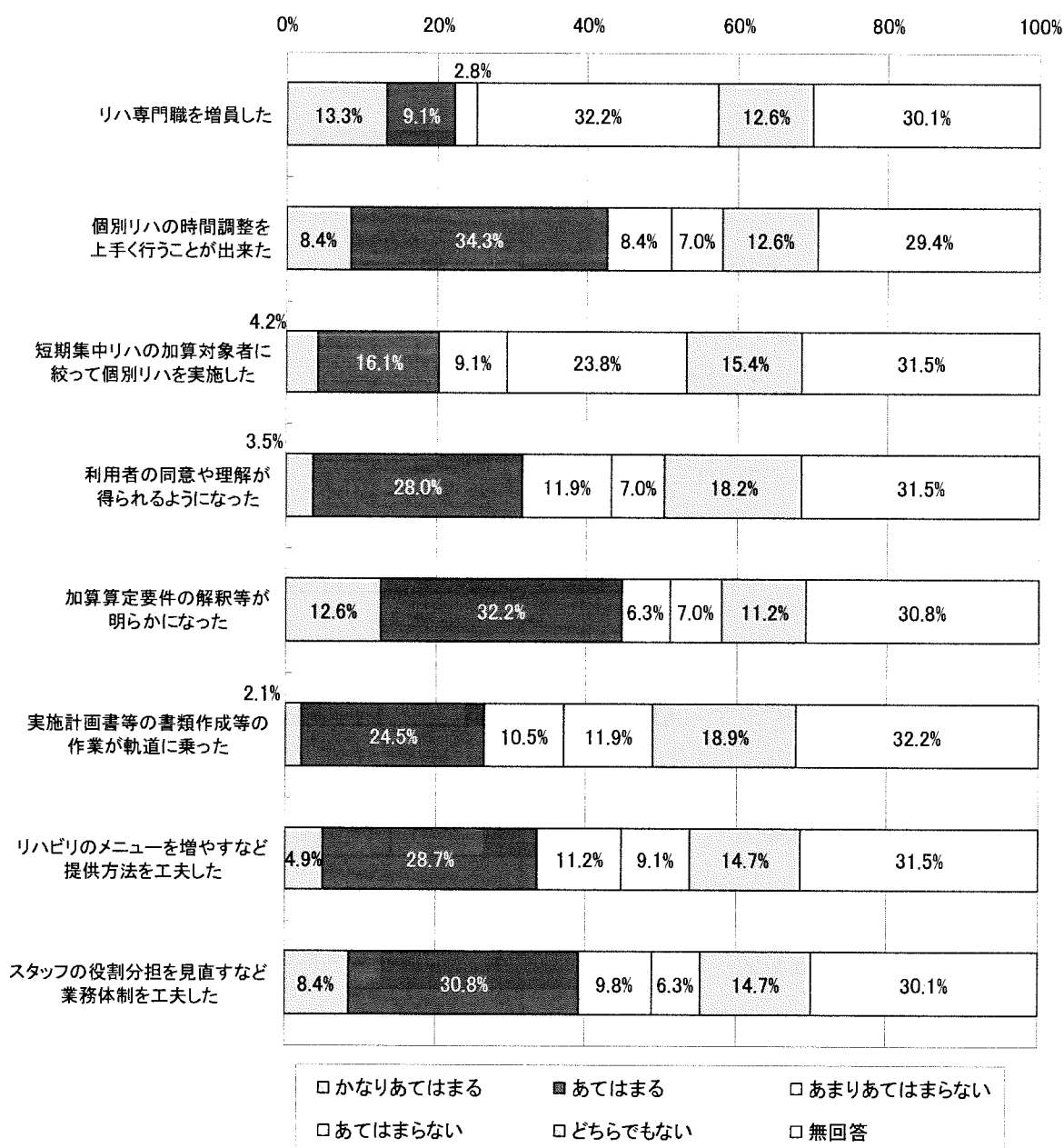
4月改定当初に比べて【通所リハ】短期集中リハビリ加算が取得できるようになった理由 n=730



f. 【通所リハ】 認知症短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、通所リハの短期集中リハビリ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合でみると、「加算算定要件の解釈等が明らかになった」が 44.8%と最も多く、以下「個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た」(42.7%)、「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」(39.2%)の順となっている。

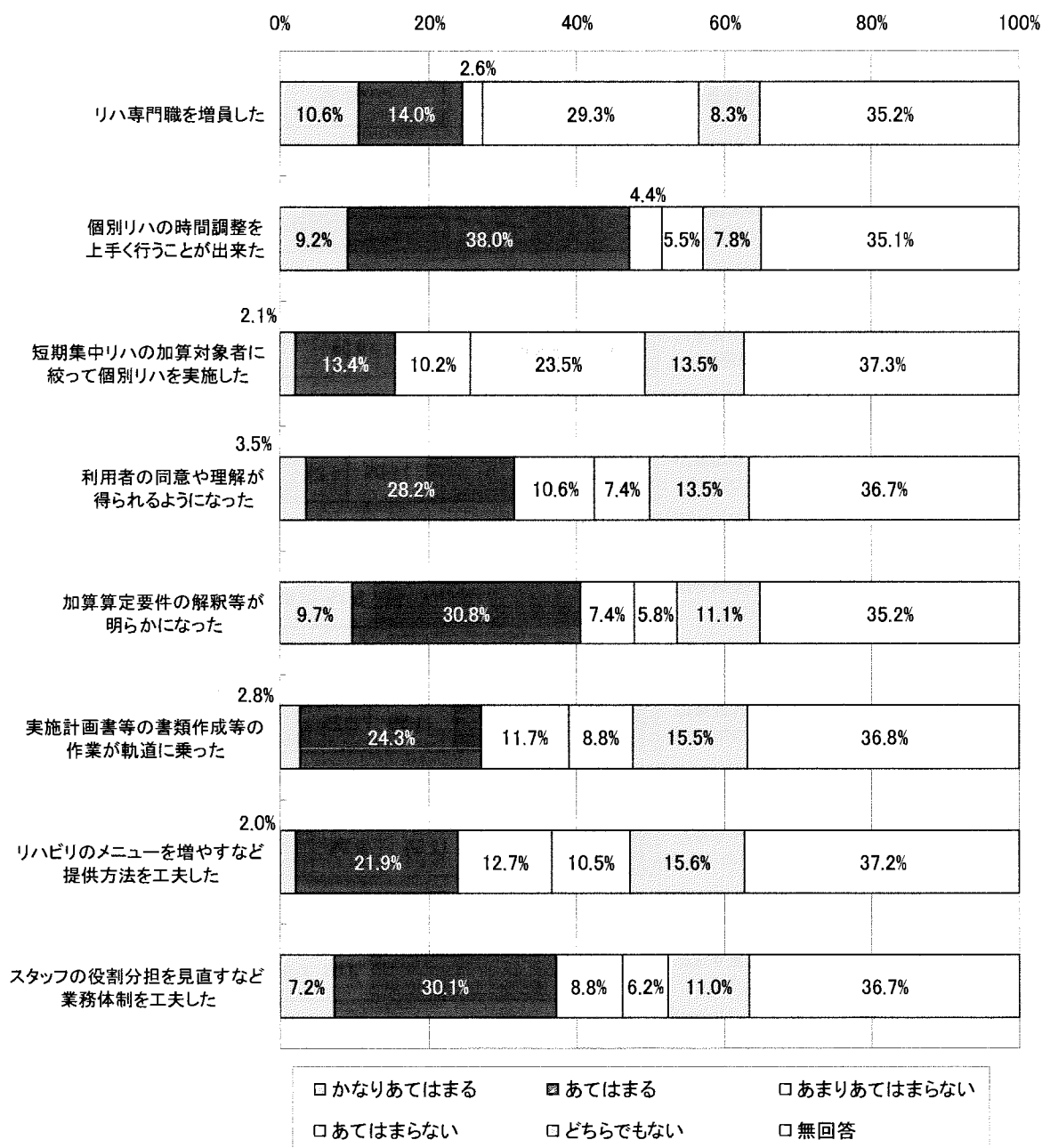
4月改定当初に比べて【通所リハ】認知症短期集中リハビリ加算が取得できるようになった理由
n=143



g. 【通所リハ】個別リハビリ加算

4月改定当初と比べて、通所リハの個別リハビリ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合でみると、「個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た」が47.2%と最も多く、以下「加算算定要件の解釈等が明らかになった」(40.5%)、「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」(37.3%)の順となっている。

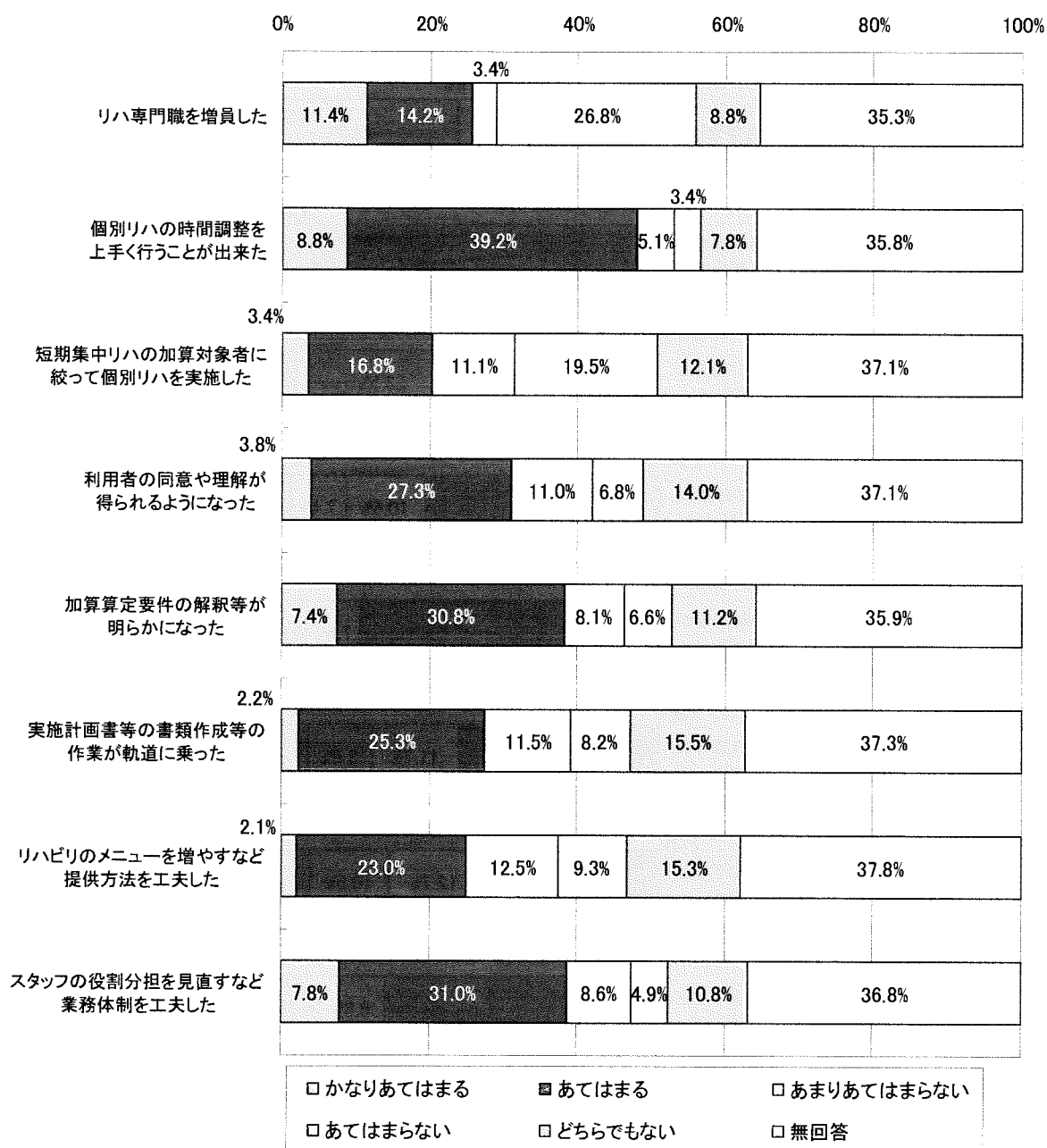
4月改定当初に比べて【通所リハ】個別リハビリ加算を取得できるようになった理由 n=793



h. 【訪問リハ】短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、訪問リハの短期集中リハビリ加算を取得できるようになった理由について、「あてはまる」と「かなりあてはまる」を合わせた割合で見ると、「個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た」が48.0%と最も多く、以下「スタッフの役割分担を見直すなど業務体制を工夫した」(38.8%)、「加算算定要件の解釈等が明らかになった」(38.2%)の順となっている。

4月改定当初に比べて【訪問リハ】短期集中リハビリ加算が取得できるようになった理由 n=85

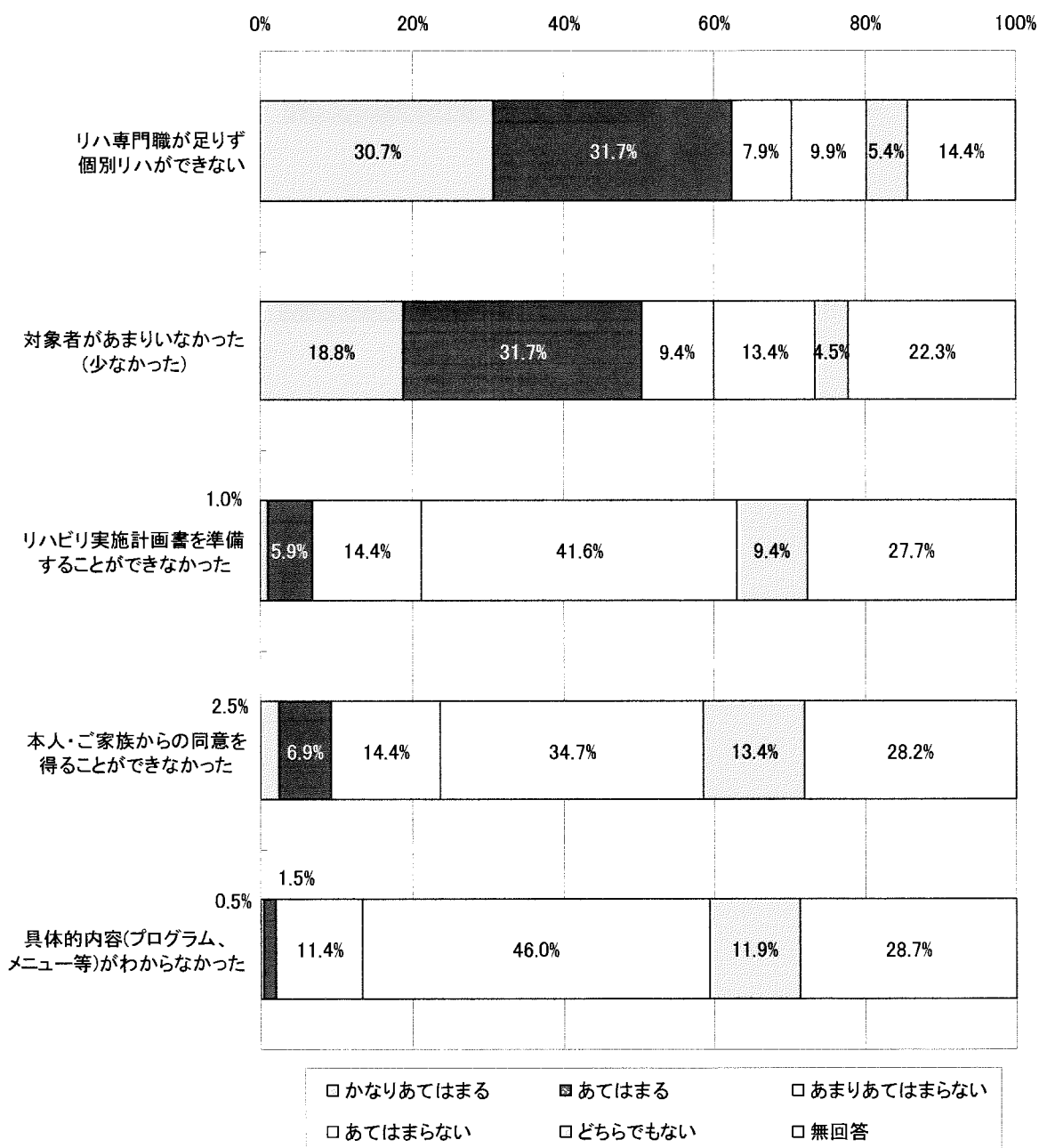


6) 4月改訂当初にくらべてリハビリテーション加算が「思うように取得できない」理由

a. 【入所】短期集中リハビリ加算

4月改訂当初と比べて、入所の短期集中リハ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合で見ると、「リハ専門職が足りず個別リハができない」が62.4%と最も多く、次に「対象者があまりいなかった(少なかった)」(50.5%)の順となっている。

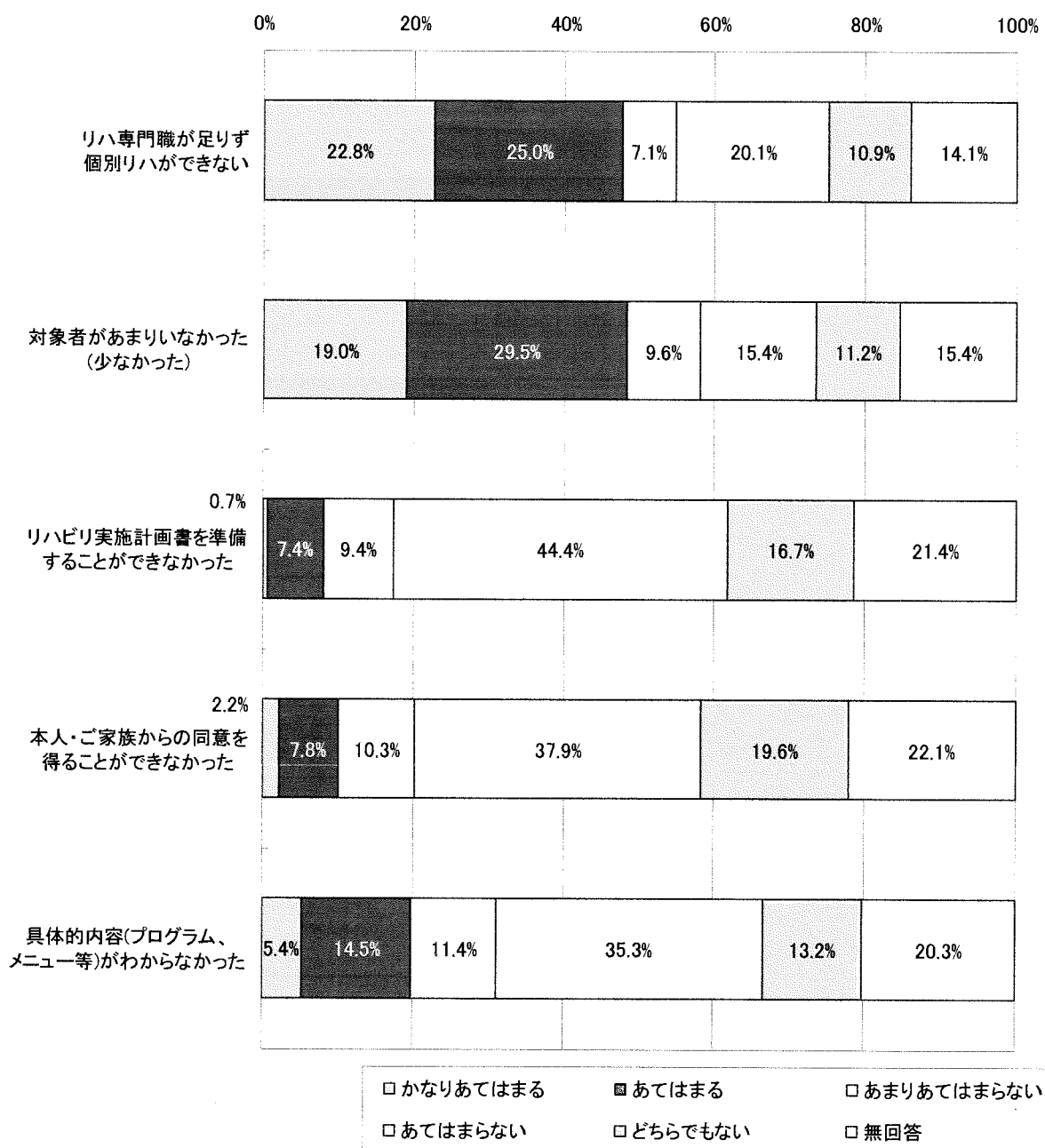
4月改訂当初に比べて【入所】短期集中リハ加算を取得できない理由 n=202



b. 【入所】認知症短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、入所の認知症短期集中リハ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合でみると、「対象者があまりいなかった(少なかった)」が48.5%と最も多く、次に「リハ専門職が足りず個別リハができない」(47.8%)の順となっている。

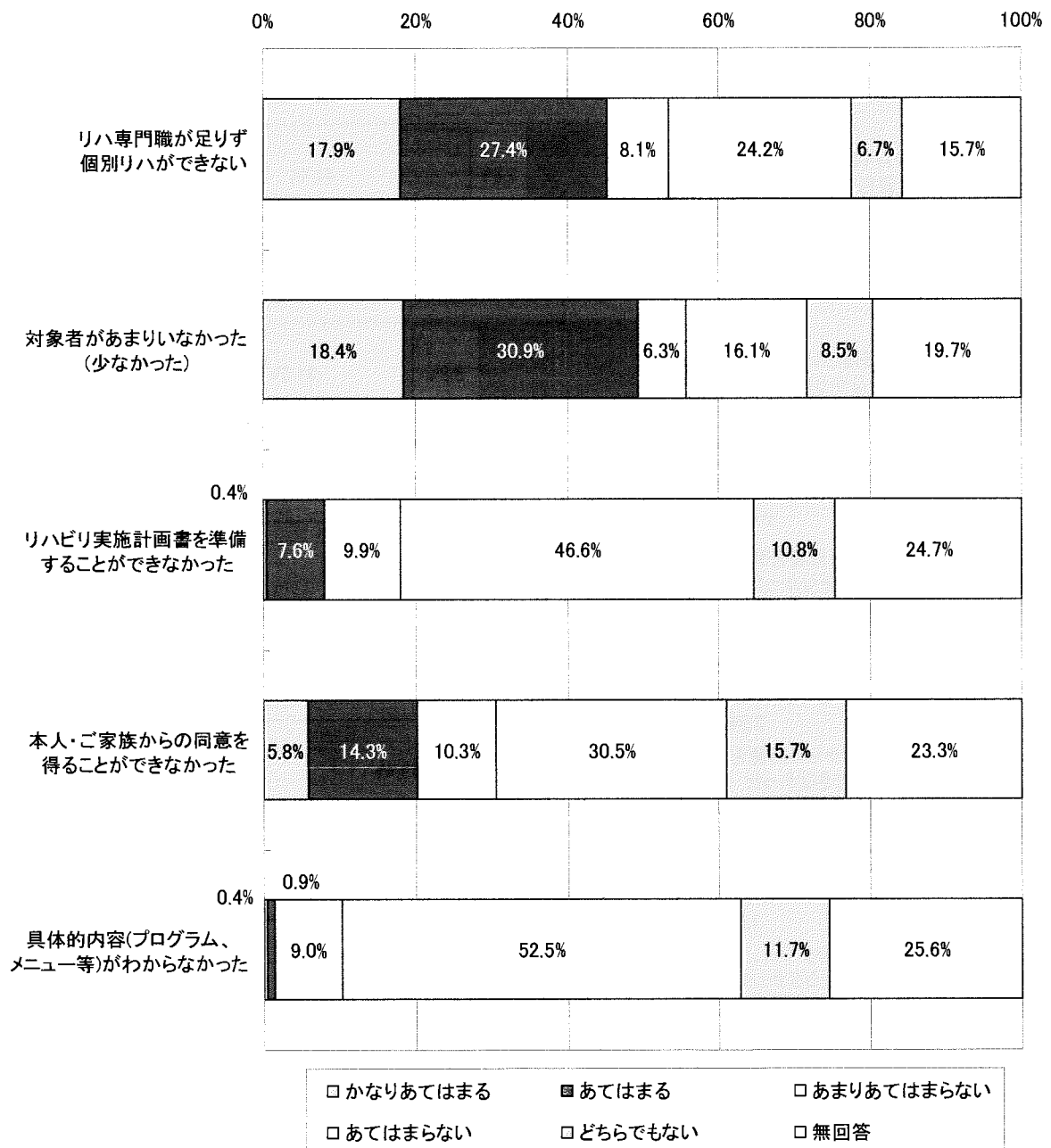
4月改定当初に比べて【入所】認知症短期集中リハビリ加算を取得できない理由 n=448



c. 【短期】個別リハビリ加算

4月改定当初と比べて、短期の個別リハビリ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合で見ると、「対象者があまりいなかった(少なかった)」が49.3%と最も多く、次に「リハ専門職が足りず個別リハができない」(45.3%)の順となっている。

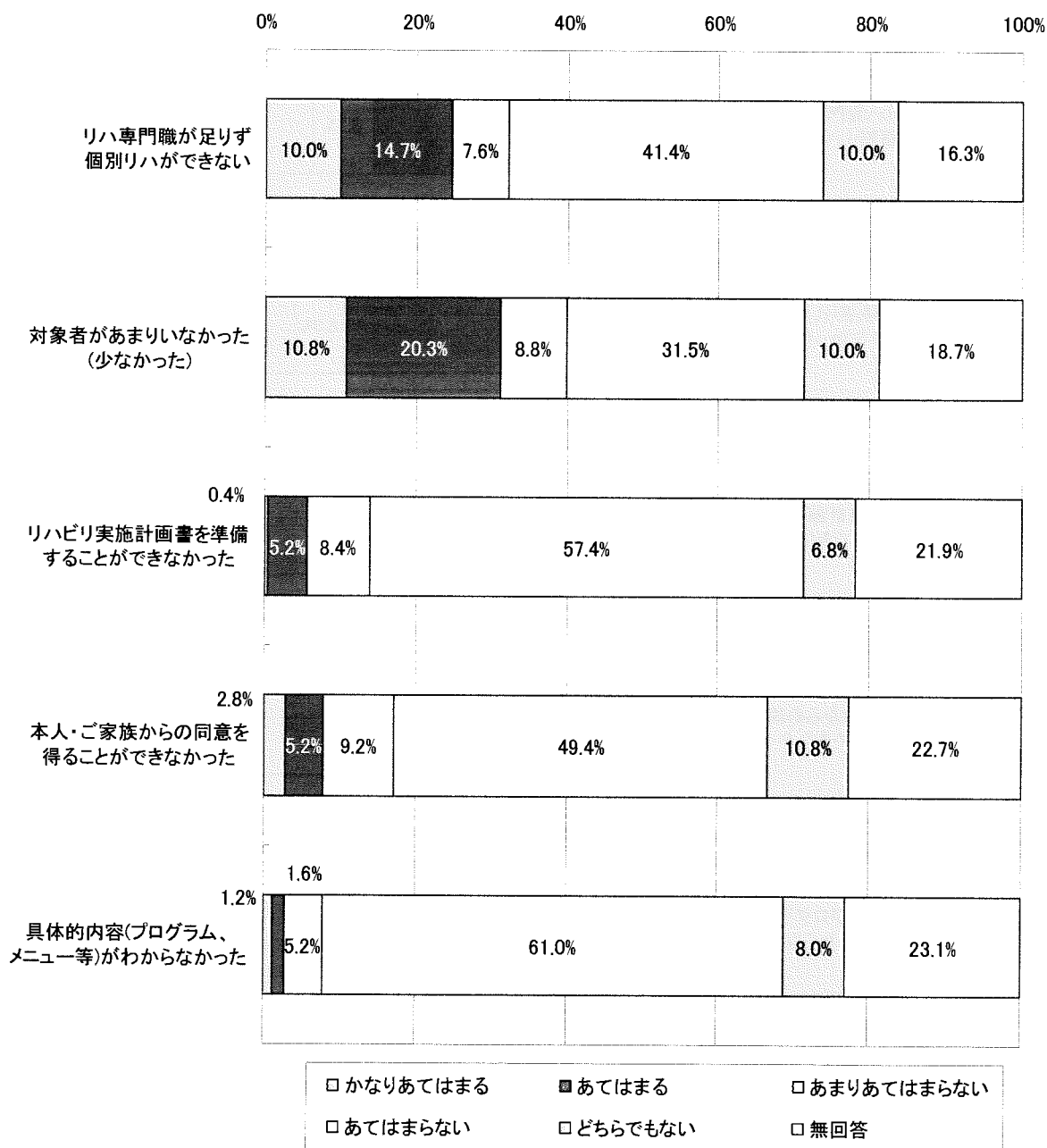
4月改定当初に比べて【短期】個別リハビリ加算を取得できない理由 n=223



d. 【通所リハ】リハマネ加算

4月改定当初と比べて、通所のリハマネ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合で見ると、「対象者があまりいなかった(少なかった)」が31.1%と最も多く、次に「リハ専門職が足りず個別リハができない」(24.7%)の順となっている。

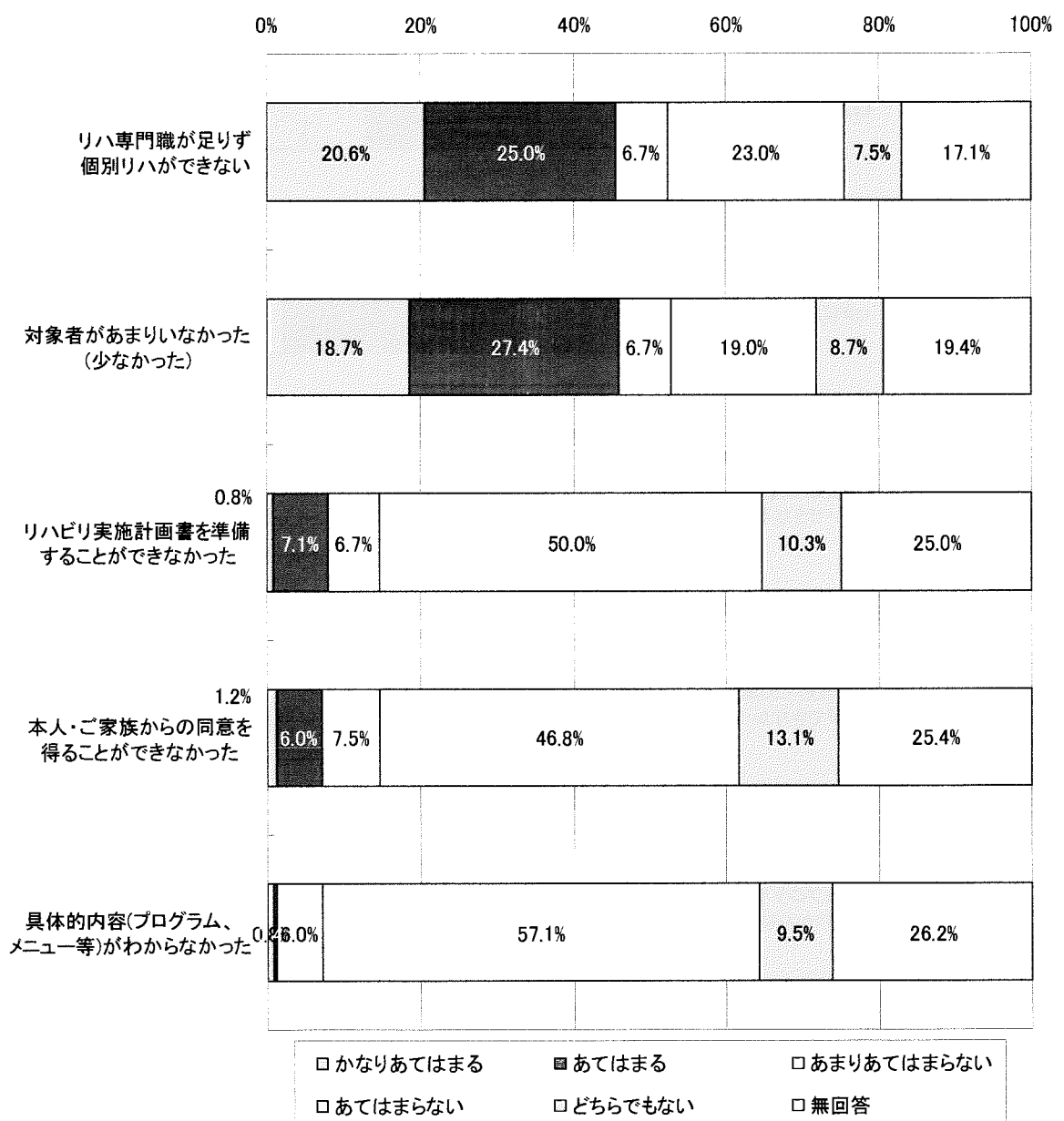
4月改定当初に比べて【通所リハ】リハマネ加算を取得できない理由 n=251



e. 【通所リハ】短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、通所の短期集中リハビリ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合でみると、「対象者があまりいなかった(少なかった)」が46.1%と最も多く、次に「リハ専門職が足りず個別リハができない」(45.6%)の順となっている。

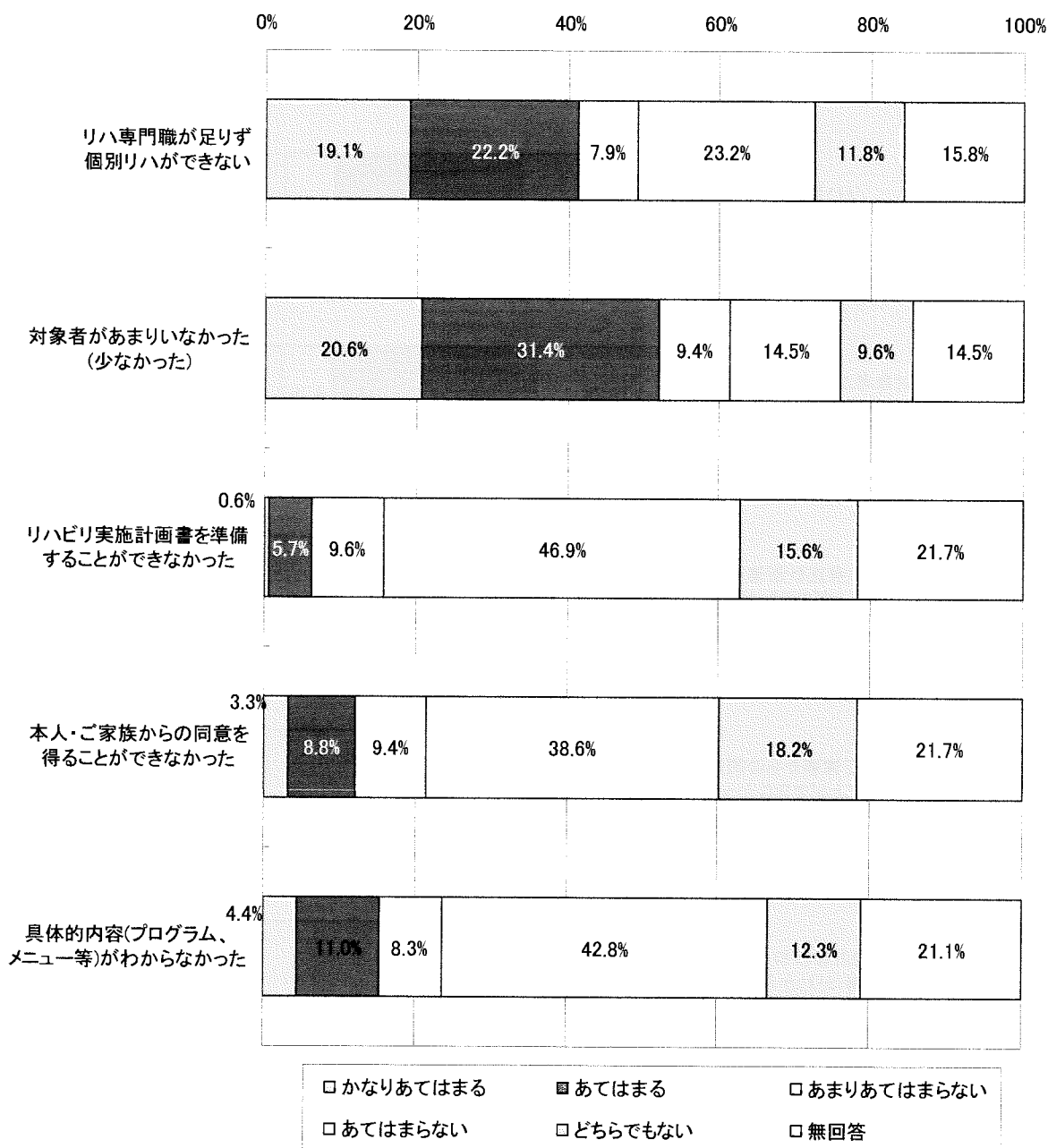
4月改定当初に比べて【通所リハ】短期集中リハ加算を取得できない理由 n=251



f. 【通所リハ】認知症短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、通所の認知症短期集中リハビリ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合で見ると、「対象者があまりいなかった(少なかった)」が52.0%と最も多く、次に「リハ専門職が足りず個別リハができない」(41.3%)の順となっている。

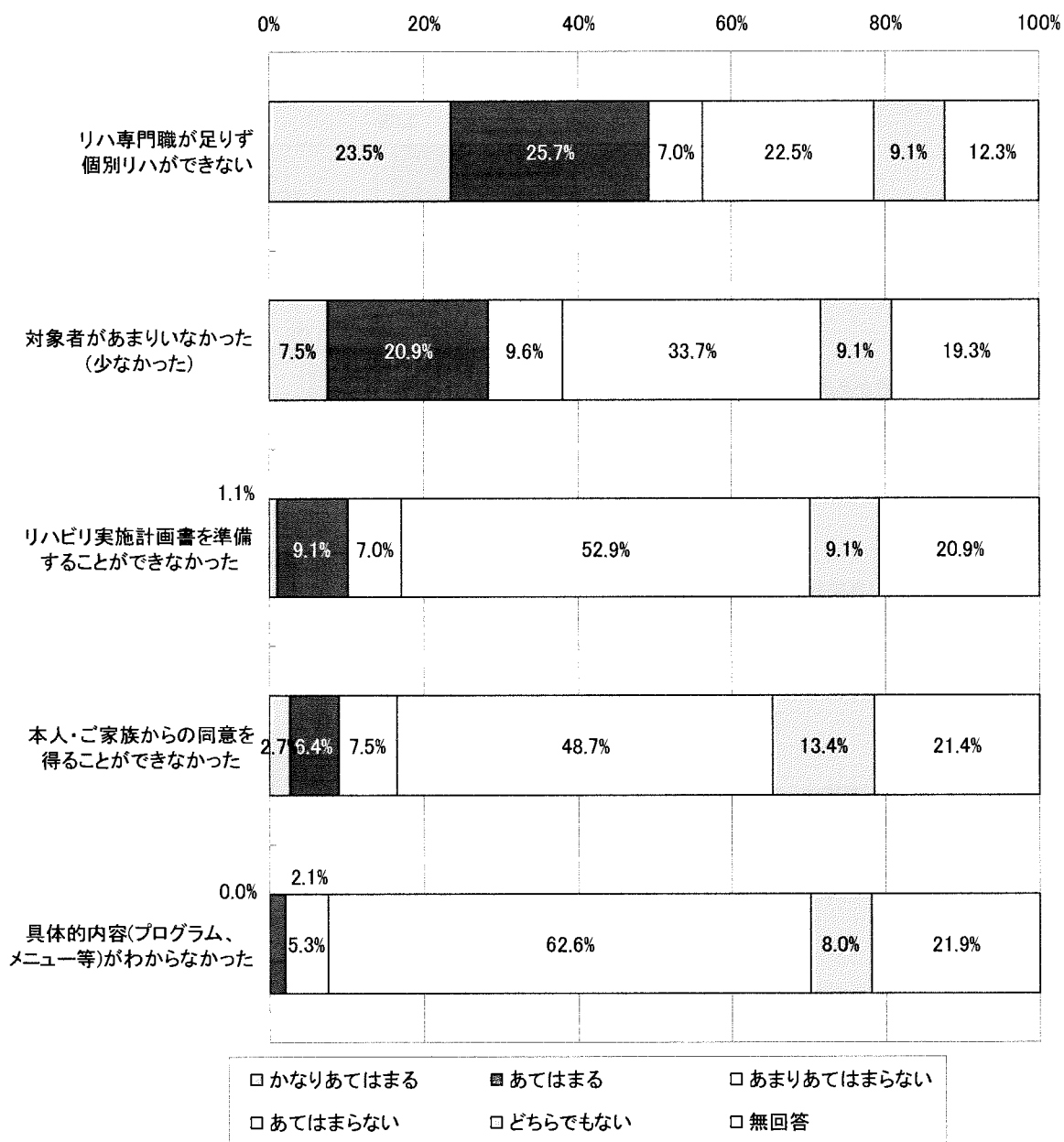
4月改定当初に比べて【通所リハ】認知症短期集中リハを取得できない理由 n=143



g. 【通所リハ】個別リハビリ加算

4月改定当初と比べて、通所の個別リハビリ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合で見ると、「リハ専門職が足りず個別リハができない」が49.2%と最も多く、次に「対象者があまりいなかった(少なかった)」(28.4%)の順となっている。

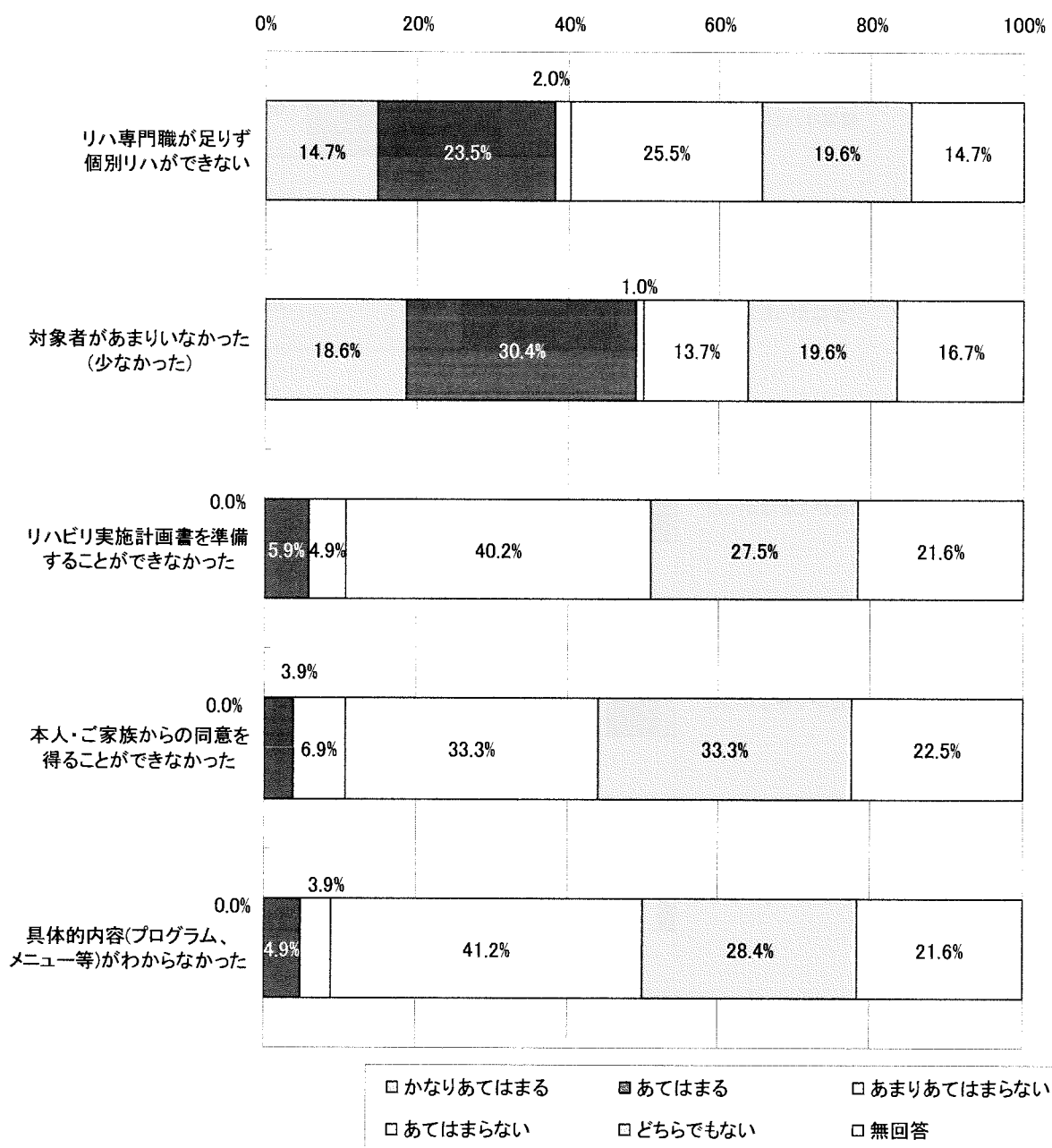
4月改定当初に比べて【通所リハ】個別リハビリ加算を取得できない理由 n=223



h. 【訪問リハ】短期集中リハビリ加算

4月改定当初と比べて、訪問リハの短期集中リハビリ加算を取得できない理由について、「かなりあてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合で見ると、「対象者があまりいなかった(少なかった)」が49.0%と最も多く、次に「リハ専門職が足りず個別リハができない」(38.2%)の順となっている。

4月改定当初に比べて【訪問リハ】短期集中リハ加算を取得できない理由 n=102



(5) 利用者の受け入れについて

1) 平成 21 年 5 月～10 月における利用者の受け入れ等について（平均件数）

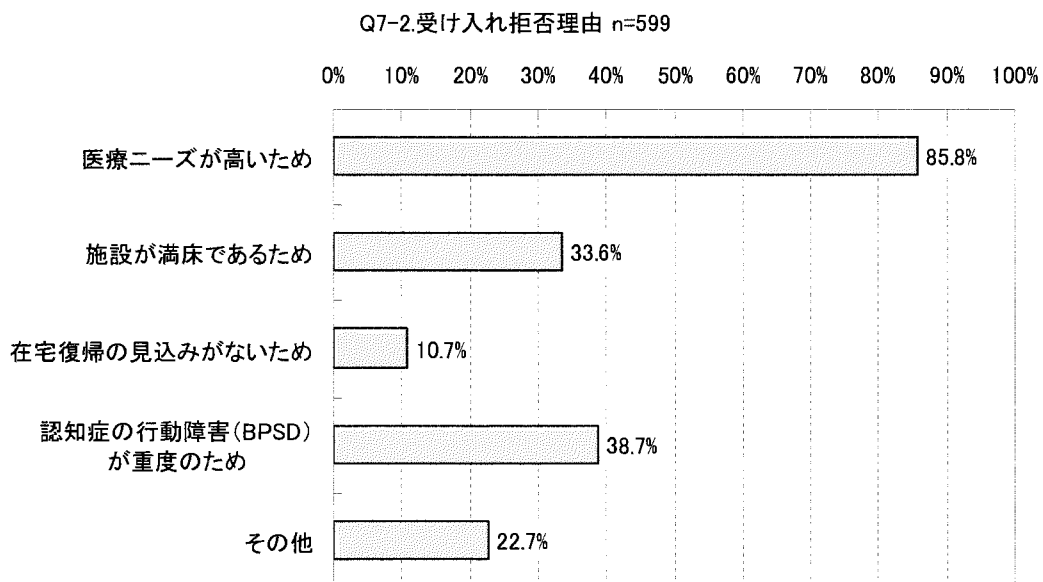
平成 21 年 5 月～10 月における相談件数は平均 120.6 件。インテーク総数はその約半数となる 60.5 件（平均）であった。また、インテーク時の受け入れ拒否件数は平均 5.4 件。判定時の受け入れ拒否件数は平均 3.9 件であった。

A. 相談総数		B. インテーク総数		C. インテーク時の受け入れ拒否 件数		D. 判定会時の受け入れ拒否 件数	
n=1100	120.6 件	n=1105	60.5 件	n=1108	5.4 件	n=1106	3.9 件

2) 上記 C. インテーク時の受け入れ拒否理由について、該当する理由と件数をご記入ください。

上記 C. インテーク時の受け入れ拒否件数回答施設（599 件）のインテーク時の受け入れ拒否理由としては「医療ニーズが高いため」が 85.8%と最も多く、以下、「認知症の行動障害（BPSD）が重度なため」（38.7%）、「施設が満床であるため」（33.6%）の順となっている。

項目 (%)	n	件数
1 医療ニーズが高いため	637	4.6 件
2 施設が満床であるため	234	10.3 件
3 在宅復帰の見込みがないため	79	2.1 件
4 認知症の行動障害（BPSD）が重度のため	277	2.8 件
5 その他 []	166	2.5 件



3) 施設で新規の利用希望の面談を月何回程度行っていますか 平均：10.1回 n=1066

施設での新規の利用希望の面談回数をみると、月あたり平均 10.1 回の面談を行っている。

4) 施設で新規利用者の入所前の在宅訪問（実地調査）を月何回程度行っていますか

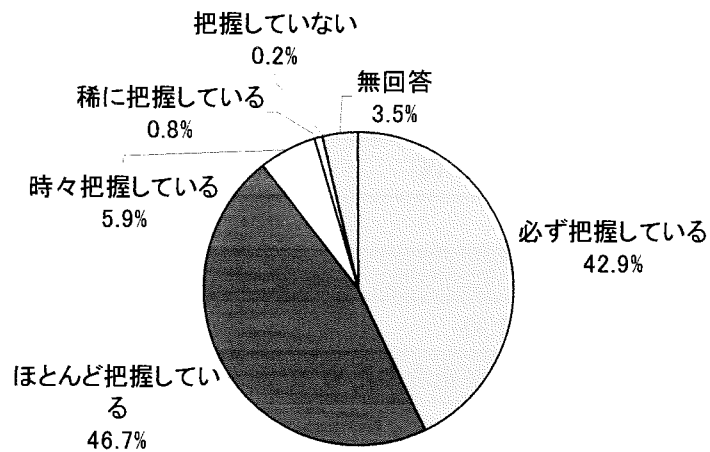
平均： 4.1回 n=1063

施設での新規利用者の入所前在宅訪問（実地調査）の回数をみると、月あたり平均 4.1 回の実地調査を行っている。

5) インテークの段階で利用者の医療ニーズをきちんと把握しているか

インテークの段階での利用者の医療ニーズの把握状況をみると、「必ず把握している」が 42.9%、「ほとんど把握している」（46.7%）とあわせると全体の 9 割近くがインテークの段階で利用者の医療ニーズを概ね把握しているとみられる。

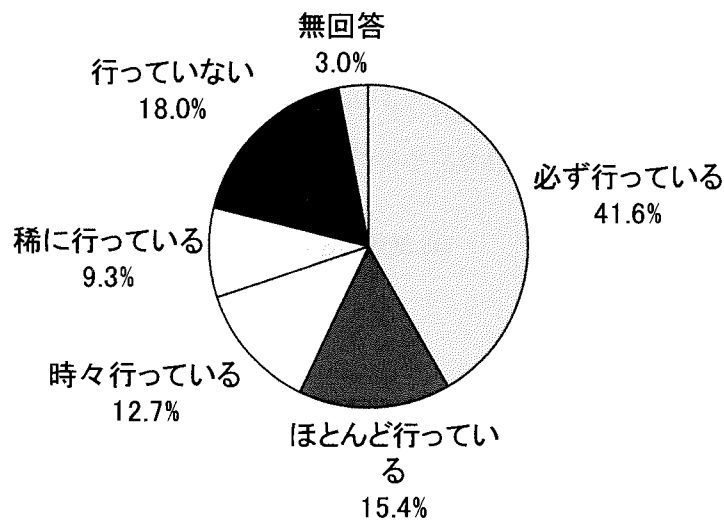
Q7-5 インテークの段階で利用者の医療ニーズを把握しているか
(n=1110)



6) 新規利用者の初回利用時の医師による面談（サービス担当者会議に準じるような家族面接）を行っているか

新規利用者の初回利用時の医師による面談を行っているかについてみると、「必ず行っている」施設が41.6%と4割以上を占める。一方、「行っていない」施設は18.0%となっている。

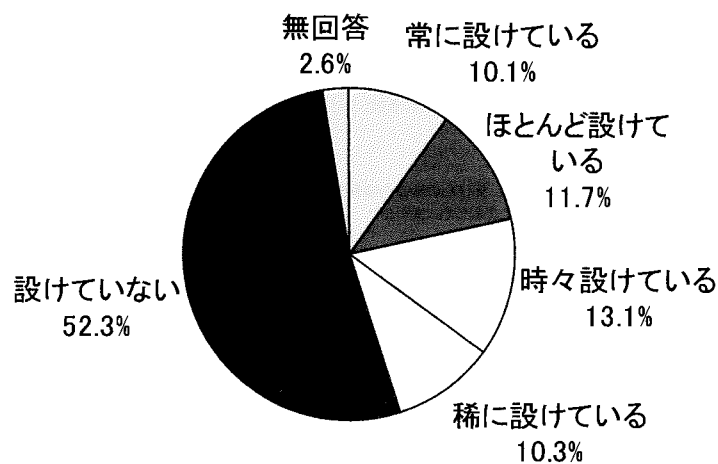
Q7-6 新規利用者の初回利用時の医師による面談を行っているか
(n=1110)



7) 緊急入所（ショートステイを含む）等に対応するために空床を常に設けているか

緊急入所等に対応するために空床を常に設けているかについてみると、「常に設けている」施設が10.1%と全体の約1割を占める。また、「ほとんど設けている」(11.7%)、「時々設けている」(13.1%)とあわせると、34.9%と3分の1以上を占めている。

Q7-7 緊急入所等に対応するために空床を常に設けているか
(n=1110)

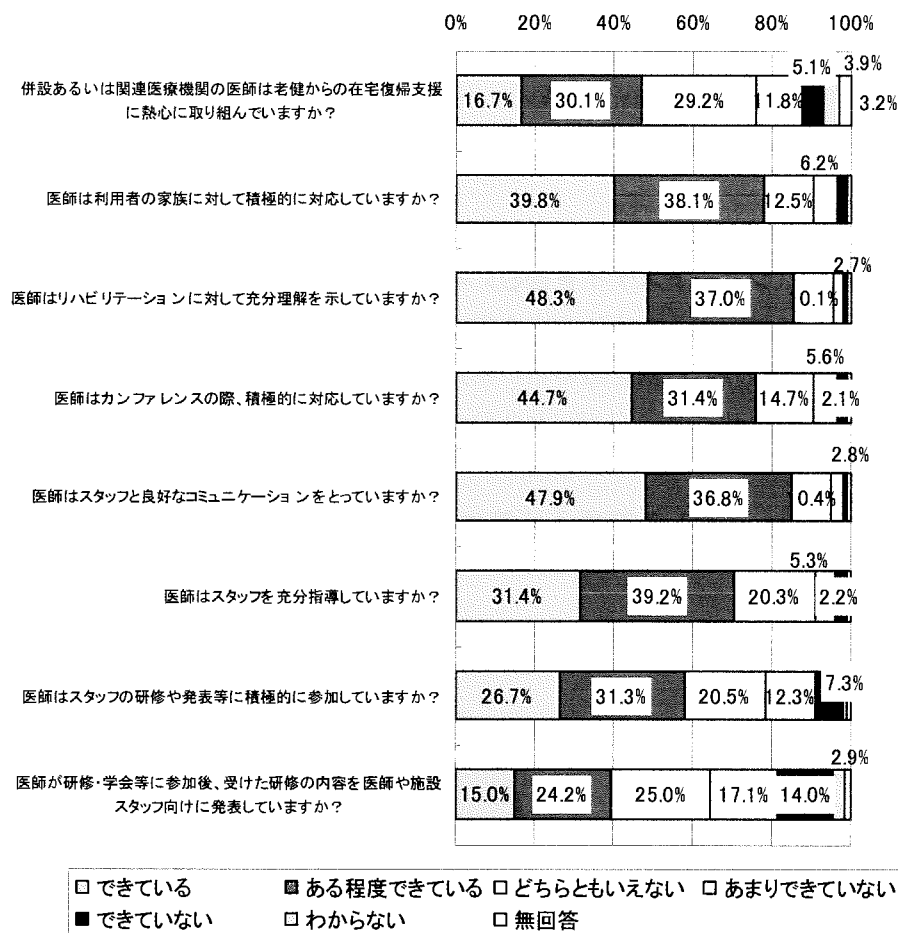


(5) 施設の医師について

①施設の医師の状況

施設の医師の状況について、「できている」および「ある程度できている」を合わせた割合で見ると、「リハビリテーションに対して充分理解を示している」(85.3%)、「スタッフと良好なコミュニケーションをとっている」(84.7%)、「利用者の家族に対して積極的に対応している」(77.9%)等が高くなっている。一方、「研修・学会等に参加後、受けた研修の内容を医師や施設スタッフ向けに発表している」(39.2%)、「併設あるいは関連医療機関の医師は老健からの在宅復帰支援に熱心に取り組んでいる」(46.8%)は、リハビリテーションに対する理解やコミュニケーション等と比較すると、できている割合がやや低くなっている。

Q8.施設の医師について n=1110



※グラフ内の2%未満の数値は、文字が重なるため非表示としている

②施設の医師の研修参加状況

施設の医師の研修参加状況をみると、「学会の年次集会」への年間の参加回数が平均 0.9 回、同様に「社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会」は 0.7 回、「社団法人日本老年医学会が主催する研修会」は 0.2 回、「その他の研修会・学会」が 3.3 回となっている。

医師の H20 年 11 月～H21 年 10 月の 1 年間の以下の研修参加回数

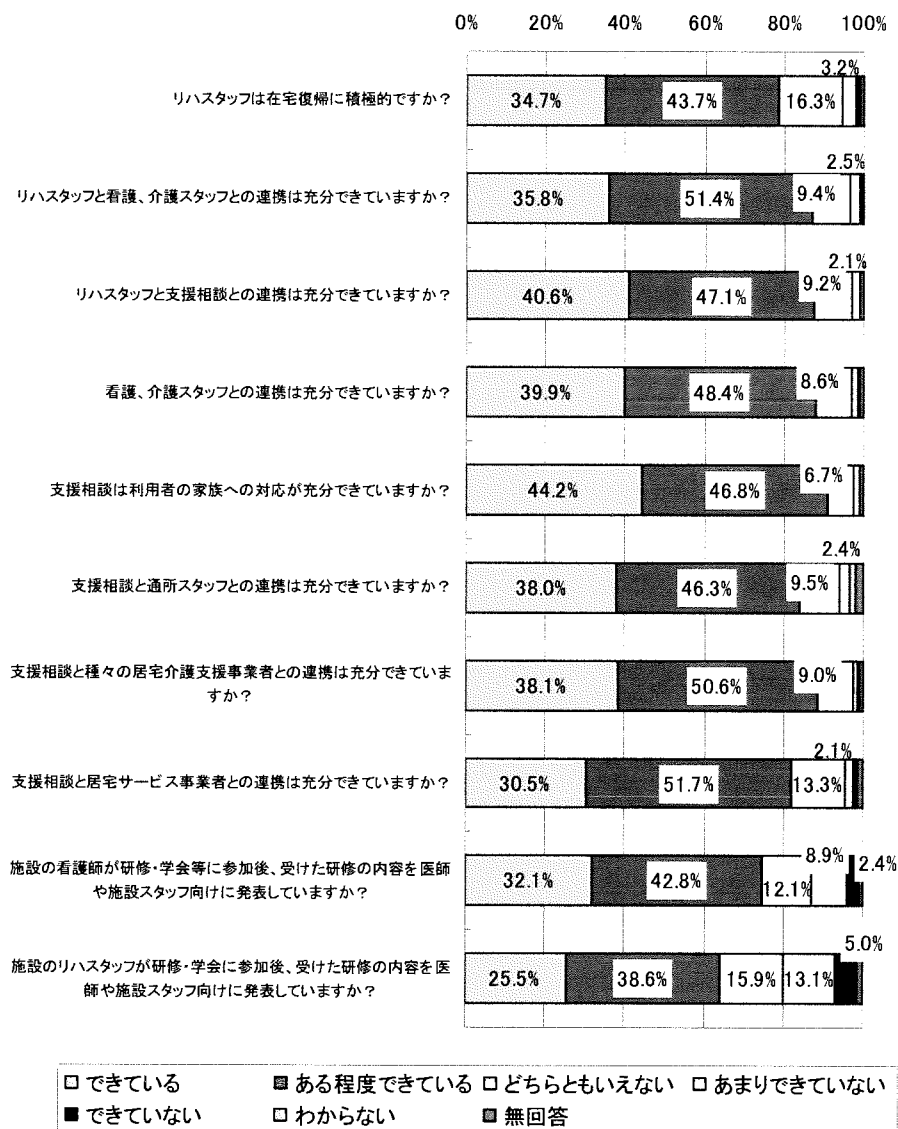
		n	参加回数（平均）
1	学会の年次集会	848	0.9 回
2	社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会	904	0.7 回
3	社団法人日本老年医学会が主催する研修会	808	0.2 回
4	その他の研修会・学会	921	3.3 回

(6) 施設の医師以外のスタッフについて

①施設の医師以外のスタッフの状況

施設の医師以外のスタッフの状況について、「できている」および「ある程度できている」を合わせた割合でみると、「支援相談は利用者の家族への対応が充分できている」割合が91.0%と9割以上を占めている。

Q9.施設の医師以外のスタッフについて n=1110



※グラフ内の2%未満の数値は、文字が重なるため非表示としている

②施設の医師以外のスタッフの研修参加状況

施設の看護師の研修参加状況をみると、「社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会」への年間の参加回数が平均 1.4 回、同様に「社団法人日本老年医学会が主催する研修会」は 0.1 回、「その他の研修会・学会」が 7.8 回となっている。

看護師の H20 年 11 月～H21 年 10 月の 1 年間の研修参加回数

	n	参加回数（平均）
社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会	969	1.4 回
社団法人日本老年医学会が主催する研修会	871	0.1 回
その他の研修会・学会	1035	7.8 回

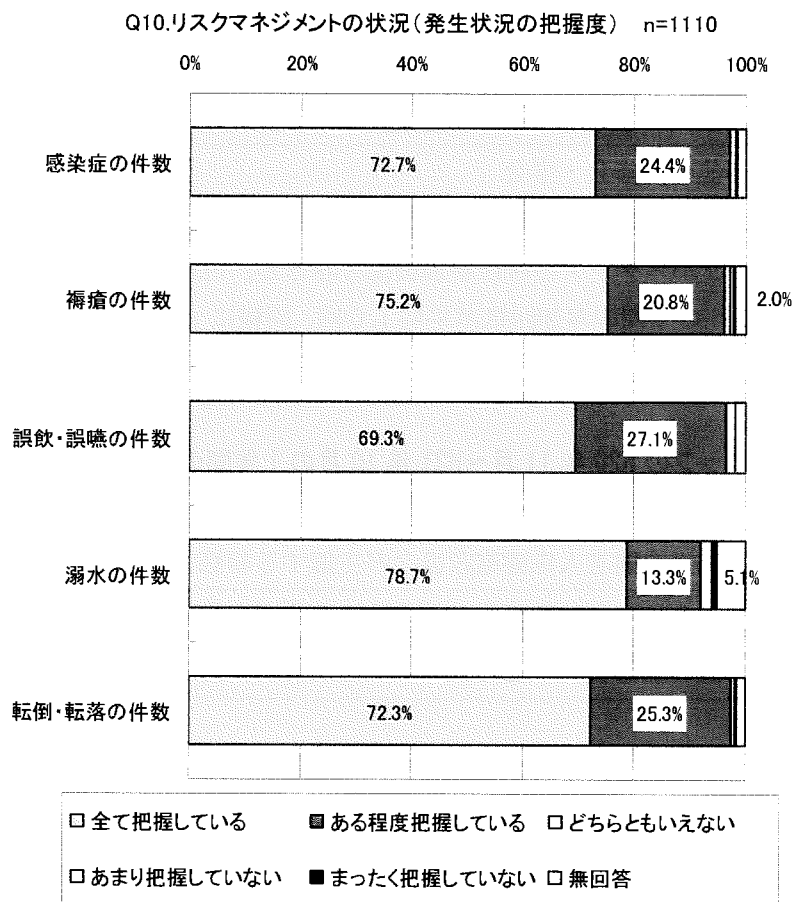
施設のリハスタッフの研修参加状況をみると、「社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会」への年間の参加回数が平均 1.0 回、同様に「社団法人日本老年医学会が主催する研修会」は 0.1 回、「その他の研修会・学会」が 5.3 回となっている。

リハスタッフの H20 年 11 月～H21 年 10 月の 1 年間の研修参加回数

	n	参加回数（平均）
社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会	964	1.0 回
社団法人日本老年医学会が主催する研修会	861	0.1 回
その他の研修会・学会	1036	5.3 回

(7) リスクマネジメントについて

施設における感染症、褥瘡、誤飲・誤嚥、溺水、転倒・転落の発生状況の把握（平成 21 年 10 月時点）についてみると、「全て把握している」、「ある程度把握している」をあわせると、いずれも 9 割以上の施設において発生件数を把握していることがわかる。



※グラフ内の 2%未満の数値は、文字が重なるため非表示としている

なお、施設において実際に把握されている件数（平成 21 年 10 月時点の平均）をみると、感染症が 2.1 件、褥瘡が 3.9 件、誤飲・誤嚥が 1.2 件、溺水が 0.1 件、転倒・転落が 31.7 件となっている。

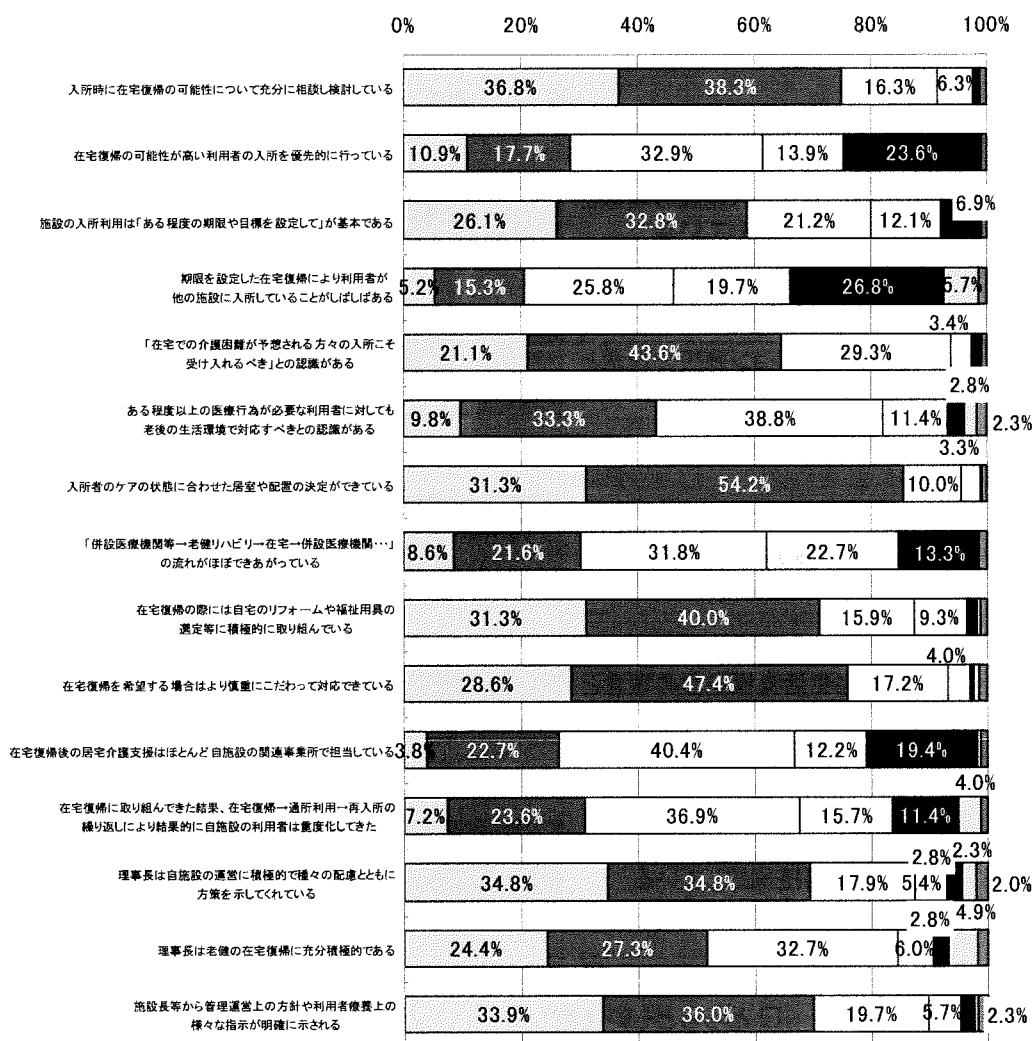
把握している件数

		n	件数 (平均)
1	感染症の件数	800	2.1 件
2	褥瘡の件数	824	3.9 件
3	誤飲・誤嚥の件数	779	1.2 件
4	溺水の件数	876	0.1 件
5	転倒・転落の件数	801	31.7 件

(8) 施設運営上の方針や認識について

施設運営上の方針や認識について、「そのとおりである」と「どちらかといえばそのとおりである」を合わせた割合でみると、「入所者のケアの状態に合わせた居室や配置の決定ができてい
る」が85.5%と最も高く、以下、「在宅復帰を希望する場合はより慎重にこだわって対応できて
いる」(76.0%)、「入所時に在宅復帰の可能性について十分に相談し検討している」(75.1%)、
「在宅復帰の際には自宅のリフォームや福祉用具の選定等に積極的に取り組んでいる」(71.3%)
と続いている。

Q11.施設運営上の方針や認識について n=1110



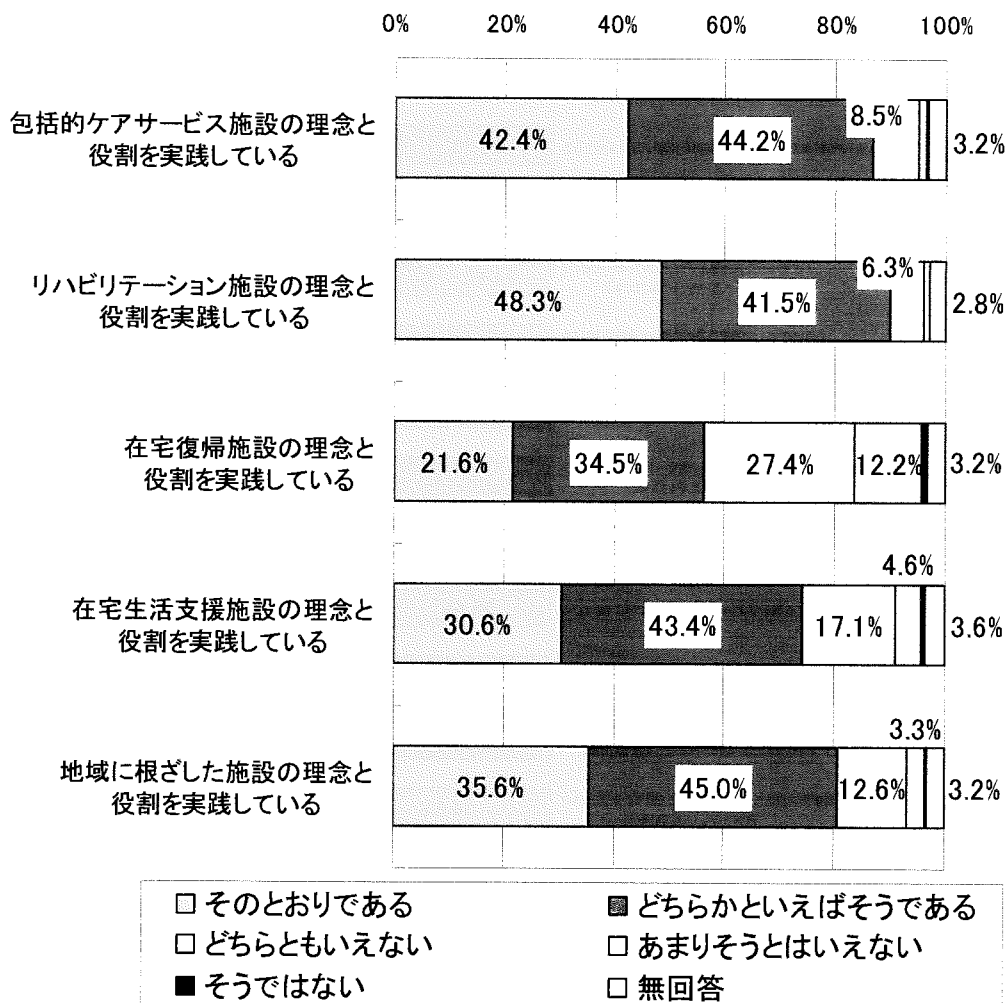
そのとおりである どちらかといえばそうである どちらともいえない
 あまりそうとはいえない そうではない わからない
 無回答

※グラフ内の 2%未満の数値は、文字が重なるため非表示としている

(9) 介護老人保健施設の理念について

施設において、「介護老人保健施設の理念と役割」を理解し、実践していると思うかについて、「そのとおりである」と「どちらかといえばそのとおりである」を合わせた割合でみると、「リハビリテーション施設の理念と役割を実践している」が89.8%、「包括的ケアサービス施設の理念と役割を実践している」が86.7%、「地域に根ざした施設の理念と役割を実践している」が80.6%といずれも8割を超えている。一方、「在宅生活支援施設の理念と役割を実践している」は74.1%、「在宅復帰施設の理念と役割を実践している」は56.1%と、他と比較してやや低くなっている。

Q12.介護老人保健施設の理念について n=1110

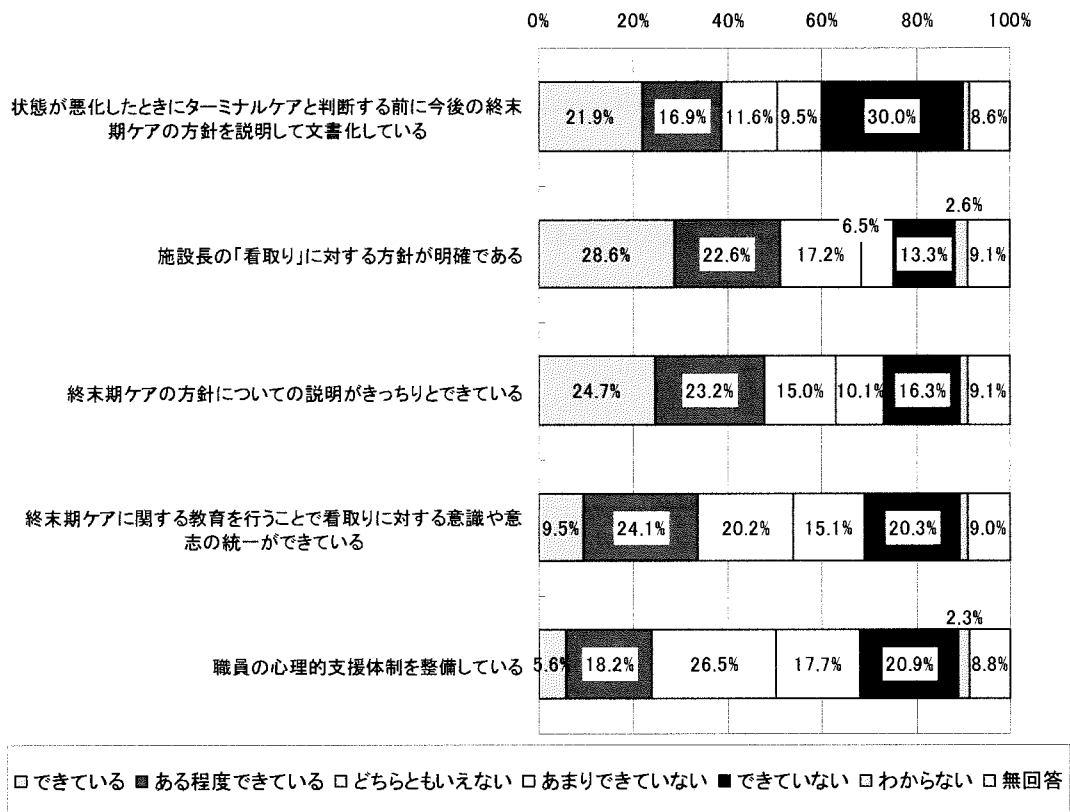


※グラフ内の2%未満の数値は、文字が重なるため非表示としている

(10) 看取りについて

施設における看取りについて、「できている」と「ある程度できている」を合わせた割合でみると、「施設長の「看取り」に対する方針が明確である」が 51.2%、「終末期ケアの方針についての説明がきっちりできている」が 47.9%と、ほぼ半数の施設ができていると回答している。

Q13-2.施設における看取りについて n=1110



※グラフ内の 2%未満の数値は、文字が重なるため非表示としている

なお、平成 21 年 5 月～10 月時の間の死亡者数（平均）をみると、確認できた死亡者数総数は 4.8 人、うち病院転院後死亡者が 3.1 人、自宅帰宅後死亡者が 0.1 人、施設内死亡者が 2.0 人、その他が 0.2 人となっている。

H21 年 5 月～10 月の間の死亡者数

項目	n	人数(平均)
死亡者総数（確認できた人数）	1098	4.8 人
うち 病院転院後死亡	980	3.1 人
うち 自宅帰宅後死亡	982	0.1 人
うち 施設内死亡	991	2.0 人
その他（他の介護保険施設へ移動後、死亡）	957	0.2 人

3. 相関結果

本調査によって得られた集計値をもとに、介護老人保健施設の機能を示すと考えられる項目を洗い出し、その相関をみた。さらに、介護老人保健施設の機能の指標を、①在宅支援関連項目、②多職種性（マンパワー）関連項目、③ターミナルケア関連項目、④訪問関連項目、⑤その他関連項目、の5つに分類してその相関の高いもの（相関係数 0.1 以上、-0.1 以下）の抽出を行った。

(1) 在宅支援関連項目<表 1-(1)>

検定結果	項目	単相関係数	
[**]	Q4-3-2.6ヵ月の延べ新規入所者数	Q4-3-3-1.6ヶ月間延べ退所者数(短期を除く)	0.163
[**]		Q4-3-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.152
[**]		Q6-2-1-3.夜勤職員配置加算(点数)	0.151
[*]		Q4-1-1-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	-0.278
[**]	Q4-3-3-1.6ヶ月間延べ退所者数(短期を除く)	Q4-3-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.240
[**]		Q4-3-2.6ヵ月の延べ新規入所者数	0.163
[**]	Q4-3-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	在宅復帰率(1)	0.409
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.312
[**]		Q4-3-3-1.6ヶ月間延べ退所者数(短期を除く)	0.240
[**]		Q4-3-2.6ヵ月の延べ新規入所者数	0.152
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.124
[*]		Q4-1-1-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	-0.274
[**]	在宅復帰率(1)	Q4-3-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.409
[**]	Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	0.966
[**]		Q5-8.施設内死亡者数	0.120
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	-0.106
[**]		Q5-5.有料老人ホームへの退所者数	-0.111
[**]		Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	-0.117
[**]		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	-0.122
[**]		Q7-1-A.相談件数	-0.130
[**]		Q5-2.グループホームへの退所者数	-0.134
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	-0.172
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	-0.173
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	-0.197
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	-0.206
[**]		Q5-6.医療機関等への退所者数	-0.210
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	-0.260
[**]	Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	Q5-5.有料老人ホームへの退所者数	0.966
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.115
[**]		Q13-1-4.うち施設内死亡	-0.103
[**]		Q5-8.施設内死亡者数	-0.107
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	-0.113
[**]		Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	-0.116
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	-0.120
[**]		Q7-1-A.相談件数	-0.121
[**]		Q5-6.医療機関等への退所者数	-0.144
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	-0.162
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	-0.187
[**]		Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	-0.195
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.201
[**]		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	-0.239

検定結果	項目		単相関係数
[**]	Q5-1. 自宅・実家への在宅復帰者数	Q5-4. ケアハウスへの退所者数	0.551
[**]		Q6-2-13-3. 在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.318
[**]		Q6-2-18-1. リハビリ機能強化加算(人数)	0.300
[**]		Q5-6. 医療機関等への退所者数	0.281
[**]		Q5-3. 他の介護老人福祉施設への退所者数	0.244
[**]		Q5-2. グループホームへの退所者数	0.196
[**]		Q6-2-18-3. リハビリ機能強化加算(人数)	0.172
[**]		Q7-4. 1ヶ月の新規利用者入所前在宅訪問回数	0.167
[**]		Q7-3. 1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.150
[**]		Q7-1-B. インテーク総数	0.141
[**]		Q13-1-3. うち自宅帰宅後死亡	0.135
[**]		Q4-1-2-5. 平均要介護度(通所リハビリ)	0.127
[**]		Q4-3-3-2. 退所者中、在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.124
[**]		Q4-1-2-6. 要介護4,5利用者割合(通所リハビリ)	0.109
[**]		Q7-1-A. 相談件数	0.103
[**]		在宅復帰率(1)	0.085
[**]		Q4-3-5. 平均在所日数(短期を含む)	-0.201
[**]		Q4-3-4. 平均在所日数(短期を除く)	-0.206
[**]	Q6-2-13-3. 在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	Q6-2-14-3. 在宅復帰支援機能加算(II)(人数)	0.431
[**]		Q6-2-25-1. 短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.344
[**]		Q5-2. グループホームへの退所者数	0.105
[*]		Q13-1-2. うち病院転院後死亡	0.101
[**]	Q6-2-14-3. 在宅復帰支援機能加算(II)(人数)	Q5-5. 有料老人ホームへの退所者数	0.167
[**]		Q6-2-25-1. 短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.165
[**]	Q6-2-18-3. リハビリ機能強化加算(人数)	Q13-1-3. うち自宅帰宅後死亡	0.347
[**]		Q5-1. 自宅・実家への在宅復帰者数	0.172
[**]		Q6-2-25-1. 短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.165
[**]		Q6-2-27-3. 認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.152
[**]		Q6-2-13-3. 在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.133
[**]		Q4-1-2-5. 平均要介護度(通所リハビリ)	0.104
[**]		Q4-3-4. 平均在所日数(短期を除く)	-0.106
[**]		Q4-3-5. 平均在所日数(短期を含む)	-0.116
[**]	Q6-2-25-3. 短期集中リハビリ実施加算(人数)	Q6-2-25-1. 短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.626
[**]		Q7-4. 1ヶ月の新規利用者入所前在宅訪問回数	0.142
[**]	Q6-2-27-3. 認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	Q6-2-18-1. リハビリ機能強化加算(人数)	0.268
[**]		Q6-2-1-3. 夜勤職員配置加算(点数)	0.197
[**]		Q6-2-18-3. リハビリ機能強化加算(人数)	0.152
[**]		Q9-2. 看護師の研修会参加回数	0.109
[**]		Q6-2-17-3. 緊急時施設療養費(人数)	0.105
[**]		Q8-2. 医師の研修会参加回数	0.100
[*]	Q11-2. 在宅復帰の可能性の高い利用者の入所を優先	Q4-1-2-8. 要介護4,5利用者割合(訪問リハビリ)	0.113
[*]		Q4-1-2-7. 平均要介護度(訪問リハビリ)	0.109

(2) 多職種性 (マンパワー) 関連項目<表 1-(2)>

検定結果	項目	単相関係数	
**	Q3-1-1-2.医師:実人数	Q7-1-A.相談件数	0.116
**		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.176
**	Q3-1-4-2.理学療法士合計:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.134
**		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.110
**		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.104
**		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.105
**		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	-0.119
**		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.148
**	Q3-1-4-4.理学療法士の通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.156
**		Q4-1-1-4.要介護4,5利用者割合(短期入所)	0.115
**		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.152
**	Q3-1-4-6.理学療法士の訪問リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.163
**		Q4-1-1-3.平均要介護度(短期入所)	0.130
**		在宅復帰率(1)	0.125
**		Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.109
**		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.107
**		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.104
**		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	0.101
**	Q3-1-5-2.作業療法士合計:実人数【H21/10/1】	Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.111
**		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.158
**		Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.157
**	Q3-1-5-4.作業療法士の通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.185
**		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.142
**		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.136
**		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.113
**	Q3-1-5-6.作業療法士の訪問リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q4-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.159
**		Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.156
**		在宅復帰率(1)	0.123
**		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.120
**		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	0.116
**		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.108
*		Q4-1-1-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	-0.270
**	Q3-1-6-2.言語聴覚士合計:実人数【H21/10/1】	Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.118
**		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.113
**		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.107
**		Q7-1-B.インテーク総数	0.104
**	Q3-1-6-4.言語聴覚士の通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.119
**		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.117
**		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.110
**		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	0.104
*	Q3-1-6-6.言語聴覚士の訪問リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q4-1-2-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	0.118
**	Q3-1-7-2.他関連リハスタッフ合計:実人数【H21/10/1】	Q6-2-25-3.短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.132
*		Q4-1-2-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	-0.260
**	Q3-1-7-4.他関連リハスタッフ通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-25-3.短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.130
*		Q4-1-2-8.要介護4,5利用者割合(訪問リハビリ)	-0.255
**		Q4-1-2-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	-0.385

検定結果	項目	単相関係数	
[**]	Q3-1-7-6.他関連リハスタッフ訪問リハビリ:実人数	Q13-1-4.うち施設内死亡	0.363
[**]		Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.315
[**]		Q13-1-1.死亡者総数	0.205
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.202
[**]		Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	0.195
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.169
[**]		Q5-9.その他退所者数	0.151
[**]		Q4-3-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.105
[*]		Q4-1-2-6.要介護4,5利用者割合(通所リハビリ)	0.101
[*]		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.102
[**]	Q3-1-T-2.理学・作業・言語合計:実人数【H21/10/1】	Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.202
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.194
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.152
[**]		Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.146
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.140
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.116
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.110
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.106
[**]		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.114
[**]		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	-0.130
[**]	Q3-1-T-4.理学・作業・言語通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.185
[**]		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.181
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.157
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.155
[**]		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.107
[**]	Q3-1-T-6.理学・作業・言語訪問リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.128
[**]		Q4-3-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.114
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.101
[**]	Q3-1-8-5.正看護師率	Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.126
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.103
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.101
[**]	Q3-1-8-2.看護職:実人数	Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.168
[**]		Q13-1-1.死亡者総数	0.120
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.113
[**]		Q6-2-11-2.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.105
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.103
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.103
[**]		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.101
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.100
[**]		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.112
[**]	Q3-1-9-2.介護職:実人数	Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.185
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.148
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.130
[**]		Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.114
[**]		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.113
[**]		Q5-2.グループホームへの退所者数	0.109
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.104
[**]		Q5-9.その他退所者数	0.103
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.114
[**]		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	-0.135
[**]	Q3-1-9-4.介護福祉士:実人数	Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.222
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.190
[**]		Q9-3.リハスタッフの研修会参加回数	0.167
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.158
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.123
[**]		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.115
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.113
[**]		Q6-2-1-2.夜勤職員配置加算(点数)	0.101
[**]		Q4-1-1-1.平均要介護度(入所)	0.101
[**]		Q9-2.看護師の研修会参加回数	0.101

検定結果	項目	単相関係数	
[**]	Q3-1-9-6.ホームヘルパー2級:実人数	Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.122
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.119
[**]		Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	0.115
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.113
[**]		Q13-1-1.死亡者総数	0.100
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.115
[**]	Q3-1-10-4.社会福祉士:実人数	Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.187
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.169
[**]		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.160
[**]		Q7-1-A.相談件数	0.125
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.119
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.116
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.111
[**]	Q3-1-11-2.栄養士:実人数	Q4-3-3-2.退所者中,在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	0.123
[**]		Q6-2-1-2.夜勤職員配置加算(点数)	-0.112
[**]		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.271
[**]	Q3-1-11-4.管理栄養士:実人数	Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.158
[**]		Q13-1-1.死亡者総数	0.157
[**]		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.121
[**]		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.117
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.100
[**]		Q6-2-1-2.夜勤職員配置加算(点数)	-0.102
[**]		Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.330
[**]	Q3-1-12-2.介護支援専門員取得者数:実人数	Q-1-1-3.入所定員:H21	-0.121
[**]		Q6-2-27-2.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.170
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.163
[**]		Q5-5.有料老人ホームへの退所者数	0.142
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.127
[**]	Q3-1-12-4.うち兼任:実人数	Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.115
[**]	Q3-1-12-6.うち兼務:実人数	Q13-1-4.うち施設内死亡	0.165
[**]		Q5-8.施設内死亡者数	0.146
[**]		Q6-2-12-2.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.122
[**]		Q6-2-11-2.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.121
[**]		Q5-5.有料老人ホームへの退所者数	0.117
[**]		Q9-2.看護師の研修会参加回数	0.108
[**]		Q13-1-1.死亡者総数	0.102
[*]		Q4-1-1-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	-0.242

(3) ターミナルケア関連項目<表 1-(3)>

検定結果	項目	単相関係数	
**	Q5-7.医療機関退所の内ターミナルでの退所者数	Q7-4.1ヶ月の新規利用者入所前在宅訪問回数	0.105
**	Q5-8.施設内死亡者数	Q13-1-4.うち施設内死亡	0.880
**		Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.498
**		Q13-1-1.死亡者総数	0.485
**		Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.442
**		Q4-1-2-2.要介護4,5利用者割合(入所)	0.261
**		Q4-1-2-1.平均要介護度(入所)	0.249
**		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(1)(人数)	0.177
**		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	0.120
**		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	0.115
**		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	-0.104
**		Q13-1-2.うち病院転院後死亡	-0.135
**		Q5-6.医療機関等への退所者数	-0.249
**	Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)	Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.853
**		Q5-8.施設内死亡者数	0.442
**		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.406
**		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(1)(人数)	0.221
**		Q13-1-1.死亡者総数	0.211
**		Q6-2-17-3.緊急時施設療養費(人数)	0.202
**		Q5-2.グループホームへの退所者数	0.109
**		Q5-5.有料老人ホームへの退所者数	0.103
*		Q4-1-2-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	-0.257
**	Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.853
**		Q5-8.施設内死亡者数	0.498
**		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.463
**		Q13-1-1.死亡者総数	0.274
**		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(1)(人数)	0.236
**		Q6-2-17-3.緊急時施設療養費(人数)	0.120
**		Q6-2-25-1.短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.116
**		Q4-1-2-1.平均要介護度(入所)	0.113
**		Q4-1-2-2.要介護4,5利用者割合(入所)	0.112
**		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	0.102
**		Q5-5.有料老人ホームへの退所者数	0.100
**		Q5-6.医療機関等への退所者数	-0.123
**	Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(有無)	Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.793
**		Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.640
**		Q5-8.施設内死亡者数	0.195
**		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.169
**	Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(有無)	Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.748
**		Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.566
**		Q5-8.施設内死亡者数	0.254
**		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.207
**		Q13-2-1.ターミナルケアと判断前に今後の週末ケア方針説明	0.117
**	Q13-1-1.死亡者総数	Q13-1-2.うち病院転院後死亡	0.702
**		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.564
**		Q5-8.施設内死亡者数	0.485
**		Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.407
**		Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.274
**		Q4-1-2-1.平均要介護度(入所)	0.227
**		Q4-1-2-2.要介護4,5利用者割合(入所)	0.212
**		Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.211
*		Q4-1-1-3平均要介護度(短期入所)	0.104

検定結果	項目	単相関係数	
[**]	Q13-1-2.うち病院転院後死亡	Q13-1-1.死亡者総数	0.702
[**]		Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.232
[**]		Q5-6.医療機関等への退所者数	0.210
[*]		Q6-2-13-1.在宅復帰支援機能加算(1)(人数)	0.101
[**]		Q5-8.施設内死亡者数	-0.135
[**]	Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	Q13-1-1.死亡者総数	0.407
[**]		Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	0.347
[**]		Q13-1-2.うち病院転院後死亡	0.232
[**]		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	0.162
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.141
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.135
[**]		Q4-1-1-3.平均要介護度(短期入所)	0.126
[**]		Q4-1-1-4.要介護4,5利用者割合(短期入所)	0.118
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.117
[**]		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.107
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.103
[**]	Q13-1-4.うち施設内死亡	Q5-8.施設内死亡者数	0.880
[**]		Q13-1-1.死亡者総数	0.564
[**]		Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.463
[**]		Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.406
[**]		Q4-1-2-2.要介護4,5利用者割合(入所)	0.241
[**]		Q4-1-2-1.平均要介護度(入所)	0.234
[**]		Q4-1-1-2.要介護4,5利用者割合(入所)	0.212
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(1)(人数)	0.186
[**]		Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.107
[**]		Q5-6.医療機関等への退所者数	-0.264
[**]	Q13-2-1.ターミナルケアと判断前に今後の週末ケア方針説明	Q5-8.施設内死亡者数	0.128
[**]		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.117
[**]		Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.117
[**]	Q13-2-3.週末ケア方針説明がきっちりできている	Q5-8.施設内死亡者数	0.130
[**]		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.121
[**]	Q13-2-4.看取りに対する意識や意思統一ができている	Q5-8.施設内死亡者数	0.142
[**]		Q13-1-4.うち施設内死亡	0.129

(4) 訪問関連項目<表 1-(4)>

検定結果	項目		単相関係数
[**]	Q4-1-2-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	Q4-1-2-8.要介護4,5利用者割合(訪問リハビリ)	0.839
[**]		Q4-1-1-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	0.507
[*]		Q4-1-2-3.平均要介護度(短期入所)	0.284
[*]		Q4-1-2-4.要介護4,5利用者割合(短期入所)	0.279
[*]		Q4-1-2-5.平均要介護度(通所リハビリ)	0.266
[*]		Q-1-1-3.入所定員:H21	0.256
[*]		Q4-1-2-6.要介護4,5利用者割合(通所リハビリ)	0.237
[*]		Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	-0.257
[**]	Q4-1-2-8.要介護4,5利用者割合(訪問リハビリ)	Q4-1-2-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	0.839
[**]		Q4-1-1-8.要介護4,5利用者割合(訪問リハビリ)	0.518
[**]		Q4-1-1-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	0.444
[**]		Q4-1-1-6.要介護4,5利用者割合(通所リハビリ)	0.304
[*]		Q4-1-2-3.平均要介護度(短期入所)	0.277
[*]		Q4-1-1-5.平均要介護度(通所リハビリ)	0.221
[**]	Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	Q7-1-B.インテーク総数	0.599
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.349
[**]		Q7-1-A.相談件数	0.294
[**]		Q7-4.1ヶ月の新規利用者入所前在宅訪問回数	0.259
[**]		Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	0.233
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.150
[**]		Q6-2-18-1.リハビリ機能強化加算(人数)	0.118
[**]		Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.103
[**]		Q5-9.その他退所者数	0.103
[**]		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	-0.144
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.172
[**]	Q7-4.1ヶ月の新規利用者入所前在宅訪問回数	Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.259
[**]		Q7-1-B.インテーク総数	0.188
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.167
[**]		Q6-2-25-3.短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.142
[**]		Q5-7.医療機関退所の内ターミナルでの退所者数	0.105
[**]		Q5-2.グループホームへの退所者数	0.103

(5) その他項目<表 1-(5)>

検定結果	項目	単相関係数	
[**]	Q6-2-17-3.緊急時施設療養費(人数)	Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)(人数)	0.202
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.147
[**]		Q4-1-1-5.平均要介護度(通所リハビリ)	0.134
[**]		Q4-1-1-6.要介護4,5利用者割合(通所リハビリ)	0.122
[**]		Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	0.120
[**]		Q6-2-27-3.認知症短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.105
[**]	Q7-1-A.相談件数	Q7-1-B.インテーク総数	0.530
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.294
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.276
[**]		Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	0.144
[**]		Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.143
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.103
[**]		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	-0.113
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.130
[**]	Q7-1-B.インテーク総数	Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.599
[**]		Q7-1-A.相談件数	0.530
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.387
[**]		Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	0.362
[**]		Q7-1-C.インテーク時の受け入れ拒否件数	0.199
[**]		Q7-4.1ヶ月の新規利用者入所前在宅訪問回数	0.188
[**]		Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	0.141
[**]		Q13-1-3.うち自宅帰宅後死亡	0.141
[**]		Q5-2.グループホームへの退所者数	0.113
[**]		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	-0.162
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.197
[**]	Q7-1-D.判定会時の受け入れ拒否件数	Q7-1-B.インテーク総数	0.362
[**]		Q5-3.他の介護老人福祉施設への退所者数	0.297
[**]		Q7-3.1ヶ月の新規利用希望面談回数	0.233
[**]		Q7-1-C.インテーク時の受け入れ拒否件数	0.218
[**]		Q7-1-A.相談件数	0.144
[**]		Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	-0.107
[**]		Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	-0.117
[**]	Q7-5.インテーク段階の利用者の医療ニーズの把握	Q4-1-1-7.平均要介護度(訪問リハビリ)	0.127

4. まとめ

介護老人保健施設の機能に関連した要因の相関分析

今後求められる介護老人保健施設の機能として、以下の項目を想定した。

- 1、在宅支援関連項目
- 2、多職種性（マンパワー）関連項目
- 3、ターミナルケア（看取り）関連項目
- 4、訪問関連項目
- 5、その他の項目

全調査結果と、上記各項目と相関関係（相関関係数 0.1 以上 0.1 以下）は表 1-(1)~(5)のとおりであった。

さらに、表 1 の中から在宅復帰支援機能加算（1）実人数をキーワードとして絞込みを行った結果が表 2 である。（在宅復帰支援機能加算の実人数とは、施設から在宅へ退所した利用者の人数ではなく、加算要件を満たす算定月において施設に入所している利用者の人数である）

特に重要と思われることは、以下のとおりである。

特に重要と思われることは、以下のとおりである。

- 1、在宅復帰支援機能加算（1）の実人数と負の相関がある項目。
 - ・ 平均在所日数（短期を除く）
 - ・ 平均在所日数（短期を含む）
- 2、在宅復帰支援機能加算（1）の実人数と正の相関がある項目。
 - ・ 短期集中リハビリ実施加算（人数）
 - ・ 理学、作業、言語療法士の実人数
 - ・ 看護職の実人数
 - ・ 介護職の実人数
 - ・ 介護支援専門員の実人数
 - ・ 施設内死亡者数
 - ・ ターミナルケア加算（1）
 - ・ 緊急時施設療養費の実人数
 - ・ 相談件数

A 群 在宅復帰支援機能加算（1）実人数が多い施設

B 群 在宅復帰支援機能加算（1）実人数が少ない施設

とすると、A 群は B 群に比べ

- ・ 職員をより多く雇用している。

- ・ 短期集中リハビリ、認知症短期集中リハビリを行っている。
- ・ 緊急時施設療養費の実人数が多いことから、施設で医療を提供している。
- ・ 看取りを行っている。
- ・ 利用相談をより多く受けている。

また、B群はA群と比べ

- ・ 平均在所日数が長い。

以上のような結果となった。

表2 在宅復帰機能支援加算(1)実人数をキーワードとした相関(相関係数 0.1 以上 -0.1 以下)

■在宅支援関連項目【0.1以上 or -0.1以下】

検定結果	項目		単相関係数
[**]	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	Q6-2-14-3.在宅復帰支援機能加算(II)(人数)	0.431
[**]	Q6-2-14-3.在宅復帰支援機能加算(II)(人数)	Q6-2-13-1.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.431
[**]	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	Q6-2-25-1.短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.344
[**]	Q5-1.自宅・実家への在宅復帰者数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.318
[**]	Q4-3-3-2.退所者中、在宅生活1ヶ月以上継続見込み確認	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.312
[**]	Q6-2-14-3.在宅復帰支援機能加算(II)(人数)	Q5-5.有料老人ホームへの退所者数	0.167
[**]	Q6-2-14-3.在宅復帰支援機能加算(II)(人数)	Q6-2-25-1.短期集中リハビリ実施加算(人数)	0.165
[**]	Q6-2-18-3.リハビリ機能強化加算(人数)	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.133
[**]	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	Q5-2.グループホームへの退所者数	0.105
[*]	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	Q13-1-2.うち病院転院後死亡	0.101
[**]	Q4-3-5.平均在所日数(短期を含む)	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	-0.120
[**]	Q4-3-4.平均在所日数(短期を除く)	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	-0.173

■多職種性(マンパワー)関連項目【0.1以上 or -0.1以下】

検定結果	項目		単相関係数
[**]	Q3-1-9-4.介護福祉士:実人数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.190
[**]	Q3-1-12-2.介護支援専門員取得者数:実人数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.163
[**]	Q3-1-4-4.理学療法士の通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.156
[**]	Q3-1-T-4.理学・作業・言語通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.155
[**]	Q3-1-T-2.理学・作業・言語合計:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.152
[**]	Q3-1-9-2.介護職:実人数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.148
[**]	Q3-1-4-2.理学療法士合計:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.134
[**]	Q3-1-10-4.社会福祉士:実人数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.116
[**]	Q3-1-5-4.作業療法士の通所リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.113
[**]	Q3-1-5-6.作業療法士の訪問リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.108
[**]	Q3-1-4-6.理学療法士の訪問リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.107
[**]	Q3-1-8-2.看護職:実人数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.103
[**]	Q3-1-T-6.理学・作業・言語訪問リハビリ:実人数【H21/10/1】	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.101

■ターミナルケア関連項目【0.1以上 or -0.1以下】

検定結果	項目		単相関係数
[**]	Q6-2-12-3.ターミナルケア加算(2)(人数)	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.236
[**]	Q6-2-11-3.ターミナルケア加算(1)	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.221
[**]	Q13-1-4.うち施設内死亡	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.186
[**]	Q5-8.施設内死亡者数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.177
[*]	Q13-1-2.うち病院転院後死亡	Q6-2-13-1.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.101

■その他項目【0.1以上 or -0.1以下】

検定結果	項目		単相関係数
[**]	Q6-2-17-3.緊急時施設療養費(人数)	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.147
[**]	Q7-1-A.相談件数	Q6-2-13-3.在宅復帰支援機能加算(I)(人数)	0.143

在宅復帰支援機能加算（１）実人数は、今回の統計処理では施設規模の処理がなされていない。仮に大規模施設で年間退所者が３人で、うち在宅に戻った退所者が２人であった場合 150 人全員が在宅復帰支援加算（１）実人数となってしまうことも考えられる。また、看護、介護、リハビリ職員の実人数も同様で、基準人員が大規模になれば多くなるのであるから、実人数が多いということも考えられる。今後さらに多因子解析、回帰分析など、更なる統計処理が必要である。

ただし、

- ・ 緊急時施設療養費の実人数が多いこと。
- ・ ターミナルケア加算（１）算定が多いこと
- ・ 平均在所日数の長短

は、施設規模に左右されないので、老健の機能として有効な指標と考えられる。

今回の調査結果から、介護老人保健施設が果たすべき役割は、「在宅生活支援」ということが言えるのではないだろうか。

加えて、「在宅生活支援」に必要な機能として以下のことがあげられる。

- ・ リハビリテーションによる ADL、認知機能の維持、改善を図る。
- ・ 多職種協働によって早期に在宅生活に戻す（平均在所日数の短縮）。
- ・ 利用者の特性を勘案しながら最適な療養、医療環境を提供する。
- ・ 利用開始から終末期、看取りまで一貫したサービス提供を行う。
- ・ より多くの利用者を受け入れる（相談件数増加）ことで、地域連携を図る。

このような機能を維持、発展させていくには、

- ・ 現在の基準人員以上に各種人員を増やすこと
- ・ 人材の教育
- ・ 各種専門職の多職種協働を促すシステム

などに対して、現在は多分に各施設の自助努力に依拠しているが、今後は上述したような老健の機能に対して適切な評価が欠かせないと考える。

以上、調査結果から今後、地域、社会から求められる介護老人保健施設の機能について考察した。

また、今回の調査は施設を対象として行った。サービス提供側に対する調査であり、今後は、利用者自身や家族が、老健に求める機能。在宅介護に対する認識や達成感。心理状態。看取り後の満足感など、サービス利用側に立った調査を行う必要があると考える。

第 3 章 資料編

調査票

「介護老人保健施設の機能を示す情報とこれに関連した要因に関する調査」

～ 実施要綱 及び 調査票～

～実施要綱～

1. 調査の目的

介護老人保健施設は、利用者のニーズの多様性に対応するための多機能を持っていることが特徴です。しかし、その中でも在宅生活支援機能等に対する評価は適確であるとは言い難い現状があります。

そこで本調査では、介護老人保健施設のアウトカム(アウトカム:在宅復帰率等)や介護老人保健施設の在り方(運営理念と現状認識、各種サービス提供力等)等を調査し、地域ケアにおける介護老人保健施設の機能を総合的に評価するのにふさわしい情報を選定することを目的としております。

2. 調査対象施設

平成 21 年 11 月現在の社団法人全国老人保健施設協会正会員施設。

3. 調査回答記入者

各施設の事務長又は師長等をご記入くださいますようお願い申し上げます。

4. 調査回答締め切り日

平成 22 年 1 月 8 日(金)まで

※同封の返信用封筒にて、社団法人全国老人保健施設協会事務局まで、ご返信くださいますようお願い申し上げます。

5. その他

ご回答いただきました個別のデータは非公開とし、本調査の目的以外には使用いたしません。

6. 本件照会先

社団法人全国老人保健施設協会

業務部業務第一課 担当: 伊藤(イトウ)、中島(ナカジマ)

〒105-0014 東京都港区芝 2-1-28 成旺ビル 7 階

TEL:03-3455-4165 FAX:03-3455-4172

メールアドレス:nakajimak@roken.or.jp

**介護老人保健施設の機能を示す情報とこれに関連した要因に関する調査
～ 調査票 ～**

都道府県名		施設名	
記入者役職		記入者名	

1. 施設の背景

1	定員(平成20年10月1日時点)	入所定員	人	通所定員	人
	定員(平成21年10月1日時点)	入所定員	人	通所定員	人
2	併設・母体医療機関	1. 病院 2. 有床診療所 3. 無床診療所 4. なし			
3	併設・母体が病院時の総病床数	1. 200床以上 2. 199-100床 3. 99-50床 4. 49床以下			
4	併設・母体の精神科の有無	1. あり 2. なし			

2. 併設や関連のサービスの有無（あてはまるものに○を付けてください）

		1. あり	0. なし
1	介護老人保健施設（自施設除く）	1	0
2	介護療養型医療施設	1	0
3	介護老人福祉施設	1	0
4	ケアハウス	1	0
5	ケア付き住宅（有料老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅・・・）等	1	0
6	グループホーム	1	0
7	通所リハビリ	1	0
8	通所介護	1	0
9	地域包括支援センター	1	0
10	在宅介護支援センター	1	0
11	居宅介護支援事業所	1	0
12	訪問看護（訪問看護ステーション、医療機関等を含む）	1	0
13	訪問介護	1	0
14	訪問リハビリ	1	0
15	在宅療養支援診療所	1	0
16	併設医療機関からの訪問診療	1	0
17	併設医療機関等での訪問診療での看取り	1	0

3. スタッフ関連情報

3-1. 平成21年10月1日現在の貴施設のスタッフ数（通所・訪問対応スタッフを含む）

	職種	常勤換算	実人数
1	医師	人	人
2	歯科医師	人	人
3	歯科衛生士	人	人
4	理学療法士（入所・通所・訪問）	人	人
	うち通所リハビリ配置スタッフ	人	人
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	人	人

	職種	常勤換算	実人数
5	作業療法士（入所・通所・訪問）	. 人	人
	うち通所リハビリ配置スタッフ	. 人	人
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	. 人	人
6	言語聴覚士（入所・通所・訪問）	. 人	人
	うち通所リハビリ配置スタッフ	. 人	人
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	. 人	人
7	その他リハ関連スタッフ（入所・通所・訪問）	. 人	人
	うち通所リハビリ対応スタッフ	. 人	人
	うち訪問リハビリ対応スタッフ	. 人	人
8	看護職	. 人	人
	うち 准看護師	. 人	人
9	介護職	. 人	人
	うち 介護福祉士	. 人	人
	うち ホームヘルパー2級	. 人	人
10	支援相談	. 人	人
	うち 社会福祉士	. 人	人
11	栄養士	. 人	人
	うち 管理栄養士	. 人	人
12	介護支援専門員取得者数	. 人	人
	うち 専任	. 人	人
	うち 兼務	. 人	人
13	→介護支援専門員1人あたりが受け持っている平均利用者数		人

「常勤換算」 = $\frac{\text{職員の1週間の勤務時間}}{\text{施設が定めている1週間の勤務時間}}$ （小数点第2位を四捨五入）

「実人数」 = 常勤・非常勤、勤務時間を問わず、貴施設で雇用契約のあったスタッフの人数（頭数）

3-2-1. 平成20年10月1日時点の貴施設のリハスタッフ数（通所・訪問対応スタッフを含む）

	職種	常勤換算	実人数
1	理学療法士（入所・通所・訪問）	. 人	人
	うち通所リハビリ配置スタッフ	. 人	人
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	. 人	人
2	作業療法士（入所・通所・訪問）	. 人	人
	うち通所リハビリ配置スタッフ	. 人	人
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	. 人	人
3	言語聴覚士（入所・通所・訪問）	. 人	人
	うち通所リハビリ配置スタッフ	. 人	人
	うち訪問リハビリ配置スタッフ	. 人	人
4	その他リハ関連スタッフ（入所・通所・訪問）	. 人	人
	うち通所リハビリ対応スタッフ	. 人	人
	うち訪問リハビリ対応スタッフ	. 人	人

3-2-2. 平成 22 年以降、貴施設のリハスタッフ (OT・PT・ST) 増員の予定がありますか？
(あてはまるものに○を付けてください)

1	増員を予定しており、現在募集中である。(約 名)
2	現在、増員を検討している。
3	すでに増員したので、今後は増員しない。
4	増員は予定していない。
5	どうしたらよいかわからない。(未定である)

3-3. 貴施設の理事長および施設長について伺います。(平成 21 年 10 月 1 日現在)

下記欄の番号でご記入ください。

1	理事長の所有資格		年齢	歳
2	施設長の所有資格		年齢	歳
所有資格	1. 医師 (1-1 内科・1-2 外科・1-3 精神科・1-4 その他) 2. 歯科医師 3. 歯科衛生士 4. 理学療法士 5. 作業療法士 6. 言語聴覚士 7. 看護師 8. 介護支援専門員 9. 介護福祉士 10. 社会福祉士 11. 社会福祉主事 12. 管理栄養士 13. 栄養士 14. その他			

4. 施設の概要および稼働状況等

4-1-1. 平成 20 年 10 月 1 日時点の利用者の実人数 (介護予防の利用者は含みません)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	左記以外
入所	人	人	人	人	人	人
短期入所療養介護	人	人	人	人	人	人
通所リハビリ	人	人	人	人	人	人
訪問リハビリ	人	人	人	人	人	人

※「入所」には短期入所療養介護を含む。また当日の入退所者を含む。

4-1-2. 平成 21 年 10 月 1 日時点の利用者の実人数 (介護予防の利用者は含みません)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	左記以外
入所	人	人	人	人	人	人
短期入所療養介護	人	人	人	人	人	人
通所リハビリ	人	人	人	人	人	人
訪問リハビリ	人	人	人	人	人	人

※「入所」には短期入所療養介護を含む。また当日の入退所者を含む。

4-2-1. 平成 20 年 10 月 1 日時点の利用者負担の段階 (介護予防の利用者は含みません)

利用者負担段階	第 4 段階	第 3 段階	第 2 段階	第 1 段階
入所	人	人	人	人
短期入所療養介護	人	人	人	人
通所リハビリ	人	人	人	人
訪問リハビリ	人	人	人	人

※「入所」には短期入所療養介護を含む。また当日の入退所者を含む。

4-2-2. 平成 21 年 10 月 1 日時点の利用者負担の段階（介護予防の利用者は含みません）

利用者負担段階	第 4 段階	第 3 段階	第 2 段階	第 1 段階
入所	人	人	人	人
短期入所療養介護	人	人	人	人
通所リハビリ	人	人	人	人
訪問リハビリ	人	人	人	人

※「入所」には短期入所療養介護を含む。また当日の入退所者を含む

4-3. 利用者の状況（6 ヶ月間＝平成 21 年 5 月～10 月、無記載＝平成 21 年 10 月 1 日時点）

1	6 ヶ月間の平均入所稼働率（※）	平均	%
2	6 ヶ月間の延べ新規入所者数（短期を除く）	合計	人
3	6 ヶ月間の延べ退所者数（短期を除く）	人 →うち入所期間が 1 ヶ月以上あり、在宅復帰後、在宅での生活が 1 ヶ月以上継続する見込みであることが確認できた退所者 （※在宅復帰支援機能加算と同様の算出方法） 人	
4	平均在所日数（短期を除く）（※）		日
5	平均在所日数（短期を含む）（※）		日
6	入所待ち数		人
7	6 ヶ月間の短期入所延べ利用者数		人
8	通所登録者数		人
9	通所登録者中の入所経験者数（1 ヶ月以上）		人
10	通所登録者中の短期入所経験者数		人
11	6 ヶ月間の平均通所稼働率	平均	%
12	個室の差額を払える人の割合	約	%（おおよその数値で構いません）

※「稼働率」:6 ヶ月間の平均稼働率を求めるために、まず 1 ヶ月間の平均稼働率を求め、それらの値を使い平均稼働率をご算出ください。なお、1 ヶ月間の平均稼働率は下記の A÷B で求められます。（小数点第 2 位を四捨五入）

A:各月内の延べ入所者数

B:1 月間の延べ入所定員数（定員 100 名で 30 日の場合、100×30 日＝3000 人が延べ入所定員となります）（通所者の場合も算出方法は同様です）

※「平均在所日数」:平成 21 年 10 月 1 日時点での全入所者の在所期間の合計を全入所者数で割ってご算出ください。（小数点第 2 位を四捨五入）

5. 在宅復帰等の動向（平成 21 年 5 月～10 月）

1	元の自宅や家族の実家への在宅復帰者数（短期除く）	人
2	グループホーム（ケア付住宅等を含む）への退所者数	人
3	他の介護老人保健施設等への退所者数	人
4	ケアハウスへの退所者数	人
5	有料老人ホームへの退所者数	人
6	医療機関等への退所者数	人
7	医療機関への退所のうちターミナルでの退所者数	人
8	施設内死亡者数	人
9	その他退所者数	人

6. 貴施設における介護報酬等算定状況等について

6-1. 各サービスにおける総請求点数等をご記入ください。

	種別			平成 20 年		平成 21 年	
				10 月		4 月	10 月
1	入所	当該月の総レセプト請求枚数	(枚)				
2		当該月の総レセプト請求点数	(点)				
3	短期入所	当該月の総レセプト請求枚数	(枚)				
4		当該月の総レセプト請求点数	(点)				
5	通所リハビリ	当該月の通所リハビリテーション実施日数	(日)				
6		当該月の延べ利用者数	(人)				
7		当該月の総レセプト請求枚数	(枚)				
8		当該月の総レセプト請求点数	(点)				
9	訪問リハ	当該月の総レセプト請求枚数	(枚)				
10		当該月の総レセプト請求点数	(点)				

6-2. 加算等算定の状況についてご記入ください

	種別			平成 20 年		平成 21 年	
				10 月		4 月	10 月
1	入所サービス	夜勤職員配置加算	算定点数の合計	(点)			
2		サービス提供体制加算	(I)	算定点数の合計	(点)		
3			(II)	算定点数の合計	(点)		
4			(III)	算定点数の合計	(点)		
5		認知症専門ケア加算	(I)	算定点数の合計	(点)		
6			(II)	算定点数の合計	(点)		
7		初期加算	算定した実人数	(人)			
			算定点数の合計	(点)			
8		リハビリテーションマネジメント加算	算定した実人数	(人)			
			算定点数の合計	(点)			
9		短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)			
			算定点数の合計	(点)			
10		認知症短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)			
			算定点数の合計	(点)			
11		ターミナルケア加算(1) (死亡日前15~30日)	算定した実人数	(人)			
			算定点数の合計	(点)			
12		ターミナルケア加算(2) (死亡日前~14日)	算定した実人数	(人)			
	算定点数の合計		(点)				
13	在宅復帰機能支援加算(I) (50%以上)	算定した実人数	(人)				
		算定点数の合計	(点)				
14	在宅復帰機能支援加算(II) (30%以上)	算定した実人数	(人)				
		算定点数の合計	(点)				
15	認知症情報提供加算	算定した実人数	(人)				
		算定点数の合計	(点)				
16	若年性認知症入所者受入加算	算定した実人数	(人)				
		算定点数の合計	(点)				
17	緊急時施設療養費	算定した実人数	(人)				
		算定点数の合計	(点)				

種別					平成 20 年		平成 21 年	
					10 月	4 月	10 月	
18	短期入所療養介護	リハビリテーション機能強化加算	算定した実人数	(人)				
			算定点数の合計	(点)				
		個別リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)				
			算定点数の合計	(点)				
		認知症行動・心理症状緊急対応加算	算定した実人数	(人)				
			算定点数の合計	(点)				
21	若年性認知症入所者受入加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					
22	緊急短期入所ネットワーク加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					
23	通所リハビリテーション	1 時間以上 2 時間未満の通所リハビリテーション	算定した実人数	(人)				
		算定点数の合計	(点)					
24	リハビリテーションマネジメント加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					
25	短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					
26	個別リハビリテーション加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					
27	認知症短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					
28	若年性認知症利用者受入加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					
29	訪問リハ	リハビリテーションマネジメント加算	算定した実人数	(人)				
			算定点数の合計	(点)				
30	短期集中リハビリテーション実施加算	算定した実人数	(人)					
		算定点数の合計	(点)					

6-3. 平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月まで 1 年間に、(身体及び認知症) 短期集中リハビリテーション実施加算を算定された入所者の状況についてご記入下さい。

1	(身体) 短期集中リハビリテーション実施加算のみを算定した延べ入所者数	人
	うち平成 21 年 10 月までに在宅復帰された延べ退所者数	人
2	認知症短期集中リハビリテーション実施加算のみを算定した延べ入所者数	人
	うち平成 21 年 10 月までに在宅復帰された延べ退所者数	人
3	上記、(身体及び認知症) 短期集中リハビリ実施加算を両方算定した延べ入所者数	人
	うち平成 21 年 10 月までに在宅復帰された延べ退所者数	人

6-4. 貴施設の入所・短期入所・通所利用者に対するリハビリテーション関連加算の取得状況は、4月の介護報酬改定時と現在では変化があったと感じますか？

※各加算において、1～4のうち、あてはまるものいずれか一つを選び、○を記入（複数回答は無効となります）

区分/加算項目		入所		短期		通所リハ				訪問リハ			
		短期集中リハ加算	短期集中リハ加算	認知症強化加算	リハビリ機能強化加算	個別リハ加算	リハマネ加算	短期集中リハ加算	短期集中リハ加算	認知症強化加算	個別リハ加算	リハマネ加算	短期集中リハ加算
1	4月の改定当初から、スムーズに取得できていた。												
2	4月の改定時に比べて、スムーズに取得できるようになった												
3	4月の改定当初から、思うように取得できていない												
4	4月の改定時に比べると、むしろ思うように取得できなくなった												

6-5. 上記で4月改定当初に比べて「取得できるようになった」理由は何だと思えますか？

※下記のすべての設問について、「かなりあてはまる◎」「あてはまる○」「あまりあてはまらない△

「あてはまらない×」「どちらでもないー」の5段階で記入してください

区分/加算項目		入所		短期		通所リハ				訪問リハ			
		短期集中リハ加算	短期集中リハ加算	認知症強化加算	リハビリ機能強化加算	個別リハ加算	リハマネ加算	短期集中リハ加算	短期集中リハ加算	認知症強化加算	個別リハ加算	リハマネ加算	短期集中リハ加算
1	リハ専門職を増員した												
2	個別リハの時間調整を上手く行うことが出来た												
3	短期集中リハ加算の対象者に絞って個別リハを実施した												
4	利用者の同意や理解が得られるようになった												
5	加算算定要件の解釈等が明らかになった												
6	実施計画書等の書類作成等の作業が軌道に乗った												
7	リハビリのメニューを増やすなど、提供方法を工夫した												
8	スタッフの役割分担を見直すなど、業務体制を工夫した												

※上記のすべての設問について、「◎ ○ △ × -」のいずれかの記号をご記入ください。

6-5. 上記6-4で「思うように取得できない」原因は何だと思えますか？

※下記のすべての設問について、「かなりあてはまる◎」「あてはまる○」「あまりあてはまらない△」「あてはまらない×」「どちらでもないー」の5段階で記入してください

区分/加算項目	入所		短期			通所リハ				訪問リハ					
	ハ ビ リ 加 算	短 期 集 中 リ 加 算	認 知 症 加 算	能 強 化 加 算	リ ハ ビ リ 機 加 算	リ 加 算	個 別 リ ハ ビ 加 算	算 リ ハ マ ネ 加	ハ ビ リ 加 算	短 期 集 中 リ 加 算	認 知 症 加 算	リ 加 算	個 別 リ ハ ビ 加 算	算 リ ハ マ ネ 加	ハ ビ リ 加 算
1	リハ専門職が足りず、個別リハができない														
2	対象者があまりいなかった(少なかった)														
3	リハビリ実施計画書を準備することができなかった														
4	本人・ご家族からの同意を得ることができなかった														
5	具体的内容(プログラム、メニュー等)がわからなかった														

※上記のすべての設問について、「◎ ○ △ × -」のいずれかの記号をご記入ください。

7. 利用者の受け入れについて

「インテーク」とは・・・要介護状態のために、多様なニーズをもって施設を利用したいと相談に訪れた人と施設が行う最初の面接のことを言い、利用希望者の情報収集とともに施設機能の説明などを目的とし、受理面接とも呼ばれています

7-1 平成21年5月～10月における利用者の受け入れ等について

A. 相談総数	B. インテーク総数	C. インテーク時の 受け入れ拒否 件数	D. 判定会時の 受け入れ拒否 件数
件	件	件	件

7-2 上記C. インテーク時の受け入れ拒否理由について、該当する理由と件数をご記入ください。

項 目	件 数
1 医療ニーズが高いため	件
2 施設が満床であるため	件
3 在宅復帰の見込みがないため	件
4 認知症の行動障害(BPSD)が重度のため	件
5 その他〔 〕	件

7-3 施設で新規の利用希望の面談を月何回程度行っていますか 約 回

7-4 施設で新規利用者の入所前の在宅訪問(実地調査)を月何回程度行っていますか

約 回

7-5 インテークの段階で利用者の医療ニーズをきちんと把握していますか

1. 必ず把握している	2. ほとんど把握している	3. 時々把握している
4. 稀に把握している	5. 把握していない	

7-6 新規利用者の初回利用時の医師による面談（サービス担当者会議に準じるような家族面接）を行っていますか？

1. 必ず行っている	2. ほとんど行っている	3. 時々行っている
4. 稀に行っている	5. 行っていない	

7-7 緊急入所（ショートステイを含む）等に対応するために空床を常に設けていますか

1. 常に設けている	2. ほとんど設けている	3. 時々設けている
4. 稀に設けている	5. 設けていない	

8. 貴施設の医師について

8-1 貴施設の医師の日頃の状況について伺います

		1	2	3	4	5	6
		できて いる	ある 程度 でき ている	えな い	どち らと も い ない	あま り でき て い ない	わ か ら な い
1	併設あるいは関連医療機関の医師は、老健からの在宅復帰支援に熱心に取り組んでいますか？	1	2	3	4	5	6
2	医師は利用者の家族に対して積極的に対応していますか？	1	2	3	4	5	6
3	医師はリハビリテーションに対して充分理解を示していますか？	1	2	3	4	5	6
4	医師はカンファレンスの際、積極的に対応していますか？	1	2	3	4	5	6
5	医師はスタッフと良好なコミュニケーションをとっていますか？	1	2	3	4	5	6
6	医師はスタッフを充分指導していますか？	1	2	3	4	5	6
7	医師はスタッフの研修や発表等に積極的に参加していますか？	1	2	3	4	5	6
8	医師が研修・学会等に参加後、受けた研修の内容を医師や施設スタッフ向けに発表していますか？	1	2	3	4	5	6

8-2. 貴施設の医師はH20年11月～H21年10月の1年間に以下の研修に何回研修に参加しましたか？

1	学会の年次集会		回
2	社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会		回
3	社団法人日本老年医学会が主催する研修会		回
4	その他の研修会・学会		回

9. 貴施設の医師以外のスタッフについて

9-1. 貴施設の医師以外のスタッフの日ごろの状況について伺います

		1	2	3	4	5	6
		できている	ある程度できている	えない どちらともいえない	あまりできていない	できていない	わからない
1	リハスタッフは在宅復帰に積極的ですか？	1	2	3	4	5	6
2	リハスタッフと看護、介護スタッフとの連携は充分できていますか？	1	2	3	4	5	6
3	リハスタッフと支援相談との連携は充分できていますか？	1	2	3	4	5	6
4	看護と介護スタッフの連携は充分できていますか？	1	2	3	4	5	6
5	支援相談は利用者の家族への対応が充分できていますか？	1	2	3	4	5	6
6	支援相談と通所スタッフとの連携は充分できていますか？	1	2	3	4	5	6
7	支援相談と種々の居宅介護支援事業者との連携は充分できていますか？	1	2	3	4	5	6
8	支援相談と居宅サービス事業者との連携は充分できていますか？	1	2	3	4	5	6
9	貴施設の看護師が研修・学会等に参加後、受けた研修の内容を医師や施設スタッフ向けに発表していますか？	1	2	3	4	5	6
10	貴施設のリハスタッフが研修・学会等に参加後、受けた研修の内容を医師や施設スタッフ向けに発表していますか？	1	2	3	4	5	6

9-2. 貴施設の看護師は H20年11月～H21年10月の1年間に以下の研修に何回研修に参加しましたか？

社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会	回
社団法人日本老年医学会が主催する研修会	回
その他の研修会・学会	回

9-3. 貴施設のリハスタッフは H20年11月～H21年10月の1年間に以下の研修に何回研修に参加しましたか？

社団法人全国老人保健施設協会が主催する研修会	回
社団法人日本老年医学会が主催する研修会	回
その他の研修会・学会	回

10. リスクマネジメントについて（H21年10月時点）

10-1. リスクマネジメントとして施設における感染症、褥瘡、誤飲・誤嚥、溺水、転倒・転落の発生状況を把握していますか？

		1	2	3	4	5
		る 全て把握してい	している ある程度把握	えない どちらともい	ていない あまり把握し	ていない まったく把握し
1	感染症の件数	1	2	3	4	5
2	褥瘡の件数	1	2	3	4	5
3	誤飲・誤嚥の件数	1	2	3	4	5
4	溺水の件数	1	2	3	4	5
5	転倒・転落の件数	1	2	3	4	5

10-2. 10-1で「1. 全て把握している」とお答えのものについて、件数をご記入下さい。

1	感染症の件数	件
2	褥瘡の件数	件
3	誤飲・誤嚥の件数	件
4	溺水の件数	件
5	転倒・転落の件数	件

11. 貴施設運営上の方針や認識について

		1	2	3	4	5	6
		そのとおりで ある	どちらかとい えは そうである	どちらともい えない	あまりそうとい えない	そうではない	わからない
1	入所時（あるいは入所前）に、在宅復帰の可能性について十分に相談し検討している	1	2	3	4	5	6
2	在宅復帰の可能性が高い利用者の入所を優先的に行っている	1	2	3	4	5	6
3	自施設の入所利用は「ある程度の期限や目標を設定して」が基本である	1	2	3	4	5	6
4	期限を設定した在宅復帰により、利用者が他の施設に入所していることがしばしばある	1	2	3	4	5	6
5	「在宅での介護困難が予想される方々（要介護や認知症が重度等）の入所こそ受け入れるべき」との認識がある	1	2	3	4	5	6
6	ある程度以上の医療行為が必要な利用者に対しても、老後の生活環境で対応すべきとの認識がある	1	2	3	4	5	6
7	入所者のケアの状態に合わせた居室や配置の決定（ベッドコントロール）ができています	1	2	3	4	5	6
8	「併設医療機関等→老健リハビリ→在宅（通所、短期入所等）→併設医療機関等…」の利用の流れがほぼできあがっている	1	2	3	4	5	6

11. 貴施設運営上の方針や認識についての続き		1	2	3	4	5	6		
		そのとおりである	うである	どちらかといえはそ	どちらともいえない	ない	あまりそうとはいえない	そうではない	わからない
9	在宅復帰の際には、自宅のリフォームや福祉用具の選定等に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6		
10	在宅復帰を希望する場合は、より慎重にこだわって対応できている	1	2	3	4	5	6		
11	在宅復帰後の居宅介護支援は、ほとんど自施設の関連事業所で担当している	1	2	3	4	5	6		
12	在宅復帰に取り組んできた結果、在宅復帰→通所利用→再入所の繰り返しにより、結果的に自施設の利用者は重度化してきた	1	2	3	4	5	6		
13	理事長（あるいは担当理事）は自施設の運営に積極的で、種々の配慮とともに、方策を示してくれている	1	2	3	4	5	6		
14	理事長は老健の在宅復帰に充分積極的である	1	2	3	4	5	6		
15	施設長等から管理運営上の方針や利用者療養上の様々な指示が明確に示される	1	2	3	4	5	6		

12. 介護老人保健施設の理念について

貴施設では、以下の5つの老健の理念、役割を十分に理解し、実践していると思われますか？

以下の「介護老人保健施設の理念と役割」をご参照の上お答えください。

介護老人保健施設の理念と役割
<p>1.包括的ケアサービス施設 利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護、リハビリテーションを提供します。</p>
<p>2.リハビリテーション施設 体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。</p>
<p>3.在宅復帰施設 脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、他職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。</p>
<p>4.在宅生活支援施設 自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。</p>
<p>5.地域に根ざした施設 家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉関係などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。</p>

		1	2	3	4	5
		そのとおりである	どちらかといえ ばそうである	ない どちらともい えない	はいえ ない あまりそうと はいえ	そうではない
1	包括的ケアサービス施設の理念と役割を実践している	1	2	3	4	5
2	リハビリテーション施設の理念と役割を実践している	1	2	3	4	5
3	在宅復帰施設の理念と役割を実践している	1	2	3	4	5
4	在宅生活支援施設の理念と役割を実践している	1	2	3	4	5
5	地域に根ざした施設の理念と役割を実践している	1	2	3	4	5

13. 看取りについて

13-1 H21年5月～10月の間の死亡者数等について伺います

項目	人数
死亡者総数（確認できた人数）	人
うち 病院転院後死亡	人
うち 自宅帰宅後死亡	人
うち 施設内死亡	人
その他（他の介護保険施設へ移動後、死亡）	人

13-2 貴施設における看取りについて伺います

		1	2	3	4	5	6
		できている	ある程度でき ている	え ない どちらともい えない	い ない あまりできて いない	できていない	わからない
1	状態が悪化したときに、ターミナルケアと判断する前に今後の終末期ケアの方針を説明して文書化している	1	2	3	4	5	6
2	施設長の「看取り」に対する方針が明確である	1	2	3	4	5	6
3	終末期ケアの方針についての説明がきっちりできている	1	2	3	4	5	6
4	終末期ケアに関する教育を行うことで看取りに対する意識や意志の統一ができている	1	2	3	4	5	6
5	職員の心理的支援体制を整備している	1	2	3	4	5	6

アンケートは以上です。

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

相関係数一覧表

4. 訪問サービス関連項目の相関

相関係数の決定
基準：相関

Q1-1-3. 入所定員121名	Q1-3. 1.6ヵ月の平均入所稼働率	Q1-4. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-5. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-6. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-7. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-8. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-9. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-10. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-11. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-12. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-13. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-14. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-15. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-16. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-17. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-18. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-19. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-20. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-21. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-22. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-23. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-24. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-25. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-26. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-27. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-28. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-29. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-30. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-31. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-32. 平均在所滞在日数(単位:日)	Q1-33. 平均在所滞在日数(単位:日)
0.015	0.791	0.441	0.389	0.442	0.475	0.687	0.425	0.185	0.572	0.191	0.016	0.031	0.081	0.023	0.000	0.000	0.433	0.235	0.016	0.013	0.027	0.000	0.405	0.612	0.671	0.667	0.618	0.317	0.633	0.955	
0.401	0.749	0.538	0.516	0.511	0.677	0.554	0.319	0.639	0.736	0.201	0.131	0.037	0.004	0.000	0.000	0.000	0.229	0.087	0.017	0.063	0.067	0.000	0.239	0.499	0.616	0.856	0.561	0.182	0.755	0.731	
0.597	0.995	0.169	0.083	0.922	0.928	0.100	0.109	0.178	0.068	0.069	0.328	0.399	0.061	0.129	0.337	0.113	0.064	0.040	0.105	0.146	0.021	0.508	0.000	0.107	0.000	0.058	0.011	0.097	0.999	0.074	
0.398	0.397	0.174	0.442	0.298	0.947	0.006	0.028	0.869	0.178	0.211	0.553	0.445	0.396	0.354	0.797	0.890	0.235	0.138	0.595	0.308	0.567	0.850	0.175	0.000	0.001	0.277	0.379	0.998	0.001	0.524	
0.000	0.357	0.171	0.600	0.335	0.349	0.594	0.335	0.061	0.137	0.340	0.391	0.081	0.063	0.731	0.286	0.108	0.013	0.077	0.338	0.801	0.938	0.195	0.961	0.449	0.351	0.539	0.000	0.057	0.671		

相関係数の決定
基準：相関

Q1-2-7. 平均介護度(医師判定)	Q1-2-8. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-9. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-10. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-11. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-12. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-13. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-14. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-15. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-16. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-17. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-18. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-19. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-20. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-21. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-22. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-23. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-24. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-25. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-26. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-27. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-28. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-29. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-30. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-31. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-32. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-33. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-34. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-35. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-36. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-37. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-38. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-39. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-40. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-41. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-42. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-43. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-44. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-45. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-46. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-47. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-48. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-49. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-50. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-51. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-52. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-53. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-54. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-55. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-56. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-57. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-58. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-59. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-60. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-61. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-62. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-63. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-64. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-65. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-66. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-67. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-68. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-69. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-70. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-71. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-72. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-73. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-74. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-75. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-76. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-77. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-78. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-79. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-80. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-81. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-82. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-83. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-84. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-85. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-86. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-87. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-88. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-89. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-90. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-91. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-92. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-93. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-94. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-95. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-96. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-97. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-98. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-99. 要介護5.5併存者割合(医師判定)	Q1-2-100. 要介護5.5併存者割合(医師判定)
0.256	0.029	-0.681	-0.096	-0.682	0.077	-0.014	-0.087	-0.149	0.069	0.129	0.283	0.248	0.188	0.243	0.507	0.452	0.084	0.124	0.284	0.294	0.296	0.237	0.839	-0.089	-0.055	0.045	-0.046	0.107	-0.051	0.006																																																															
0.087	-0.033	-0.064	-0.067	-0.080	0.044	-0.063	-0.061	0.065	0.051	0.150	0.176	0.221	0.304	0.444	0.518	0.124	0.176	0.273	0.273	0.226	0.190	0.192	0.839	-0.122	-0.071	0.052	-0.019	0.081	-0.145	0.036																																																															
0.022	0.000	0.043	0.053	0.063	-0.037	-0.172	-0.141	0.012	-0.059	-0.058	-0.041	-0.022	0.063	0.091	-0.112	-0.179	-0.059	-0.067	0.067	0.059	0.075	0.040	0.046	0.023	0.130	0.050	0.349	0.022	0.079	0.053	0.000																																																														
-0.026	-0.016	0.042	0.024	0.024	0.024	-0.085	-0.069	0.007	-0.021	-0.039	-0.025	-0.031	-0.079	0.092	-0.030	-0.046	-0.037	-0.045	0.025	-0.027	0.019	-0.015	0.020	0.141	0.167	0.103	0.099	0.034	0.000	0.105	-0.029																																																														
0.019	0.004	0.006	0.002	0.004	0.005	0.002	0.003	0.001	0.007	0.005	0.002	0.003	0.002	0.002	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.006	0.001	0.003	0.004	0.003	0.000	0.009	0.002																																																														

異相間の検定
計画・年度

	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
45-9.その他利用者数	0.783	0.457	0.027	0.980	0.936	0.904	0.068	0.214005	0.353	0.216	-	0.330	0.581	0.582	0.050	0.286	0.606	0.880	0.668	0.850	0.535	0.337	0.522	0.361	0.200	0.998	0.916	0.918
41-2-7.平均要介護度(訪問介護)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
41-2-8.要介護4,5利用者割合(訪問介護)	0.549	0.268	0.533	0.675	0.982	0.749	0.218	0.32153	0.539	0.433	-	0.497	0.454	0.797	0.076	0.146	0.471	0.668	0.830	0.175	0.668	0.187	0.469	0.971	0.429	0.850	0.249	0.946
47-3.17月の新規利用者平均介護度	0.001	0.989	0.770	0.224	0.528	0.462	0.543	0.271343	0.000	0.257	0.469	0.194	0.499	0.659	0.000	0.000	0.006	0.000	0.000	0.000	0.894	0.810	0.789	0.124	0.122	0.002	0.975	0.196
47-4.17月の新規利用者平均介護度	0.180	0.956	0.182	0.077	0.209	0.063	0.889	0.432041	0.015	0.216	0.266	0.224	0.000	0.586	0.168	0.000	0.451	0.013	0.000	0.759	0.377	0.025	0.590	0.346	0.346	0.226	0.686	0.989
47-5.新規利用者の初回利用時の医師面談	0.290	0.532	0.694	0.700	0.252	0.063	0.916	0.835883	0.574	0.653	0.216	0.735	0.698	0.296	0.047	0.982	0.150	0.240	0.281	0.832	0.011	0.607	0.104	0.229	0.117	0.746	0.244	0.405

車相関係数

	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
45-9.その他利用者数	0.030	0.083	-0.257	-0.003	0.010	0.015	-0.295	-0.14228	0.110	0.133	-	0.110	0.605	-0.005	0.399	0.114	0.042	0.016	0.016	0.020	-0.666	0.102	0.068	-0.097	-0.138	0.004	-0.012	0.011
41-2-7.平均要介護度(訪問介護)	0.063	0.122	-0.110	0.048	0.003	-0.037	-0.144	-0.10558	-0.069	0.082	-	0.074	0.079	-0.030	0.183	0.150	0.075	0.055	0.023	0.141	-0.072	0.136	0.075	0.001	-0.094	0.020	0.123	0.007
41-2-8.要介護4,5利用者割合(訪問介護)	0.103	0.000	0.011	0.045	0.024	0.028	0.023	-0.2233	0.118	0.037	-0.028	0.022	0.016	0.016	0.294	0.599	0.084	0.233	0.259	0.001	0.007	-0.008	0.047	0.050	0.060	0.103	0.001	0.043
47-3.17月の新規利用者平均介護度	0.042	-0.002	0.050	0.065	0.048	0.071	0.005	-0.02702	0.082	0.040	0.043	0.040	0.142	0.020	0.043	0.188	0.023	0.076	0.259	-	-0.010	-0.027	0.069	0.017	0.031	0.039	0.033	0.000
47-5.新規利用者の初回利用時の医師面談	0.005	0.003	0.003	0.003	0.008	0.013	0.001	0.001572	0.003	0.001	0.008	0.002	0.002	0.007	0.009	0.000	0.005	0.005	0.005	0.001	0.012	0.003	0.007	0.005	0.008	0.002	0.002	0.002

第10章 財政・行政

項目	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	
Q5-3-2 公債の償還額	0.761	0.892	0.800	0.001	0.510	0.000	0.629	0.700	0.941	0.871	0.083	0.393	0.005	0.850	0.487	0.607	0.237	0.452	0.947	0.654	0.873	0.617	0.935	0.837	0.488	0.832			
Q6-2-17-3 緊急時臨時増収(人)																													
Q6-2-22-3 緊急時臨時増収(有価)	0.434	0.994			0.955		0.874238	0.625	0.985		0.877	0.955	0.028	0.740	0.751	0.493	0.466	0.280	0.647	0.620	0.880	0.298	0.432	0.747	0.308	0.780			
Q6-2-17-3 緊急時臨時増収(有価)	0.068	0.086	0.000	0.000	0.000	0.554	0.042535	0.000	0.542	0.117	0.012	0.011	0.065	0.844	0.396	0.003	0.249	0.814	0.024	0.094	0.202	0.000	0.954	0.728	0.000	0.625			
Q6-2-22-3 緊急時臨時増収(有価)	0.727	0.642	0.823	0.595	0.922	0.834	0.783	0.002338	0.156	0.000	0.805	0.009	0.009	0.153	0.271	0.154	0.899	0.566	0.034	0.246	0.501	0.072	0.011	0.032	0.167				
Q7-1-1 相対件数	0.756	0.892	0.798	0.397	0.047	0.815	0.191	0.6925	0.000	0.000	0.712	0.006	0.431	0.156	0.857	0.631	0.342	0.300	0.144	0.196	0.590	0.275	0.327	0.888	0.148	0.626			
Q7-1-1-B. カナ形放	0.127	0.575	0.228	0.622	0.816	0.000	0.946	0.693934	0.008	0.008	0.740	0.960	0.782	0.237	0.000	0.022	0.000	0.000	0.168	0.618	0.149	0.314	0.967	0.369	0.683	0.102			
Q7-1-1-C. カナ形放	0.010	0.814	0.488	0.494	0.703	0.071	0.646	0.486535	0.234	0.751	0.629	0.972	0.533	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.374	0.119	0.573	0.174	0.190	0.000	0.607	0.800			
Q7-1-1-D. 申込書の受け入れ拒否件数	0.278	0.451	0.376	0.568	0.883	0.352	0.606598	0.327	0.473	0.493	0.682	0.507	0.481	0.622	0.000	0.000	0.453	0.919	0.011	0.949	0.953	0.377	0.923	0.625	0.800				
Q7-1-1-E. 申込書の受け入れ拒否件数	0.445	0.996	0.493	0.791	0.564	0.393	0.981	0.586117	0.098	0.684	0.656	0.277	0.708	0.156	0.600	0.000	0.000	0.013	0.056	0.682	0.789	0.338	0.516	0.034	0.123	0.132			
Q7-5. カナ形放の利用者の医師への相談	0.810	0.183	0.888	0.802	0.798	0.021	0.970	0.897038	0.838	0.698	0.257	0.827	0.612	0.716	0.131	0.549	0.555	0.169	0.401	0.630	0.583	0.508	0.545	0.083	0.240	0.046			

項目	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61		
Q5-3-2 公債の償還額	-0.019	0.005	0.202	0.120	0.005	0.147	-0.018	0.014	0.003	-0.008	0.063	0.031	0.167	-0.016	-0.024	-0.018	-0.019	-0.012	0.002	-0.015	0.006	0.018	-0.003	-0.008	0.027	-0.008				
Q6-2-17-3 緊急時臨時増収(人)																														
Q6-2-22-3 緊急時臨時増収(有価)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
Q7-1-1 相対件数	0.046	-0.018	-0.044	-0.018	0.007	0.148	-0.003	-0.1601	0.131	0.084	-0.012	-0.001	0.001	0.003	0.001	0.004	0.004	0.005	0.043	0.015	0.043	0.030	-0.001	0.029	0.067	-0.018	0.053			
Q7-1-1-B. カナ形放	-0.078	-0.094	-0.005	0.025	0.014	0.067	0.017	-0.0245	0.086	0.038	-0.016	-0.001	0.003	0.023	0.009	0.199	0.862	0.599	0.188	0.077	0.047	0.028	0.041	0.042	0.111	-0.021	0.070			
Q7-1-1-C. カナ形放	-0.033	-0.025	0.013	0.002	-0.021	0.008	-0.039	-0.0181	0.022	0.023	-0.029	-0.013	-0.002	-0.002	-0.001	0.218	0.084	0.084	0.076	0.076	0.002	-0.004	-0.002	-0.028	0.003	0.016	0.049			
Q7-5. カナ形放の利用者の医師への相談	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	

社団法人



全国老人保健施設協会

〒105-0014 東京都港区芝2-1-28 成旺ビル7階
TEL 03-3455-4165 FAX 03-3455-4172